取扱説明書

S41HW

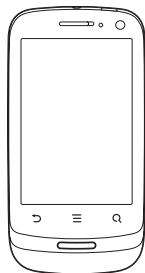
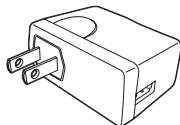
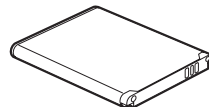
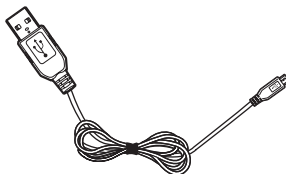
はじめに

この度は、携帯電話S41HW（以下、本機）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。またお読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。不明な点がございましたら、お問い合わせ先（➡P.17-23）までご連絡ください。

ご利用いただくにあたって

- 本機はイー・モバイルの提供するサービスエリア、および国際ローミングのサービスエリアにおいてご使用になれます。
  This product can be used in the coverage that EMOBILE offers and the coverage of the international roaming.
- サービスエリア内であっても、屋内や電車の中、トンネル、地下、ビルの陰、山間部など電波の伝わりにくいところでは、通信ができない場合があります。また地域的に電波の伝わりにくい場所もありますので、あらかじめご了承ください。
- 電波状態が一定以上悪くなった場合には、突然通信が途切れることとなります。あらかじめご了承ください。
- 本機は高い秘匿性を有しておりますが、電波を使用している以上、第三者に通信を傍受される可能性がないとはいえません。留意してご利用ください。
- 本機は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- EM chipを取り付けていない状態では使用できません。
- 本書および本書に記載された製品の使用によって発生した損害、およびその回復に要する費用については、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の使いかたを誤ったときや静電気、電気的ノイズの影響を受けたとき、また、故障・修理のときや電池交換の方法を誤ったときは登録している情報が消失するおそれがありますが、当社は一切の責任を負いません。
- 本機に登録した情報は必ず別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

お買い上げ品の確認

■S41HW本体

■ACアダプタ（PCS31HWZ10）

■電池パック（PBS31HWZ10）

■USBケーブル（PGS31HWZ10）

■S41HWかんたんガイド
■ご利用いただくにあたって
■保証書（本体、ACアダプタ）
■microSDカード
（試供品）
■電池カバー（ブルー、ゴールド）
（試供品）

お知らせ

- その他のオプション品につきましては、お問い合わせ先（➡P.17-23）までご連絡ください。
- 本機は、microSDカード／microSDHCカード（以降、「microSDカード」と表記）を利用できます。お買い上げ時、microSDカード（試供品）は、S41HW本体に装着されています。

目　次

1 準備／基礎知識

2 文字入力

3 電話

4 電話帳の管理

5 オンラインアカウントの管理

6 ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）

7 メール

8 インターネット

9 地図機能

10 Bluetooth®

11 カメラ

12 ギャラリー

13 音楽

14 その他のアプリケーション

15 セキュリティ

16 設定と管理

17 付録

本書の検索方法／見かた

検索方法

本書では、次の方法で知りたい機能やサービスなどの説明が記載されている箇所を検索できます。

■ 索引を利用する

画面に表示される機能や利用するサービス名から、説明が記載されている箇所を検索できます。

■ 目次から

説明項目のタイトルから、説明が記載されている箇所を検索できます。

本書での表記について

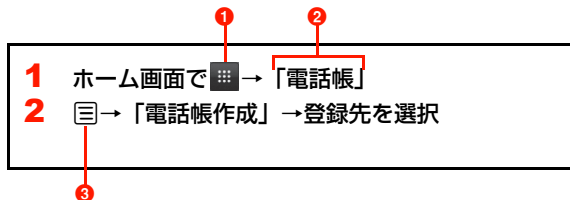
- 本書において「S41HW」は「本機」と表記しています。
- 本書で説明している画面、操作手順などは、お買い上げ時の設定を例に掲載しています。
- 本書内の画面やアイコンはイメージ画像であり、予告なく変更することがあります。
- キーを1秒以上押し続ける操作を「長押し」と表記しています。

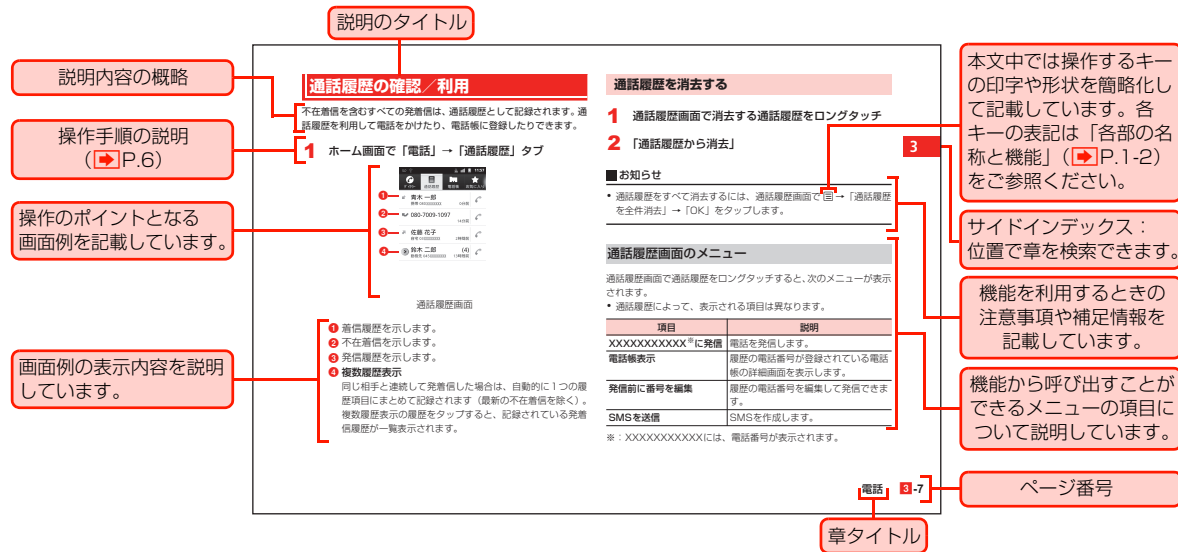
本書の説明の見かた

本書では、P.7のように本機の機能やサービスについて説明しています。

■ 操作手順の表記について

本書では、メニュー操作など続けて行う操作手順を簡略化して次のように表記しています。

（例）ホーム画面に表示されているアイコンを操作し、アプリケーションやメニュー項目などを続けて選択する操作手順

❶ 名称表示のないアイコン
❷ 名称表示のあるアイコンやメニューなどの選択項目
❸ 本機のボタン（P.1-2）

■ ページ内の記載内容

• 本項目の説明記載、およびページはサンプルです。本書の実際の記載とは、内容が異なります。

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、必要なときにご覧になれるよう大切に保管してください。
- 以下の注意事項は、ご使用になる方や他の方への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容が記載されていますので、よくお読みの上、必ずお守りください。
- 本機の故障、誤作動または不具合などにより、通話や通信が困難となり、お客さま、または第三者の方が受けられた損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 絵表示の説明

絵表示とその意味は次のとおりです。内容をご理解の上、本文をお読みください。

危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。
警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
注意	誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の意味

	してはいけないことを表しています。
	しなければならないことを表しています。
	気をつける必要があることを表しています。

S41HWの取り扱いについて

⚠警告

必ず専用の機器をご使用ください。
指定以外の機器を使用すると、発熱、発火、破裂、故障の原因となります。

車両の運転中に本機を使用しないでください。
交通事故の原因となります。車両を安全な場所に止めてからご使用ください。

歩行中の使用は、注意力が散漫になりやすいので、周囲には十分ご注意ください。

航空機内や病院など、使用を禁止されている場所では使用しないでください。
電子機器や医用電気機器に影響を及ぼすおそれがあり、事故の原因となります。

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。
電波の影響で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤作動することがあります。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、電源を切り、本機の使用を控えてください。
電波の影響で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤作動することがあります。

医療機関の屋内では以下のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本機を持ち込まないでください。
- 病棟内では電源を切り、本機を使用しないでください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、電源を切り、本機を使用しないでください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの措置を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。電波の影響で、電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。

- 高精度な電子機器の近くでは電源を切ってください。電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
  ※ 影響を受けるおそれがある機器の例：心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知器・自動ドアなど。心臓ペースメーカーやその他医用電気機器をお使いの場合は、電波による影響について各機器メーカー、もしくは販売業者にご相談ください。

本機について、次のことをお守りください。
発熱、発火、破裂や感電の原因になります。

- 分解、改造をしないでください。なお本機の改造は電波法違反になります。
- 直射日光や熱風が直接当たる所、炎天下の車内、暖房器具のそばなど、高温になる所での使用、放置はしないでください。本機が高温になり、やけどの原因になる可能性があります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
- ガソリンスタンドなど引火、爆発のおそれがある場所では使用しないでください。
- 濡れた手で触らないでください。
- 浴室などで使用したり、水の中につけたりしないでください。
- コップのそばなど、液体がこぼれるおそれがある場所では使用しないでください。
- 水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因になります。
- 強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
- 本機に無理な力を加えないでください。

煙が出ている、変な臭いがするなどの異常な状態の場合は、すぐにACアダプタをコンセントから抜き、パソコンとUSBケーブルで接続中の場合はパソコンから取り外し、本機の電源を切り、電池パックを外し、お問い合わせ先（➡P.17-23）にご連絡ください。そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因になります。

万が一、異物（金属片・水・液体）が製品の内部に入った場合は、まずACアダプタをコンセントから抜き、本機の電源を切り、電池パックを外し、お問い合わせ先（➡P.17-23）にご連絡ください。
そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

落雷のおそれがあるときは、すぐにACアダプタをコンセントから抜き、電源を切ってください。
落雷、感電、発火の原因となります。また屋外の場合は安全な場所へ移動してください。

注意

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。

自動車の電子機器に影響が出る場合は使用しないでください。
安全走行を損なうおそれがあります。

長時間の連続使用などで本機が温かくなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。ただし、長時間触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。

故障の原因となりますので、ほこりや湿気の少ない場所に保管してください。

小児が使用する際には、保護者が本書の内容を教え、また、使用の途中においても、本書どおりに使用しているかどうか注意してください。感電やけがの原因となります。

クレジットカードなどを本機に近づけないでください。クレジットカードなどの磁気カードデータが消えるおそれがあります。

皮膚に異常が生じた場合は、直ちに使用を止め、医師の診断を受けてください。お客さまの体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じる場合があります。

本機は以下に記載の材料の使用や表面処理を施されております。

使用箇所	材料、表面処理
外装ケース	PC樹脂／蒸着処理
電源キー	PC樹脂／UVコート
3.5mmイヤホン端子	PC樹脂／銅
受話口	ステンレススチール／エッチング
近接センサー	PC樹脂
ディスプレイ	PC樹脂
ホームキー	アルミニウム／陽極酸化処理
音量キー	PC樹脂／PUコート
カメラレンズ	PMMA樹脂
カメラ外周リング	アルミニウム／陽極酸化処理
スピーカー	ナイロン
電池パック端子	PC樹脂／銅
EM chipスロット	Ni、Au
microSDカードスロット	SUSステンレス
microUSB端子／充電端子	鉄

電池パックの取り扱いについて

電池パック（リチウムイオン電池パック）について、次のことをお守りください。発熱、発火、破裂や感電の原因になります。

⚠危険

直接日光の当たる所や、炎天下の車内、火やストーブのそばなどの高温の場所に放置しないでください。

針を刺す、ハンマーでたたく、踏みつけるなどの強い衝撃を与えたり､投げ付けたりしないでください。外傷、変形の著しい電池パックは使用しないでください。

分解、改造、ハンダ付けをしないでください。

水や火の中に投入したり、加熱したりしないでください。

端子をショートさせないでください。金属小物（鍵、アクセサリー、ネックレスなど）と一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口などに直接接続しないでください。

ガソリンスタンドなど、引火、爆発のおそれがある場所では電源を切ってください。

電池パックから漏れた液が眼に入ったときには、きれいな水で洗い、すぐに医師の治療を受けてください。失明するおそれがあります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因になります。

⚠警告

この電池パック（PBS31HWZ10）を使用できるのはS41HW、S31HWです。その他の機器で使用しないでください。

装着するとき、電池パックの向きが決められています。本機にうまく装着できないときは、無理をしないでください。電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。

充電には、付属のACアダプタ（PCS31HWZ10）およびUSBケーブル（PGS31HWZ10）以外のものを使用しないでください。また、電池パックは指定機器以外の機器には使用しないでください。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。

濡れた手で触らないでください。

コップのそばなど、液体がこぼれるおそれがある場所では使用しないでください。

水や海水につけたり、雨滴などで濡らしたりしないでください。万が一、濡れた場合には、直ちに使用をやめてください。

電池パックから液が漏れたり、異臭がしたりするときには、直ちに使用をやめて火気より遠ざけてください。

液漏れ、変色、変形など今までと異なることに気がついたときは、使用しないでください。

充電時に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止めてください。

煙が出ている、変な臭いがするなどの異常な状態の場合は、すぐにACアダプタをコンセントから抜き、パソコンとUSBケーブルで接続中の場合はパソコンから取り外し、本機の電源を切り、電池パックを外し、お問い合わせ先（➡P.17-23）にご連絡ください。そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因になります。

⚠注意

充電は必ず周囲温度0～45℃の範囲で行ってください。充電方法については、本書をよくお読みください。

電池パック内部の液が皮膚や衣類に付着した場合には、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

電池パックを本機に装着する際に、サビ、異臭、発熱その他異常と思われたときは、電池パックを本機に装着しないでお問い合わせ先（➡P.17-23）にご連絡ください。

小児が使用する際には、保護者が本書の内容を教え、また、使用の途中においても、本書どおりに使用しているかどうか注意してください。感電やけがの原因となります。

乳幼児の手の届かない所に保管してください。また、使用する際にも、乳幼児が本機から電池パックを取り出さないように注意してください。誤って飲み込むなど、事故やけがの原因となります。

ACアダプタの取り扱いについて

⚠危険

お客さまによる改造や分解・修理はしないでください。

⚠警告

このACアダプタ（PCS31HWZ10）を使用できるのはS41HW、S31HWです。その他の機器で使用しないでください。

付属のACアダプタはコンセントに直接接続してください。タコ足配線は過熱し、火災の原因となります。

使用されないときには、安全のため、ACアダプタをコンセントおよび本機から外しておいてください。

煙が出ている、変な臭いがするなどの異常な状態の場合は、すぐにACアダプタをコンセントから抜き、パソコンとUSBケーブルで接続中の場合はパソコンから取り外し、本機の電源を切り、電池パックを外し、お問い合わせ先（➡P.17-23）にご連絡ください。そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因になります。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。それ以外の電圧で使用されますと、火災の原因となります。

ACアダプタ：100-240V

濡れた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

ACアダプタを水やその他の液体につけたり、濡らしたりしないでください。

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因になります。

ACアダプタに強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

ACアダプタのコネクタを針金などの導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）でショートさせないでください。
感電、故障、発火の原因となります。

落雷のおそれがあるときは、落雷による感電、火災の防止のため、本機の電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜いてください。

長期間使用されないときには、安全のため、ACアダプタをコンセントおよび本機から外しておいてください。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。

注意

ACアダプタを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

周囲温度－10～55℃、湿度5～95%の範囲でご使用ください。

直射日光の当たる場所で使用および放置しないでください。

ほこりの多い場所に置かないでください。

落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。

重いものを載せないでください。

電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるかったりするときは使用しないでください。

布などでくるまないでください。

USBケーブルの取り扱いについて

危険

分解、改造をしないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。

火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。
機器の変形、故障、発熱、発火の原因となります。

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因になります。

⚠警告

コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりするとコードを傷め、火災や感電の原因となります。

USBケーブルは、対応機種以外にはご使用にならないでください。
指定の機器以外のものを接続した場合、破損の原因となります。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
故障や火災の原因となります。

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
故障や火災の原因となります。

端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災や故障の原因となります。

雷が鳴り出したら、USBケーブルには触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

⚠注意

コードの根元部分を無理に曲げないでください。

小児が使用する際には、保護者が本書の内容を教え、また、使用の途中においても、本書どおりに使用しているかどうか注意してください。感電やけがの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込むなど、事故やけがの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用や保管はしないでください。
故障の原因となります。

USBケーブルを取り外す場合は、コードを引っ張らずにコネクタを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

USBケーブルのコードの上に重いものを載せたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

EM chip（USIMカード）の取り扱いについて

警告

EM chipを本機へ取り付けや取り外す際、手や指を傷つける可能性があります。また、取り付け、取り外しの際に過剰な力を加えますと故障の原因になりますので、ご注意ください。

注意

EM chipのIC部分への接触は、データの消失や故障の原因となる可能性があります。不要なIC部分への接触はお避けください。

分解や改造はしないでください。データの消失や故障の原因となります。故障した場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

火のそばやストーブのそばなど高温の場所での使用および放置はしないでください。
溶解、発熱、発煙やデータの消失、故障の原因となります。

EM chipは当社が指定した機器にてご使用ください。指定機器以外で使用した場合、データの消失や故障の原因となることがあります。なお、当該要因による不具合が発生した場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本機を使用中、EM chip自体が温かくなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば、異常ではありませんので、そのままご使用ください。

落としたり、濡らしたり、曲げたり、衝撃を与えたり、重いものを載せたりすることは、変形、破損、故障の原因となります。

高温・低温・多湿・ほこりの多いところでの保管は避けてください。
故障の原因となります。

電子レンジなどの加熱調理器や高圧となる容器にEM chipを入れないでください。
溶損、発熱、発煙やデータの消失、故障の原因となります。

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因になります。

小児が使用する際には、保護者が本書の内容を教え、また、使用の途中においても、本書どおりに使用しているかどうか注意してください。感電やけがの原因となります。

小児や乳幼児が誤ってEM chipを飲み込むなどの事故やけがを防止するため、EM chipは小児や乳幼児の手が届かないところに保管してください。

その他、本来の用途以外の方法での使用はデータ消失や故障の原因となりますので、ご注意ください。

ご利用上のお願いとご注意

共通

- 本機は防水仕様ではありません。浴室や加湿器のそばといった多湿環境や、雨が降りかかる環境下では使用しないでください。また洗濯機で洗わないでください。故障の原因が水濡れであると判明した場合、保証の対象外となります。
- 次のような極端な温度環境での使用は避けてください。
  - 直射日光の当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなど、特に温度が上がる場所。
  - 冷蔵倉庫など、特に温度が下がる場所。
- エアコン吹出口の近くなどで使用しないでください。温度が急激に変化することにより結露が発生して、故障の原因となります。
- 落としたり、強い衝撃を与えたり、曲げたりしないでください。落としたり、重い物の下敷きにしたり、変な持ち方をして曲げるなど、無理な力を加えないでください。故障の原因となります。この場合、保証の対象外となります。

● 汚れたり、水滴が付いたりしたときは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品や、化学雑巾、洗剤などを用いると、外装や印刷が変質するおそれがありますので、使用しないでください。
● 湿った衣類のポケットに入れて持ち運ばないでください。衣類のポケットにこもる汗などの湿気が故障の原因となります。
● 無理な力がかかるような場所に置かないでください。
● 荷物のつまったカバンに入れるときは、重いものの下にならないようご注意ください。
● 一般の電話機やテレビ･ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

S41HW

● 使用中に本機が温かくなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。そのままお使いください。ただし、長時間触れたまま使用していると低温やけどになるおそれがあります。
● お客さまご自身で本機に登録された情報内容などは、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうようなことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
● ズボンやスカートの後ろポケットなどに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。またカバンの底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。
● 本機を直射日光の当たる所に放置しないでください。変色を起こす場合があります。
● 画面を強く押さえたり、爪や硬いもの、先のとがったもので操作したりしないでください。画面などを傷めることがあります。
● 本機の上に書類などを載せないでください。誤って書類などの上から力を加えると、破損の原因となります。
● 突起部のある硬いもの（クリップなど）と一緒に入れたり、バッグの底に入れないでください。入れかたや取り扱いかた（誤って、ぶつけたり落としたりするなど）によっては、破損の原因となります。
● 使用中に、強い磁石を近づけないでください。故障の原因となります。

電池パック

- 電池パックは消耗品です。使用状況などにより異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- はじめてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所に保管してください。長時間使用しないときは、使い切った状態で本機から外し、電池パックを包装しているビニール袋などに入れて保管してください。
- 電池パックの角はとがっていますので、取り扱いには十分ご注意ください。

ACアダプタ

- 充電中、ACアダプタが温かくなることがありますが異常ではありませんので、そのままご使用ください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、コネクタ、端子、プラグを変形させないでください。

EM chip

- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お客さまご自身でEM chipに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうようなことがあっても、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- EM chipを本機に取り付けるときや取り外しのときに注意してください。必要以上の力をかけると、手や指を傷つけたり、EM chipの破損の原因となります。
- EM chipは当社指定のものを使用してください。指定以外のものを使用した場合、データ消失や故障の原因となります。
- IC部は傷つけたり、ショートさせたりしないでください。故障の原因となります。
- 本機を使用中、EM chip自体が温かくなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば、異常ではありませんので、そのままご使用ください。

カメラ

- カメラに直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で放置すると、素子の退色・焼付けを起こすことがあります。
- 大切な撮影をするときは、必ず試し撮りをして正しく撮影されることを確認してください。
- お客さまが本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。
- 販売されている書籍類や撮影の許可されていない文字情報の記録には使用しないでください。

microUSB端子／イヤホンマイク端子

- microUSB端子／イヤホンマイク端子にゴミやほこり・金属片などの異物を絶対に入れないようにしてください。それらが入ると、故障や記録内容の消失の原因となります。

液晶表示

- 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画素欠けや常時点灯するものがあります。これらはカラー液晶ディスプレイの構造によるもので故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- 画面や本機に強い力を加えたとき、画面の一部が一瞬黒ずむことがありますが、故障ではありません。

スマートフォンの自動通信について

- スマートフォンは最新のソフトウェアやアプリケーションを確認するための通信、データの同期をするための通信など、一部自動的に通信を行う仕様となっています。
- データを自動で同期することで常に最新のデータを確認したり、より便利にご利用いただくことができますが、自動で通信が行われた場合もデータ通信料が発生します。

注意事項

本書の内容は、予告なく変更されることがあります。

本書では内容の正確さを期するためにあらゆる努力をしておりますが、本書に記載されているすべての記述、情報、および推奨事項は、明示、黙示を問わず、内容を一切保証するものではありません。

無線機器を正しく安全にご使用いただくために、「安全上のご注意」および「ご利用上のお願いとご注意」「Bluetoothおよび無線LAN使用に関するご注意」をよくお読みください。

Bluetoothおよび無線LAN使用に関するご注意

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの家庭用電化製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、混信回避のための処置（例えば、パーティションの設置など）を行うか、使用場所を変更してください。

周波数帯域について

本機のBluetoothおよび無線LAN搭載機器が使用している周波数帯は、本機に以下の表記で記載されています。

2.4FH1/DS4/OF4

2.4：周波数2400MHz帯を使用する無線装置であることを示します。

FH/DS/OF：変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDMであることを示します。

1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。

4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

■■■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避できることを示しています。

- 利用可能なチャンネルは国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
- 無線LANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所などが制限される場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件をご確認のうえ、ご利用ください。

良好な通信のために

- 他のBluetooth機器とは見通しの良い場所で通信してください。障害物や建物の構造によっては通信距離が短くなる場合があります。
- 電子レンジからの影響を受けやすいので、少なくとも3m以上離れた場所でご使用ください。また、AV機器・OA機器などの電気製品からは2m以上離して通信をしてください。正常に通信できなかったり、テレビ、ラジオなどの受信障害（映像や音声にノイズが発生するなど）の原因になったりする場合があります。
- 他の無線機や、放送局の近くでは正常に通信ができない場合があります。このような場合には通信場所を変更してください。
- 他のBluetooth機器との間に金属物や、鉄筋、コンクリートなどがある場合には電波が届かずに通信できない場合があります。

無線LANに関するお願い

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります。特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

無線LANとBluetoothとの干渉について

802.11b/g/nの無線LAN機器と、本機などBluetooth機器は同一の2.4GHz帯を使用するため、近い場所に無線LANのアクセスポイントや端末があり、運用されている場合は、Bluetooth機器との間で電波障害が発生し、通信速度の低下や接続不良になる場合があります。このような場合は、本機を離れた場所でお使いいただくか、または使用していない機器の電源を切るなどにより電波障害による干渉を防ぐようにしてください。

セキュリティに関するご注意

- 本機のBluetooth通信機能には、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティシステムを採用していますが、設定内容によってはセキュリティが十分機能しない場合があります。Bluetoothによる通信を行うときは十分ご注意ください。
- Bluetoothを使用した通信からデータや情報が漏洩したとしても、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合以下のような問題が発生する可能性があります。
  - 通信内容を盗み見られる
    悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

- 不正に進入される
  悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物になりすまして通信し不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線LANアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客さま自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

免責事項について

● 洪水、地震などの自然災害および当社責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

● 本機の使用、または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、通信などの機会を失ったために生じた損害、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

● 本書の記載内容を守らなかったことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

● 当社指定外の接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

● 本機の故障、修理、その他取り扱いによって、撮影した静止画、動画データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがございますが、これらのデータの修復や生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

● 連絡先など、お客さまが登録された内容は、故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。登録された内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容はあらかじめメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。

著作権などについて

著作権について

動画、音楽、絵画、写真、プログラム、その他のデータベースなどは、著作権法により、その著作物及び著作権者の権利が保障されています。このような著作物は、個人的に、又は家庭内のみにおいて使用する目的の場合のみ複製することができます。このような目的以外で権利者の了解なくこれらを複製（データ形式の変換を含む）、複製の譲渡、改変、ネットワーク上での配信などを行う場合、著作権侵害や、著作者人格権侵害として刑事処罰や損害賠償の請求を受けることがあります。

肖像権について

肖像権は、他人が無断で写真を撮ったり、撮った写真を無断で公表したり、利用しない様に主張できる権利です。肖像権には誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。従って、勝手に他人やタレントの写真を撮影したり、公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、本機のカメラ機能の適切なご使用を心がけてください。

商標・その他

- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.は、これら商標を使用する許可を受けています。

- EMnet の名称はイー・アクセス株式会社の登録商標または商標です。
- イー・アクセス及び EMOBILE の名称、ロゴはイー・アクセス株式会社の登録商標または商標です。
- Pocket WiFiの商標およびロゴは、イー・アクセス株式会社の商標または登録商標です。
- 「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Android」ロゴ、「Android マーケット」、「Android マーケット」ロゴ、「Gmail」、「Google Calendar」、「Google Maps」、「Google Latitude」、「Google Checkout」、「Google トーク」、「Picasa」および「YouTube」は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。

- 「Facebook」は、Facebook, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Twitter」の名称とロゴはTwitter, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- 「FSKAREN」は、富士ソフト株式会社の登録商標です。
- Wikipedia®はWikimedia Foundation, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- 「Documents To Go」は、米国およびその他の国におけるDataViz,Inc.の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe PDFは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Microsoft® Wordは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、ActiveSync®、Excel®、PowerPoint®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

- 本書の本文中においては、各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
Windows 7は、Microsoft® Windows® 7 Starter、Microsoft® Windows® 7 Home Premium、Microsoft® Windows® 7 Professional、Microsoft® Windows® 7 Ultimateの略称です。
Windows Vistaは、Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Ultimate、Windows Vista® Businessの略称です。
Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system または、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略称です。
- その他、本書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種S41HWの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。
この携帯電話機S41HWのSARは0.936W/kgです。
この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。
個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/
イー・モバイルのホームページ
http://emobile.jp/

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

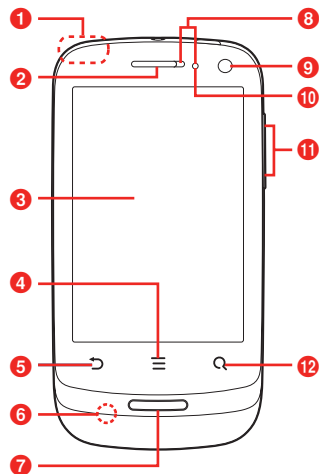
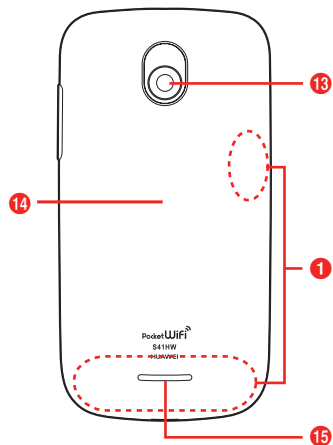
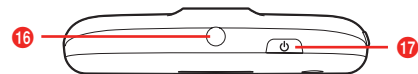
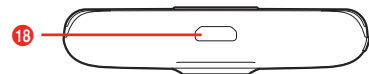
輸出管理規制について

海外に持ち出す物によっては、「輸出貿易管理令および外国為替令に基づく規制貨物の非該当証明」という書類が必要な場合がありますが、本機を、旅行や短期出張で自己使用する目的で持ち出し、持ち帰る場合には、基本的に必要ありません。ただ、本機を他人に使わせたり譲渡する場合は、輸出許可が必要となる場合があります。
また、米国政府の定める輸出規制国（キューバ、朝鮮民主主義人民共和国、イラン、スーダン、シリア）に持ち出す場合は、米国政府の輸出許可が必要となる場合があります。輸出法令の規制内容や手続きの詳細は、経済産業省安全保障貿易管理のホームページなどを参照してください。

準備／基礎知識

1

各部の名称と機能

本体

❶ 内蔵アンテナ部分
- アンテナ付近を手で覆うと、通話、通信品質に影響を及ぼす場合があります。

❷ 受話口
- 通話相手の声がここから聞こえます。

❸ ディスプレイ（タッチパネル）
- 指で直接触れて操作します。使いかたについては「タッチパネルの使いかた」（➡P.1-14）をご参照ください。

❹ メニュー（☰）
- 各画面でメニューを表示するときに使用します。

❺ 戻る（↩）
- 前画面に戻るか、メニューまたは通知パネルを閉じます。
- キーボードを開いているときに押すと、キーボードを閉じます。

❻ 送話口（マイク）
- 通話相手に自分の音声を送ったり、録音に使用したりします。
- カバーの内側に内蔵されています。

❼ ホームキー（⬭）
- ホーム画面に戻ります。
- 長押しすると、最近使用したアプリケーションが表示されます（➡P.1-20）。

❽ 近接センサー
- 通話中に顔などが近づいたことを感知して、赤く点滅します。

❾ インカメラ
- 自分を撮影するときなどに使用します。

❿ 調光センサー
- 周囲の明るさを感知して、ディスプレイの明るさを調整します。
- 近接センサーと一部兼用となっています。

⓫ 音量上／下キー（▯／▯）
- 着信音量や通話音量、音楽の再生音量などを調節します。

⓬ 検索（🔍）
- クイック検索ボックスを起動します。本機内やウェブページの情報を検索できます（➡P.1-20）。
- 長押しすると、音声検索ができます（➡P.1-21）。

⓭ アウトカメラ
- 静止画や動画の撮影時などに使用します。

⓮ 電池カバー
- 電池カバーを外してEM chip、microSDカード、電池パックの取り付け／取り外しをします。

⓯ スピーカー
- 着信音や再生中の音楽などがここから流れます。

⓰ イヤホンマイク端子
- イヤホンマイク（3.5mm端子）を接続できます。

⓱ 電源キー（⏻）
- 本機の電源が切れた状態で長押しすると、電源が入ります。
- 本機の電源が入った状態で長押しすると、マナーモードや機内モードを設定したり、電源を切ったりできます。
- 本機の電源が入った状態で押すたびにディスプレイを点灯／消灯します。消灯時は画面ロックがかかります。

⓲ microUSB端子／充電端子
- 付属のUSBケーブルを接続します（➡P.1-11、➡P.1-25）。

ステータスバー

ディスプレイ上部に表示されるステータスバーには、新着通知などをお知らせする通知アイコンや、本機の状態を示すステータスアイコンが表示されます。

通知アイコン

アイコン	状態
	新着Gmailあり
	新着Eメールあり
	新着EMnetメールあり／新着SMSあり
	新着チャット（Googleトーク）あり
	留守番電話サービスの新着伝言メッセージあり
	予定（カレンダー）の通知あり
	音楽再生中
	同期不具合などのエラーあり
	本機内のメモリがいっぱい
	microSDカード取り外し可能（マウント解除状態）
	Wi-FiがONかつWi-Fiネットワークが利用可能

アイコン	状態
	VPN接続中
	USBケーブルでパソコンに接続中
	USBデバッグ（デバッグモード）でパソコンに接続中
	非表示の通知あり（数字は件数）
	発信中／通話中
	不在着信あり
	保留中
	転送電話／留守番電話設定中（「常に転送」のみ）
	Bluetooth®でデータ受信あり
	データのアップロード
	データのダウンロード
	アプリケーションのインストール完了
	Androidマーケットに更新可能なソフトウェア／アプリケーションあり
	更新するソフトウェアあり
	USBテザリング設定中
	Pocket WiFi設定中
	Pocket WiFi設定中かつUSBテザリング設定中

ステータスアイコン

アイコン	状態
	3Gデータ通信接続中
	3Gデータ通信中
	GPRS接続中
	GPRS使用中
	HSPA接続中

アイコン	状態
	HSPA使用中
	Wi-Fiネットワーク接続中
	Bluetooth®起動中
	Bluetooth®対応機器に接続中
	機内モード設定中
	アラーム設定中
	ハンズフリー通話中
	データ同期中
	電波レベル
	ローミング中
	圏外
	EM chip未挿入

アイコン	状態
	マナーモード設定中
	スピーカー消音
	ミュート（音声入力不可）
	電池残量ほとんどなし • 充電してください。
	電池残量少 • 残量が少なくなると、電池アイコンの色が緑色→黄
	電池残量十分
	電池パック充電中
	GPS起動中
	GPS測位中

通知パネル

ステータスバーを下にスライドすると通知パネルが表示され、通知情報などを確認できます。

通知パネル

❶ 通知情報が表示されます。タップすると通知情報の確認や関連機能の操作が行えます。
❷ 上にスライドして通知パネルを閉じます。
❸ すべての通知情報を消去できます。

microSDカード

本機では市販の2GバイトまでのmicroSDカード、32GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています。
本機で撮影した静止画／動画、ダウンロードしたファイルや音楽／動画などは、microSDカードに保存できます。

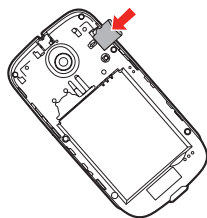
- 市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 市販のmicroSDカードを使用するときは、本機でフォーマットしてください（➡P.1-27）。

1

microSDカードの取り付けかた／取り外しかた

取り付けかた

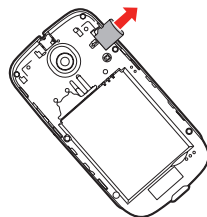
- microSDカードの取り付けは、必ず本機の電源を切り（➡P.1-12）、電池カバーを取り外し（➡P.1-9）てから行ってください。

1 microSDカードの接続端子がある面を下にして、「カチッ」と音がするまで矢印の方向にゆっくり差し込む

取り外しかた

- microSDカードの取り外しは、必ずmicroSDカードのマウントを解除（➡P.1-26）した後、本機の電源を切り（➡P.1-12）、電池カバーを取り外し（➡P.1-9）てから行ってください。
- microSDカードを取り外すときは、指でカードを押し込み、カードが出てきてもすぐに指を離さないようにしてください。また、取り付けるときは、カードがカチッと音がするまでしっかりと押し込み、すぐに指を離さないでください。
- microSD カードを装着しているカードスロットを顔の方に向けて、取り付けたり取り外したりしないでください。急に指を離すと、カードが飛び出して危険です。

1 microSDカードを軽く押し込む

microSDカードが少し出てきます。

2 microSDカードを矢印の方向に引き抜く

電池パックと充電機器のお取り扱い

電池パックと充電機器をご利用になる前に

はじめてお使いになるときや、長時間お使いにならなかったときは、必ず充電してからお使いください。

- 充電時間、待受時間、通話時間などの目安は、「主な仕様」(➡P.17-13)をご参照ください。
- 電池パック単体では充電できません。本機に電池パックを取り付けた状態で充電してください。
- 電池パックや本機、ACアダプタ、USBケーブルの金属部分（充電端子）が汚れると、接触が悪くなり、電源が切れたり、充電できないことがありますので、乾いた綿棒などでふいてください。
- 電池パックの利用可能時間は、充電／放電の繰り返しにより徐々に短くなります。正しい手順で電池パックを充電しても利用可能時間が短い場合は、新しい電池パックに交換してください。

電池残量の表示について

電池パックの電池残量は、ステータスバーのステータスアイコン（➡P.1-5）で確認できます。また、ホーム画面で →「設定」→「端末情報」→「端末の状態」をタップすると、「電池残量」の下にパーセント表示で電池残量が表示されます。

- 電池残量が約15%未満になると、電池残量がわずかな旨のメッセージが表示されます。
- 電池残量が約 2%未満になると、通知音とともに「電池が空です。本体が30秒でシャットダウンします。」と注意が表示され、自動的に本機の電源が切れます。本機を再起動する場合は、充電してから電源を入れてください。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

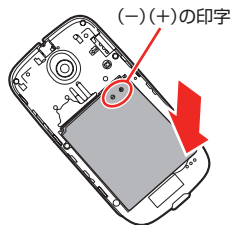
- 電池パックの取り付け／取り外しは、必ず電源を切ってから行ってください（➡P.1-12）。

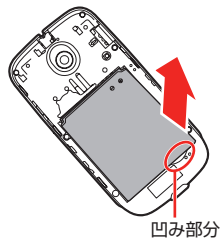
1 **電池カバーを取り外す**

電池カバーを❶の方向にパチッと音がするまでスライドさせた後、❷の方向に持ち上げて取り外します。

2 電池パックの取り付け／取り外しを行う

■ 取り付ける場合

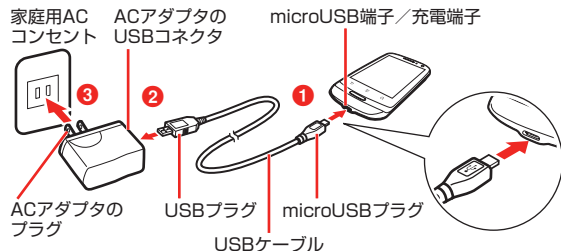
電池パックの（－）（＋）の印字面を上にして、本機と電池パックの金属端子を合わせてはめ込みます。

■ 取り外す場合

本機の凹み部分に指を入れ、電池パックを上に持ち上げます。

3 電池カバーを取り付ける

電池カバーを本機に合わせて図のような位置に置き、確実に固定されるように矢印の方向にスライドさせます。

充電する

付属のACアダプタとUSBケーブルを使用して充電します。

- 充電を開始する前に、電池パックが本機に正しく取り付けられていることを確認してください。

1 本機のmicroUSB端子／充電端子にUSBケーブルのmicroUSBプラグを差し込む

2 ACアダプタのUSBコネクタにUSBケーブルのUSBプラグを差し込む

3 ACアダプタのプラグを家庭用ACコンセントに差し込む

充電が開始され、ステータスバーにが表示されます。充電が完了すると、ステータスバーにが表示されます。

4 充電が完了したら、家庭用ACコンセントからACアダプタのプラグを抜き、USBケーブルを本機とACアダプタから抜く

■お知らせ

- ACアダプタのプラグは日本国内仕様です。
- USBケーブルを使用して本機とパソコンを接続しても、本機を充電できます。ただし、一部の機種を除いて、パソコンの電源を切った状態では充電できません。
- 充電には本機付属のACアダプタおよびUSBケーブルをご使用ください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 ⏻を長押し

- はじめて電源を入れたときは、初期設定を行います（➡P.1-13）。

■ 画面ロックがかかっている場合

🔒を右にドラッグしてロックを解除します。

- 画面ロックの解除セキュリティを設定している場合は、設定中の解除方法を入力してください（➡P.15-3）。
- PINコードを有効にしている場合は、PINコードの入力による認証を行ってください（➡P.17-4）。

■ お知らせ

- 電源を入れてからホーム画面が表示されるまでに、1分以上かかる場合があります。
- 反応がない場合は充電が不十分な可能性がありますので、再度充電してください。

電源を切る

1 ⏻を長押し

携帯電話オプション画面

2 「電源を切る」

- 携帯電話オプション画面からマナーモード（➡P.1-22）や機内モード（➡P.1-23）を設定できます。「再起動」をタップすると、すべてのアプリケーションを閉じて再起動します。

初期設定

はじめて電源を入れたときや、「データの初期化」（P.17-7）を行った後は、初期設定としてGoogleアカウントなどの設定を行います。電源を入れてしばらくすると、Androidのマークが表示されます。

- ここでは、EM chipが取り付けられた状態で、はじめて電源を入れたときの初期設定を説明します。
- データの同期など、一部自動的に通信を行う仕様となっており、通信料がかかる場合があります。詳細については、「スマートフォンの自動通信について」（P.21）をご参照ください。

1 Androidのマークをタップ

- 「言語変更」をタップすると、画面に表示される言語を変更できます。お買い上げ時は、「日本語」に設定されています。

2 「Googleアカウントを設定する」（P.5-2）の操作2を行う

- 後で設定する場合は、「スキップ」をタップします。

3 Googleの位置情報サービスの利用を設定→「次へ」

- Googleアカウントの設定をスキップした場合は、初期設定が完了し、ホーム画面が表示されます。

4 データのバックアップ※を行うかどうかを設定→「次へ」

※：Googleが提供する各種サービス、またサードパーティのアプリケーションの設定やデータなどを、クラウドにバックアップすることができます。ただし、バックアップ機能については、各アプリケーションの開発元にお問い合わせください。

5 「セットアップを完了」

初期設定が完了し、ホーム画面が表示されます。

タッチパネルの使いかた

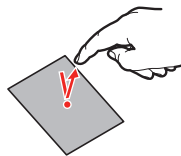
本機のディスプレイは、指で直接触れて操作するタッチパネルとなっています。タッチパネルは、触れかたによってさまざまな操作ができます。

タッチパネルをご利用になる前に

本機は静電気を使って指の動作を感知することで、タッチパネルを操作する仕様となっています。

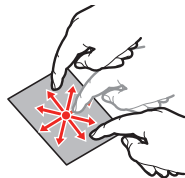
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先がとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますので、ご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールを貼っての操作

タップ／ダブルタップ

項目やアイコンに軽く触れて指を離します。2回続けて同じ位置をタップする操作を、ダブルタップと呼びます。

スワイプ

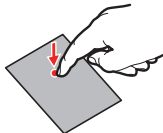
ディスプレイを指ですばやくはらうように操作します。

スライド

ディスプレイに軽く触れたまま、目的の方向になぞります。

ドラッグ

アイコンなどに軽く触れたまま、目的の位置までなぞります。

ロングタッチ

アイコンやキーに触れた状態を保ちます。

ピンチ

ディスプレイに2本の指で触れたまま、その指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。画像などを拡大／縮小するときに使用します。

ホーム画面について

本機の起動が完了すると、ホーム画面が表示されます。ホーム画面からさまざまなアプリケーションや機能を起動して利用できます。また、ショートカットやウィジェット、フォルダなどを配置してカスタマイズすることもできます。

ホーム画面

❶ ウィジェット

ウィジェットの起動や操作を行います。

❷ アプリケーション

タップすると、アプリケーション画面が表示されます（➡P.1-19）。

❸ ショートカット

アプリケーションを起動したり、本機の設定項目を表示したりします。

❹ 拡張ホーム画面
タップすると、拡張ホーム画面がサムネイル表示されます。

❺ インジケーター
ホーム画面の数と位置を示します（➡P.1-16）。

拡張ホーム画面について

ホーム画面には左右に各2面ずつ拡張ホーム画面があり、画面を左／右にスワイプして切り替えることができます。拡張ホーム画面にもショートカットやウィジェットなどを配置でき、用途に応じて切り替えるなど、便利に利用できます。

拡張ホーム画面（左側）　ホーム画面　拡張ホーム画面（右側）

■ お知らせ

- 拡張ホーム画面で を押すと、ホーム画面に戻ります。

ホーム画面のメニュー

ホーム画面で☰を押すと、次のメニューが表示されます。

- 利用状況によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
追加	ホーム画面にショートカットやウィジェットを追加します。
壁紙	ホーム画面の壁紙を変更します。
検索	本機内やウェブページの情報を検索します（➡P.1-20）。
通知	通知パネルを開きます。
ホーム設定	ホーム画面のテーマやアニメーション表示などを設定します。テーマをインターネットからダウンロードして設定することもできます。
設定	設定画面を表示します（➡P.16-2）。

ホーム設定を行う

ホーム画面の詳細を設定します。

1 ホーム画面で☰→「ホーム設定」

2 項目を設定

項目	説明
テーマ	HUAWEIランチャーまたはAndroidテーマから選択します。
アプリアイコン	アプリケーションアイコンを設定します。
ダウンロード	Androidマーケットからホーム画面のテーマをダウンロードします。
アニメーション表示	ホーム画面を切り替えるときのアニメーション表示を設定します。
詳細設定	ホーム画面の画面数やデフォルト表示のホーム画面を設定します。

3 「保存」

■お知らせ

- 詳細設定の「画面数」を「2」以下に設定すると、お買い上げ時のホーム画面が表示されなくなります。お買い上げ時のホーム画面を表示させるには、「画面数」を「3」以上に、「デフォルトのホーム画面」を「3」に設定してください。

1

ホーム画面をカスタマイズする

ホーム画面にショートカットやウィジェットなどを追加したり、ショートカット名を変更したりできます。

ホーム画面にショートカットやウィジェットなどを追加する

1 ホーム画面で、画面上の何もない場所をロングタッチ

2 追加する項目をタップ

項目	説明
ショートカットを追加	アプリケーションを起動したり、本機の設定項目を表示したりするショートカットを追加します。
ウィジェットを追加	アプリケーションを利用するためのツールを追加します。
フォルダを追加	「新しいフォルダ」を作成したり、電話帳のフォルダなどを追加します。 • 新しいフォルダにはショートカットをまとめて格納できます。
ホーム設定	ホーム設定を表示します。

■ お知らせ

• ホーム画面にアプリケーションのショートカットを簡単に追加するには、アプリケーション画面（➡P.1-19）でアイコンをロングタッチします。本機が振動したら、ホーム画面の空いている場所までアイコンをドラッグし、ディスプレイから指を離します。

ショートカットやウィジェットなどを移動する

1 ホーム画面で移動するショートカットやウィジェットなどをロングタッチ

本機が振動してショートカットやウィジェットなどが拡大表示されます。

2 そのままショートカットやウィジェットなどをドラッグし、移動先で指を離す

ショートカットを編集する

1 ホーム画面で編集するショートカットをロングタッチ

• 本機が振動したら、ディスプレイから指を離します。

2 「アイコンを編集する」

3 ショートカット名欄をロングタッチ→ショートカット名を入力

■ アイコンを変更する場合
①「ギャラリーから選択」または「テーマから選択」
② アイコンを選択

4 「保存」

フォルダ名を変更する

1 **ホーム画面でフォルダをタップ**
フォルダ内容画面が表示されます。

2 **フォルダ内容画面のフォルダ名の部分をロングタッチ**

3 **フォルダ名を入力→「OK」**

ショートカットやウィジェットなどを削除する

1 **ホーム画面で削除するショートカットやウィジェットなどをロングタッチ**
本機が振動してショートカットやウィジェットなどが拡大表示されます。

2 **そのままショートカットやウィジェットなどを画面下部のごみ箱までドラッグ**

3 **ショートカットやウィジェットなどが赤色に変わったら指を離す**

機能の呼び出しかた

アプリケーション画面を表示する

アプリケーション画面でアイコンをタップするとアプリケーションを起動できます。

1 **ホーム画面で**
- 左右にスワイプして画面をスクロールできます。
- アプリケーション画面を閉じるにはをタップします。

ホーム画面

アプリケーション画面

アプリケーション画面を設定する

アプリケーション画面でアイコンの位置を変更します。

1 **アプリケーション画面で**
アイコンが揺れだします。

2 移動するアイコンをドラッグし、指を離す

- ドラッグしたまま左右にスワイプすると、画面を移動できます。画面下部のインジケーター上で指を離すと、移動先画面を指定して移動できます。
- アプリケーション画面の設定を終了するには✔を、ホーム画面に戻るには🏠をタップします。

最近使用したアプリケーションを起動する

1 ⬭を長押し

最近使用したアプリケーションのアイコンが最大8個表示されます。

2 起動するアプリケーションのアイコンをタップ

検索のしかた

クイック検索ボックスを利用して、本機内やウェブページの情報を検索できます。

文字を入力して検索する

- ウェブページの情報を検索する場合や、音声検索を利用する場合は、あらかじめインターネットに接続できる状態にしてください（➡P.8-2）。

1 検索したい画面で🔍

検索画面

❶ 検索対象
タップすると、検索対象を変更できます。☰→「検索設定」をタップすると、詳細設定ができます。

❷ テキスト入力エリア
検索する文字列を入力できます。
❸ 音声検索
タップすると、検索する文字列を音声で入力できます。

2 検索する文字列を入力

- 検索ボックスの下に表示される検索候補をタップしても、検索できます。

■お知らせ

- 起動中の機能や画面によって、検索する対象が異なる場合やクイックック検索ボックスが起動できない場合があります。
- ホーム画面で →「検索」をタップしても利用できます。

音声を入力して検索する（音声検索）

- 音声の入力状況によって、正確に変換できないことがあります。あらかじめご了承ください。

1 をロングタッチ

2 検索する文字列を音声で入力

■お知らせ

- ホーム画面で →「音声検索」をタップしても、利用できます。

検索設定を変更する

1 検索画面で☰→「検索設定」

2 項目を設定

項目		説明
Google検索の設定	入力候補の表示	検索する文字列を入力したときに、検索ボックスの下にGoogleの検索候補を表示するかどうかを設定します。
	Googleと共有する	Googleが本機の位置情報を使用することを許可するかどうかを設定します。
	検索履歴	本機に設定しているGoogleアカウントで管理している検索履歴を、検索ボックスの下に表示するかどうかを設定します。
	検索履歴の管理	本機に設定しているGoogleアカウントのウェブ検索履歴を管理します。
検索対象		検索する対象を設定します。
ショートカットを消去		検索ボックスの下に表示される、本機で最近検索した結果へのショートカット（履歴）を消去します。

マナーモード／機内モード

マナーについて

携帯電話をお使いになるときは、周囲への気配りを忘れないようにしましょう。

- 劇場や映画館、美術館などでは、周囲の迷惑にならないように電源を切りましょう。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では周囲の迷惑にならないように気をつけましょう。
- 新幹線や電車の中などでは、車内のアナウンスや掲示に従いましょう。
- 街の中では、通行の妨げにならない場所で使いましょう。

マナーモードを設定する

着信音や通知音などが鳴らないように設定できます。

1 ⏻を長押し

2 「マナーモード」

ステータスバーにが表示されます。

- 「バイブ」（➡P.1-24）を「なし」「マナーモードがオフのときのみ」に設定している場合は、ステータスバーにが表示されます。

■ **マナーモードを解除する場合**

① ⏻を長押し→「マナーモード」

■お知らせ

- マナーモードを設定している場合でも、カメラのシャッター音や撮影開始音／終了音、音楽／動画の再生音やアラーム音はスピーカーから鳴りますので、ご注意ください。
- ホーム画面で→「設定」→「音」→「マナーモード」にチェックを付けても、マナーモードを設定できます。
- 画面ロック中はを左にドラッグして、マナーモードの設定／解除ができます。

機内モードを設定する

本機の電源が入った状態で電波の送受信を停止します。設定すると、電話の発着信やインターネット接続、メールの送受信など電波の送受信が必要な機能は利用できなくなります。

1 を長押し

2 「機内モード」

ステータスバーにが表示されます。

■ 機内モードを解除する場合

① を長押し→「機内モード」

■お知らせ

- ホーム画面で→「設定」→「無線とネットワーク」→「機内モード」にチェックを付けても、機内モードを設定できます。

音／画面の基本的な設定

着信音／通知音、音量、バイブレーションの設定

着信音／通知音の種類や各種の音量、バイブレーションなどを設定できます。

着信音／通知音を設定する

電話の着信音や、メールの新着通知を受信したときなどに鳴る通知音を設定します。

1 ホーム画面で→「設定」

2 「音」→「着信音」／「通知音」

3 着信音／通知音を選択→「OK」

音量を調節する

着信音量やメディア音量などを個別に調節できます。

- 着信音：電話の着信音
- メディア：音楽／動画などの再生音
- アラーム：アラームの鳴動音
- 通知：メール受信時などの通知音

1 **ホーム画面で［アプリ］→「設定」**

2 **「音」→「音量」**

3 **音量バーのスライダーを左／右にドラッグ→「OK」**

- 「通知音にも着信音量を適用」のチェックを外すと、下に「通知」の音量バーが表示され、着信音量とは別に通知音量を調節できます。

■ お知らせ

- 着信音量は、［上］／［下］を押しても調節できます。着信音量が最小のときに［下］を押すと、マナーモードに設定されます。ただし、動画／音楽再生中など一部の画面では調節できない場合があります。
- 動画／音楽再生中に［上］／［下］を押すと、メディア音量を調節できます。

バイブレーションを設定する

着信／通知時の本機のバイブレーション動作を設定します。

1 **ホーム画面で［アプリ］→「設定」**

2 **「音」→「バイブ」**

3 **項目をタップ**

項目	説明
常に使用	バイブレーション動作を設定します。
なし	バイブレーション動作の設定を解除します。
マナーモードがオンのときのみ	マナーモードを設定しているときのみ、バイブレーション動作を設定します。
マナーモードがオフのときのみ	マナーモードを設定していないときのみ、バイブレーション動作を設定します。

■ お知らせ

- メール受信時、カレンダーの予定の通知時にバイブレーション動作を設定するには、「なし」以外に設定し、合わせて各機能のバイブレーション動作を設定する必要があります。

画面の明るさの調整

1 ホーム画面で ⠿ →「設定」

2 「表示」→「画面の明るさ」

3 スライダーを左／右にドラッグ→「OK」

- 「明るさを自動調整」にチェックを付ける→「OK」をタップすると、周囲の明るさに応じて画面の明るさを自動的に調整します。

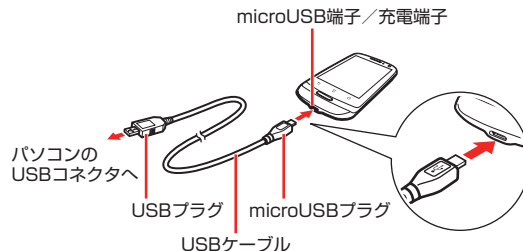
バックライト消灯時間を設定する

1 ホーム画面で ⠿ →「設定」

2 「表示」→「バックライト消灯」

3 バックライトを消灯するまでの時間をタップ

パソコンと接続する

付属のUSBケーブルを使用して、本機とパソコンなどの外部機器を接続します。

- 本機と接続可能なパソコンの動作環境は次のとおりです。

項目	説明
パソコン本体	USBポートを搭載したPC-AT互換機
OS	Windows 7（32ビットおよび64ビット）、Windows Vista（32ビットおよび64ビット）、Windows XP（SP3以降／32ビット）の各日本語版
メモリ容量※	64Mバイト以上（128Mバイト以上を推奨）
ハードディスクの空き容量※	64Mバイト以上

※：動作に必要なメモリ容量、ハードディスクの空き容量です。

microSDカードをUSBストレージとして使用する

パソコンから本機に取り付けられているmicroSDカードにデータを保存できます。

1 本機のmicroUSB端子／充電端子にUSBケーブルのmicroUSBプラグを差し込む

2 パソコンのUSBコネクタにUSBケーブルのUSBプラグを差し込む

USBマスストレージ画面が表示されます。

- 自動で表示されない場合は、通知パネルを開いて「USB接続」をタップします。

3 「USBストレージをONにする」→「OK」

パソコンが本機のmicroSDカードをUSBストレージとして認識します。

- 初回利用時はメッセージが表示されます。内容をご確認のうえ、「OK」をタップしてください。

■ USBストレージの設定を解除する場合

① パソコン側で本機の安全な取り外しを行う
② 本機側で「USBストレージをOFFにする」

microSDカードのマウントを解除する

microSDカードの認識を解除して本機から安全に取り外せるようにします（マウント解除）。microSDカードのマウントを解除した後は、本機の電源を切って取り外しを行ってください（➡P.1-8）。

1 ホーム画面で ⠿ →「設定」

2 「ストレージ」→「SDカードのマウント解除」

- 初回利用時はメッセージが表示されます。内容をご確認のうえ、「OK」をタップしてください。

microSDカードをフォーマットする

microSDカードをフォーマット（初期化）します。

- フォーマットを行うとmicroSDカード内のデータがすべて消去されますのでご注意ください。

1 ホーム画面で → 「設定」

2 「ストレージ」→「SDカードのマウント解除」

「SDカードをフォーマット」が有効になります。

- 初回利用時はメッセージが表示されます。内容をご確認のうえ、「OK」をタップしてください。

3 「SDカード内データを消去」→「SDカード内データを消去」

4 「すべて消去」

フォーマットが終了すると自動的にマウントされ、microSDカードが使用可能な状態になります。

- 消去されたデータは元に戻せません。

自分の電話番号を確認する

1 ホーム画面で → 「設定」

2 「端末情報」→「端末の状態」

「電話番号」の下に自分の電話番号が表示されます。

暗証番号

本機で各機能やサービスをご利用する際、「ネットワーク暗証番号」が必要な場合があります。ネットワーク暗証番号はご契約時に申込書に記入した4桁の暗証番号で、イー・モバイルへの各種手続き／お申し込みの際に必要です。

■お知らせ

- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。暗証番号を他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

2 文字入力

文字の入力方法

文字を入力するときは、画面に表示されるキーボードを利用します。キーボードには、次の2種類があります。

- Androidキーボード
- FSKAREN（エフエスカレン）

■お知らせ

- お買い上げ時は、FSKARENに設定されています。
- 日本語を入力するときは FSKAREN をご利用ください。Android キーボードでは日本語を入力できません。
- 使用状況によって各キーボードの表示や動作が異なる場合があります。また、利用するアプリケーションや機能によっては、専用のキーボードが表示される場合があります。

キーボードを変更する

1 文字入力欄をロングタッチ

2 「入力方法」→「Androidキーボード」／「FSKAREN」

Androidキーボードでの入力

パソコンのキーボードと同様のキー配列のQWERTYキーボードです。半角英字や半角数字・記号を入力できます。

半角英字入力　　半角数字・記号入力

❶ 変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
- スペースキーまたはピリオドキーをタップすると、入力した文字がそのまま決定されます（オートコンプリート機能）。
- オレンジ色で表示されている候補は、入力が予測される候補、またはユーザー辞書（➡P.2-10）に登録されている単語です。

❷ 小文字／大文字／大文字固定を切り替えます。

❸ 入力モードを半角英字入力／半角数字・記号入力に切り替えます。

❹ Androidキーボードの設定変更（➡P.2-12）、キーボードの変更（➡P.2-2）ができます。

❺ 音声入力を使ったり、カンマを入力したりします。
- 「,」が表示されているときは、カンマを入力できます。
- 🎤が表示されているときは、音声で文字を入力できます。

❻ カーソルの左側にある文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。
❼ 入力を決定したりカーソルを移動したりします。
- 「:-)」が表示されているときは、ロングタッチするとAndroidの絵文字一覧が表示されます。入力する絵文字をタップして入力します。
- 「次へ」が表示されているときは次の入力欄にカーソルを移動します。
- 「実行」「完了」が表示されているときは入力を決定します。
- ↵が表示されているときは改行します。

❽ スペースを入力します。
❾ 記号などの種類を切り替えます。

お知らせ

- キーによってはロングタッチすることで、別の文字を表示して入力することができます。
- 文字を入力した後に文字入力欄をロングタッチすると、「辞書にXXXを追加」と表示される場合があります（XXXには入力した文字列が表示されます）。「辞書にXXXを追加」→「OK」をタップすると、XXXをユーザー辞書に登録できます（➡P.2-10）。

FSKARENでの入力

FSKARENでは、次の3種類のキーボードを利用できます。

■ 10キー

一般の携帯電話のように、複数の文字が各キーに割り当てられています。スワイプして文字を入力するフリック入力、目的の文字が表示されるまでキーを繰り返しタップするトグル入力、2タッチ入力の3種類から選択できます。

- フリック入力とは、入力する文字の行が割り当てられているキーをタップしたまま、上／下／左／右にスワイプして、入力する文字を選択します。キーに触れたときに、キーの上にポップアップが表示されますので、入力する文字が表示されている方向にスワイプします。ポップアップの中央に表示されている文字は、キーをタップするだけで入力できます。

（例）「め」を入力する場合

「ま」のキーをタップしたままで、「め」が表示されている方向（右）にスワイプします。

❶ 変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
- 変換候補の表示を切り替えるときは、変換候補欄の上を左／右にスワイプします。
- 10キー利用時の変換候補表示中に、10キー以外のキーを始点にキーボード上を上にスワイプすると、入力した文字の各キーに割り当てられている別の組み合わせの変換候補（ワンタッチ候補）を表示します。

❷ トグル入力時、キーに割り当てられている１つ前の文字に戻ります。

❸ カーソルを左／右に移動します。

❹ 文字入力モード（➡P.2-7）を変更します。
- ロングタッチすると、文字変換モード（➡P.2-9）を変更できます。

❺ キーボードの種類を変更します（➡P.2-7）。
- 右にスワイプすると、カーソル画面が表示され、カーソルを移動したり、文字列の範囲を選択してコピー／切り取り／貼り付け／削除したりできます。
- 文字未入力時にロングタッチすると、「音声入力」や「区点入力」を利用できます。

❻ 入力中の文字の大文字／小文字、濁点／半濁点などを切り替えます。

❼ 文節変換を行います。
- 「文節縮小」が表示されているときは、変換範囲を１文字縮小します。
- 「通常入力」が表示されているときは、変換前に戻ります。
- 「Undo」が表示されているときは、確定前に戻ります。

❽ 英数字やカタカナなどに変換します。
- 「記号」が表示されているときは、記号を入力します。
- 「文節拡大」が表示されているときは、変換範囲を１文字拡大します。
- 「通常入力」が表示されているときは、変換前に戻ります。

❾ カーソルの左側にある文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。

❿ スペースの入力、または文字の変換を行います。

⓫ 入力中の文字を決定、または改行します。

⓬ 句読点などを入力します。

⓭ 変換候補の表示を拡大します。表示拡大時は、▲／▼をタップ、または変換候補欄の上を上／下にスワイプすると前／後のページに切り替えられます。
- が表示されているときは、キーボードを閉じます。再度キーボードを表示するには文字入力欄をタップします。

⓮「記号」「顔文字」「定型文」の利用、「FSKAREN設定」が行えます。
- 入力中にタップすると「ワンタッチ変換」「単漢字」「姓名優先」「ひらがな」「全角カタカナ」「半角カタカナ」「全角英数」「半角英数」の変換が利用できます。

■ QWERTY

パソコンのキーボードと同様のキー配列で、日本語を入力するにはローマ字で入力します。

- 英字のキーを上にスワイプすると、大文字で入力できます。また、キーを下にスワイプするとキーに割り当てられている数字や記号が入力できます。

❶ 変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。

- 変換候補の表示を切り替えるときは、変換候補欄の上を左／右にスワイプします。

❷ 英字の大文字／小文字を切り替えます。

- Alt が表示されているときは、記号などの種類を切り替えます。

❸ キーボードの種類を変更します（➡P.2-7）。

- 右にスワイプすると、カーソル画面が表示され、カーソルを移動したり、文字列の範囲を選択してコピー／切り取り／貼り付け／削除したりできます。
- 文字未入力時にロングタッチすると、「音声入力」や「区点入力」を利用できます。

❹ 文字入力モード（➡P.2-7）を変更します。

- ロングタッチすると、文字変換モード（➡P.2-9）を変更できます。

❺ 文節変換を行います。

- 「文節縮小」が表示されているときは、変換範囲を1文字縮小します。
- 「通常入力」が表示されているときは、変換前に戻ります。
- 「Undo」が表示されているときは、確定前に戻ります。

❻ カーソルを左／右に移動します。

❼ 英数字やカタカナなどに変換します。

- 「記号」が表示されているときは、記号を入力します。
- 「文節拡大」が表示されているときは変換範囲を1文字拡大します。
- 「通常入力」が表示されているときは変換前に戻ります。

❽ カーソルの左側にある文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。

❾ 入力中の文字を決定、または改行します。

❿ 句読点などを入力します。

⓫ 変換候補の表示を拡大します。表示拡大時は、▲／▼をタップ、または変換候補欄の上を上／下にスワイプすると前／後のページに切り替えられます。

- が表示されているときは、キーボードを閉じます。再度キーボードを表示するには文字入力欄をタップします。

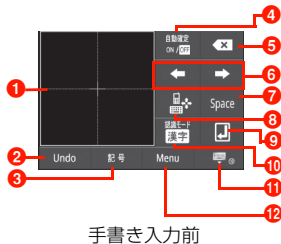
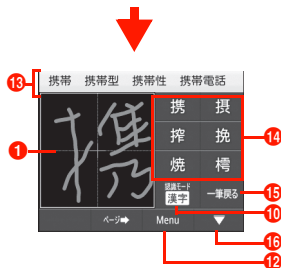
⓬ 「記号」「顔文字」「定型文」の利用、「FSKAREN設定」が行えます。

- 入力中にタップすると「単漢字」「姓名優先」「ひらがな」「全角カタカナ」「半角カタカナ」「全角英数」「半角英数」の変換が利用できます。

⓭ スペースの入力、または文字の変換を行います。

■ 手書き

手書きで文字を入力します。

- タッチパネルの認識状態や文字の形状によっては、正確に認識できない場合があります。

手書き入力前

手書き入力後

❶ 手書きで文字を入力します。

❷ 確定前に戻ります。

- 「文節変換」が表示されているときは、文節変換を行います。
- 「通常入力」が表示されているときは、変換前に戻ります。
- 「文節縮小」が表示されているときは、変換範囲を1文字縮小します。

❸ 記号を入力します。

- 「文節拡大」が表示されているときは変換範囲を1文字拡大します。
- 「通常入力」が表示されているときは変換前に戻ります。

❹ 自動確定のON／OFFを切り替えます。自動確定をONにすると、手書きで入力した文字を自動で確定します。

❺ カーソルの左側にある文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。

❻ カーソルを左／右に移動します。

❼ スペースの入力、または文字の変換を行います。

❽ キーボードの種類を変更します（➡P.2-7）。

- 右にスワイプすると、カーソル画面が表示され、カーソルを移動したり、文字列の範囲を選択してコピー／切り取り／貼り付け／削除したりできます。
- 文字未入力時にロングタッチすると、「音声入力」や「区点入力」を利用できます。

❾ 入力中の文字を決定、または改行します。

❿ 文字認識モード（➡P.2-8）を変更します。

- ロングタッチすると、文字変換モード（➡P.2-9）を変更できます。

⓫ キーボードを閉じます。再度キーボードを表示するには文字入力欄をタップします。

⓬「記号」「顔文字」「定型文」の利用、「FSKAREN設定」が行えます。

- 入力中にタップすると「単漢字」「姓名優先」の変換が利用できます。

⑬ 変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
- 変換候補の表示を切り替えるときは、変換候補欄の上を左／右にスワイプします。

⑭ 手書きで入力した文字の認識候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
- 「ページ→」／「←ページ」をタップすると、認識候補のページが切り替わります。

⑮ 1画前の状態に戻ります。ロングタッチすると、手書きした文字がすべて消去されます。

⑯ 変換候補の表示を拡大します。表示拡大時は、▲／▼をタップ、または変換候補欄の上を上／下にスワイプすると前／後のページに切り替えられます。

キーボードの種類を変更する

1 キーボード表示中に をロングタッチ

2 「10キー」／「QWERTY」／「手書き」

■ お知らせ

- をタップ、または上／下にスワイプしてもキーボードを切り替えられます。

文字入力モードを変更する

1 10キー／QWERTYのキーボード表示中に をロングタッチ

2 文字種をタップ

■ お知らせ

- をタップ、または上／右／下にスワイプしても、入力モードをひらがな／半角英数／数字に切り替えられます。
- 設定中の文字入力モードは、ステータスバーで確認できます。
- 10キー／QWERTYキー以外のキーを始点に、キーボード上を左／右にスワイプすると、入力モードをひらがな／半角英数／数字に切り替えられます。

文字認識モードを変更する

手書きのキーボード利用時、手書きする文字に適切な文字認識モードに設定します。

1 **手書きのキーボード表示中に 認識モード 漢字 をロングタッチ**

2 **文字種をタップ**

■ お知らせ

- 認識モード 漢字 をタップしても、認識モードを日本語／記号／ひらがな／全角カタカナ／半角英数に切り替えられます。
- 設定中の文字認識モードは、ステータスバーで確認できます。

記号／顔文字／定型文を利用する

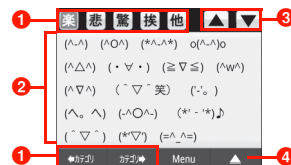
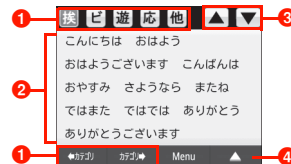
- 文字未入力時に利用できます。

1 **キーボード表示中に「Menu」**

2 **「記号」／「顔文字」／「定型文」**

記号

顔文字

定型文

❶ カテゴリを切り替えます。
❷ タップして入力します。
❸ 前／後のページに切り替えます。
❹ 画面を閉じます。

■お知らせ

- 文字未入力時に、10キー／QWERTYキー以外のキーを始点に、キーボード上を上／下にスワイプすると、記号／顔文字を表示できます。

文字変換モードを変更する

文字変換モードを変更すると、文字入力時に表示される変換候補を変更できます。

1 キーボード表示中に をロングタッチ

- 手書きのキーボード表示中は、 をロングタッチします。

2 パーソナルモードをタップ

項目	説明
	ノーマルモード（通常の変換候補を表示）
	男性モード（男性向けの変換候補を表示）
	女性モード（女性向けの変換候補を表示）
	ビジネスモード（ビジネス向けの変換候補を表示）

■お知らせ

- 設定中の文字変換モードは、キーボードの の右下にある表示で確認できます。

区点コードで入力する

区点コード（4桁の数字）を使って、かな漢字変換で表示されない漢字や記号などを入力できます。

- 文字未入力時に利用できます。

1 キーボード表示中に をロングタッチ

2 「区点入力」→区点コードを入力

文字の編集

文字列の選択／切り取り／コピー／貼り付けをする

入力した文字列を選択／コピー／切り取り／貼り付けして利用できます。

文字列選択画面

1 文字入力欄をロングタッチ

2 項目をタップ

- 利用状況によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
語句を選択	入力した文字の一部を選択します。
すべて選択	入力した文字列をすべて選択します。
切り取り※	「語句を選択」／「すべて選択」で選択した文字列を切り取ります。
コピー※	「語句を選択」／「すべて選択」で選択した文字列をコピーします。
貼り付け	切り取り／コピーした文字列を貼り付けます。

※：切り取り／コピーできる件数は1件です。

ユーザー辞書

ユーザー辞書（Androidキーボード）を利用する

単語を登録しておくと、文字入力時に変換候補としてオレンジ色で表示されます。

単語をユーザー辞書に登録する

1 ホーム画面で →「設定」

2 「言語とキーボード」→「単語リスト」

3 →「追加」→単語を入力→「OK」

ユーザー辞書を編集する

1 ホーム画面で →「設定」

2 「言語とキーボード」→「単語リスト」

3 目的の編集を行う

■ 登録内容を編集する場合

① 編集する項目をタップ→「編集」
② 内容を変更→「OK」

■ 登録内容を削除する場合

① 削除する項目をタップ→「削除」

ユーザー辞書（FSKAREN）を利用する

単語をユーザー辞書に登録する

特殊な読みかたをする漢字や、よく使う略語などを登録しておくと便利です。登録した単語を呼び出すには、文字入力欄にユーザー辞書に登録した見出し語を入力し、変換します。

1 ホーム画面で ⠿ →「設定」

2 「言語とキーボード」→「FSKAREN」

3 「辞書設定」→「ユーザー辞書」

4 「新規登録」→単語・見出し語を入力し、品詞を選択→「登録」

5 「OK」→「閉じる」

ユーザー辞書を編集する

1 ホーム画面で ⠿ →「設定」

2 「言語とキーボード」→「FSKAREN」

3 「辞書設定」→「ユーザー辞書」

4 目的の編集を行う

■ 登録内容を編集する場合

①編集する項目をタップ→「編集」
②内容を変更→「決定」→「OK」

■ 登録内容を削除する場合

①削除する項目にチェックを付ける
②「削除」→「OK」→「OK」

■ 登録内容をユーザー変換辞書として登録する場合

①「変換」→「OK」

- ユーザー辞書に登録した単語をまとめて、1つの辞書（ユーザー変換辞書）として登録できます。登録しておくと、辞書ごとに使い分けることができます（➡P.2-12）。

■ microSDカードに登録内容を保存する場合

①「保存」→「OK」

■ microSDカードに保存した登録内容を復元する場合

①「復元」→復元する項目をタップ
②「復元」→「OK」→「閉じる」

■ microSDカードに保存した登録内容を削除する場合

①「復元」→削除する項目をタップ
②「削除」→「OK」→「OK」→「閉じる」

■お知らせ

- ユーザ辞書を保存した（拡張子：suj）場合は、microSDカード内のFSKaren_UserDicフォルダに保存されます。

ユーザー変換辞書を使用する

ユーザー辞書から登録したユーザー変換辞書を、文字入力時に使用するかどうかを設定します。

1. ホーム画面で[アイコン]→「設定」
2. 「言語とキーボード」→「FSKAREN」
3. 「辞書設定」→「ユーザー変換辞書」
4. 使用する辞書にチェックを付ける

ユーザー変換辞書を確認／編集する

1. ホーム画面で[アイコン]→「設定」
2. 「言語とキーボード」→「FSKAREN」
3. 「辞書設定」→「ユーザー変換辞書」
4. 目的の確認／編集を行う

■ 辞書を確認する場合

① 確認する辞書をタップ→「表示」→「閉じる」

■ 辞書名を変更する場合

① 編集する辞書をタップ→「辞書名変更」

② 辞書名を変更→「OK」→「OK」

■ 辞書を削除する場合

①「削除」→「OK」→「OK」

文字入力の設定

キーボードの設定を変更する

1. ホーム画面で[アイコン]→「設定」
2. 「言語とキーボード」→「Androidキーボード」／「FSKAREN」
3. 項目を設定

■ Androidキーボードの場合

項目	説明
キー操作バイブ	キーをタップしたときに振動させるかどうかを設定します。
キー操作音	キーをタップしたときに操作音を鳴らすかどうかを設定します。
キー押下時ポップアップ	キーをタップしたときにポップアップ表示するかどうかを設定します。
タップして語句を修正	入力した語句をタップして修正するかどうかを設定します。
自動大文字変換	英字入力時、文頭文字を大文字にするかどうかを設定します。
設定キーを表示	設定キーの表示を設定します。

項目	説明
音声入力	音声入力キーを表示するキーボードを設定します。
入力言語	入力する言語を選択します。選択した言語は、キーボードのスペースキーを左／右にスライドすると切り替えられます。
入力候補を表示	文字入力時に入力候補を表示するかどうかを設定します。
オートコンプリート	入力が予測される候補を太字で表示し、スペースまたは句読点キーで入力できるようにするかどうかを設定します。

■ FSKARENの場合

項目		説明
キーボード設定	**テーマ**	キーボードのデザインを設定します。
	キーボードタイプ	縦画面で使用するキーボードの種類を設定します。
	変換候補の行数	縦画面で変換候補を表示する行数を設定します。
	キーボードタイプ	横画面で使用するキーボードの種類を設定します。
	10キー入力方式	10キー利用時の入力方式を「フリック入力」／「トグル入力」／「2タッチ入力」から設定します。
	フリック入力設定	10キー利用時、入力方式を指をスワイプして入力する方式（フリック入力）に設定中にトグル入力を有効にするかどうかや、スワイプ入力の感度を設定します。
	トグル入力設定	10キー利用時、文字入力後にカーソルを自動で右に移動させるかどうかや、カーソルを移動させるまでの時間を設定します。
	画面タイプ	手書き利用時の画面タイプを設定します。
	自動確定	手書き利用時に、自動確定するかどうかを設定します。
	自動確定時間	手書き利用時、自動確定するまでの時間を設定します。
キー操作設定	**バイブレーション**	キーをタップしたときに振動させるかどうかを設定します。
	効果音	キーをタップしたときに効果音を鳴らすかどうかを設定します。
	キーポップアップ	キー操作時にキーをポップアップ表示するかどうかを設定します。
	Enterキーで改行	連携予測候補を表示中、キーで改行するかどうかを設定します。
	Spaceキーで候補選択	連携予測候補を表示中、Spaceキーで変換候補を選択するかどうかを設定します。

項目		説明
変換設定	近似予測	予測変換候補として表示する優先候補を設定します。
	英語予測	英語の予測変換候補を表示するかどうかを設定します。
	連携予測	確定した文字から予測して、入力候補を表示するかどうかを設定します。
	顔文字連携	確定した文字から予測して、顔文字の入力候補を表示するかどうかを設定します。
	英語連携	確定した文字から予測して、英語の入力候補を表示するかどうかを設定します。
	1文字学習	1文字入力して文節変換を行ったときに、1文字学習で記憶した候補を表示するかどうかを設定します。 • 1文字学習とは、以前に入力した文字列を1文字で記憶することです。
辞書設定	ユーザー辞書	ユーザー辞書（FSKAREN）を利用します（P.2-11）。
	ユーザー変換辞書	ユーザー変換辞書を利用します（P.2-12）。
	定型文	定型文／顔文字を追加／編集／リセットします（P.2-14）。
リセット	学習リセット	FSKARENで記憶された学習内容を消去します。
	設定リセット	FSKARENの設定項目をリセットします。

項目	説明
コミュニティサイト	FSKARENのコミュニティサイトにアクセスします。

定型文／顔文字を追加／編集／リセットする

お買い上げ時に本機に登録されている定型文や顔文字を追加／編集／リセットします。

• FSKARENの場合に利用できます。

1 ホーム画面で → 「設定」

2 「言語とキーボード」→「FSKAREN」

3 「辞書設定」→「定型文」

4 目的の追加／編集を行う

■ 追加する場合

① カテゴリを選択→「追加」

② 文字を入力→「OK」→「OK」

■ 変更する場合

① カテゴリを選択→変更する項目をタップ→「変更」

② 内容を変更→「OK」→「OK」

■ 削除する場合

① カテゴリを選択→削除する項目をタップ→「削除」

■ 移動する場合

① カテゴリを選択→移動する項目をタップ→「↑」「↓」をタップ

■ 定型文／顔文字を標準状態に戻す場合

①「初期化」→「OK」→「OK」

電話

3

電話をかける

- 通話中の操作については、「通話中の操作」（➡P.3-6）をご参照ください。

3

1 ホーム画面で📞

- ホーム画面で⠿→「ダイヤラー」をタップしても、電話番号入力画面を表示できます。

電話番号入力画面

❶ タブ表示
「ダイヤラー」タブ
「通話履歴」タブ（➡P.3-7）
「電話帳」タブ（➡P.4-3）
「お気に入り」タブ（➡P.4-7）
「グループ」タブ（➡P.4-9）
- タブ表示は左／右にスライドできます。

❷ 電話番号表示欄
入力した電話番号が表示されます。

❸ 連絡先に追加
入力した電話番号を連絡先として登録します。

❹ 留守番電話（Voicemail）（➡P.3-12）
留守番電話センターに接続します。

❺ 電話発信

❻ 削除
カーソルの左側にある番号を削除します。ロングタッチすると、入力した番号をすべて削除できます。

2 電話番号（市外局番を含む全桁）を入力

- 通話履歴や電話帳、お気に入りから相手の電話番号を選択して、電話をかけることもできます。

3 📞

発信されます。相手が応答すると通話中画面が表示されます（➡P.3-6）。

4 通話が終わったら「終了」

電話番号入力画面のメニュー

電話番号入力画面で☰をタップすると、次のメニューが表示されます。
- 電話番号の入力状況によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
連絡先に追加	入力中の番号を連絡先に追加できます。
ポーズ追加（自動）	「,」を入力します。電話番号の後ろに「,」と番号を入力して電話をかけると、電話がつながって約2秒後に番号がプッシュ信号として自動的に送信されます。
ポーズ追加（手動）	「;」を入力します。電話番号の後ろに「;」と番号を入力して電話をかけると、電話がつながった後に「送信」をタップして番号をプッシュ信号として送信できます。

電話番号を通知して電話をかける

発信者番号を通知に設定している場合は、相手にお客さまの番号が通知されます（➡P.3-14）。

日本国内から国際電話をかける

日本国内から海外に音声電話をかけたり、海外から電話を受けたりすることができます。サービスの詳細、お客さまのお申し込み状況に関しましては、お問い合わせ先（➡P.17-23）までご連絡ください。
- 市外局番が「0」で始まる場合、「0」を除いてダイヤルしてください（一部の国・地域を除く）。

1 電話番号入力画面で「010」-「国番号」-「相手先電話番号」を入力

- 例えば、イタリア（国番号39）のローマ（06-＊＊＊＊-＊＊＊＊）に電話をかける場合は、010-39-6-＊＊＊＊-＊＊＊＊を入力します。

2

発信されます。相手が応答すると通話中画面が表示されます（➡P.3-6）。

3 通話が終わったら「終了」

■お知らせ

- 海外の滞在先でも本機で電話をかけたり、受けたりすることができます（➡P.3-8）。

緊急通報（110／119／118）発信について

本機ではPINコードの入力時（➡P.15-2）などでも「緊急通報」をタップすると、110（警察）、119（消防・救急）、118（海上保安庁）へ発信することができます。

■お知らせ

- 機内モード設定中は、緊急通報できません。
- 海外で現地の緊急電話をかける場合、無線ネットワークや無線信号、本機の機能設定状態によって動作が異なるため、すべての国や地域での接続を保証するものではありません。

緊急通報位置通知について

「緊急通報位置通知」とは、本機から緊急通報を行った場合、発信した際の位置の情報を緊急通報受理機関（警察など）に対して通知するシステムです。

本機では受信している基地局測位情報をもとに算出した、位置情報を通知します。

- 発信場所や電波の受信状況により、正確な位置が通知されないことがあります。緊急通報受理機関に対して、必ず口頭で発信場所や目標物をお伝えください。
- 基地局測位情報の精度は、数100m～10km程度となります。また、実際の位置とは異なった位置情報が通知される場合があります（遠方の基地局電波を受信した場合など）。
- 緊急通報位置通知機能は、接続先となる緊急通報受理機関が、位置情報を受信できるシステムを導入した後にご利用いただけるようになります。
- 「184」を付けて、「110」、「119」、「118」の緊急通報番号をダイヤルした場合などは、緊急通報受理機関に位置情報は通知されません。ただし、緊急通報受理機関が人の生命等に差し迫った危険があると判断した場合には、同機関が発信者の位置情報を取得する場合があります。
- 申込料金、通信料は一切必要ありません。

電話を受ける

- 通話中の操作については、「通話中の操作」（P.3-6）をご参照ください。

1 **電話がかかってくる**

着信中画面

2 **を右にドラッグ**

通話中になります。

3 **通話が終わったら「終了」**

■ お知らせ

- 着信中に／／を押すと、着信音やバイブレーションを停止できます。
- を押して着信音やバイブレーションを停止した場合は、画面が消灯します。画面を点灯するには、再度を押します。

着信を拒否する

電話がかかってきたとき、着信を拒否できます。

1 **電話着信画面でを左にドラッグ**

着信を拒否します。

- 拒否した着信は、転送電話または留守番電話の「通話中の着信時に転送」（P.3-10）に従います。設定していない場合、相手には「話し中」のメッセージが表示され切断されます。

通話中の操作

通話中画面の見かた

通話中画面

❶ 画像

連絡先に登録されている画像が表示されます（➡P.4-2）。画像が登録されていない場合は、Androidのキャラクターが表示されます。

❷ 名前

連絡先に登録されている名前が表示されます。登録されていない場合は、電話番号が表示されます。

❸ 終了

通話を終了します。

❹ 通話を追加（別途お申し込みが必要です）

通話を保留にして、別の相手に電話をかけます。

❺ Bluetooth®

Bluetooth®機器と接続して、ハンズフリーで通話します。

❻ 通話時間

❼ ダイヤルキー

ダイヤルキーを表示します。

❽ ミュート

自分の声が相手に聞こえないようにします。

❾ スピーカー

相手の声をスピーカーから出力し、ハンズフリーで通話します。

通話音量を調節する

相手の声の音量を調節できます。

1 通話中に／

■ 相手の声を大きくする場合

① を押す

■ 相手の声を小さくする場合

① を押す

通話を保留／保留解除する

「割込通話」（➡P.3-13）をお申し込みいただいているときは、通話を保留できます。

- 保留中でも、発信側には通話料金がかかります。

1 通話中画面で→「保留」／「保留解除」

通話履歴の確認／利用

不在着信を含むすべての発着信は、通話履歴として記録されます。通話履歴を利用して電話をかけたり、連絡先に登録したりできます。

1 ホーム画面で →「通話履歴」タブ

- ホーム画面で →「通話履歴」をタップしても、通話履歴画面を表示できます。

通話履歴画面

❶ 着信履歴を示します。
❷ 不在着信を示します。
❸ 発信履歴を示します。
❹ 同じ相手と連続して発着信した場合は、自動的に1つの履歴項目にまとめて記録されます（最新の不在着信を除く）。
- 複数履歴表示の履歴をタップすると、記録されている発着信履歴が一覧表示されます。

❺ タップすると、記録されている電話番号に電話をかけることができます。

2 通話履歴をタップ

項目を選択して電話発信やSMS作成、連絡先追加などができます。

お知らせ

- 通話履歴画面で →「フィルタ」をタップすると、着信履歴や発信履歴など履歴の種類ごとの表示に切り替えることができます。
- 電話帳に登録している相手との通話履歴を個別に表示するには、ホーム画面で →「電話帳」→相手の電話帳をタップ→「通話履歴」タブをタップします。

通話履歴を消去する

1 通話履歴画面で消去する通話履歴をロングタッチ

2 「通話履歴から消去」

お知らせ

- 通話履歴をすべて消去するには、通話履歴画面で →「すべての通話履歴を消去」→「OK」をタップします。

通話履歴画面のメニュー

通話履歴画面で通話履歴をロングタッチすると、次のメニューが表示されます。

- 通話履歴によって、表示される項目は異なります。

3

項目	説明
XXXXXXXXXXX※に発信	電話を発信します。
電話帳表示	履歴の電話番号が登録されている電話帳の詳細画面を表示します。
発信前に番号を編集	履歴の電話番号を編集して発信できます。
SMSを送信	SMSを作成します。
連絡先に追加	履歴の電話番号を電話帳に登録します。
ボイスメールに発信	留守番電話センターに接続します。
通話履歴から消去	通話履歴を消去します。

※：XXXXXXXXXXXには、電話番号が表示されます。

海外で利用する

国際ローミングの概要

国際ローミングは、提携する海外の通信事業者のネットワークを利用して、現在ご使用の携帯電話番号やメールアドレスを海外でもそのまま利用できるサービスです。
日本国内にいるときと同様に、電話、メール、SMS、インターネット、データ通信、留守番電話などが利用できます。国際ローミングを利用できる国や地域など、サービスの詳細については、イー・モバイルのホームページにてご確認ください。

- 滞在先で接続する通信事業者やネットワークによっては、利用できないサービスがあります。
- 別途、お申し込みの必要はありません。

ネットワークの種類を設定する

海外でGSMネットワーク対応の通信事業者と接続する場合などは、ネットワークの種類を変更します。

1 ホーム画面で → 「設定」 → 「無線とネットワーク」 → 「モバイルネットワーク」 → 「ネットワークモード」

2 「3G／GSM」／「3Gのみ」／「GSMのみ」

■お知らせ

- お買い上げ時は、「3G／GSM」に設定されています。日本国内や3Gネットワークの通信事業者のみの地域で本機を使用する場合は設定を変更する必要はありません。

接続する通信事業者を設定する

本機はお買い上げ時、自動的に滞在地域の適切な通信事業者に接続するように設定されています。手動で任意の通信事業者と接続する場合は、次の設定を行います。

1 **ホーム画面で → 「設定」 → 「無線とネットワーク」 → 「モバイルネットワーク」 → 「ネットワークオペレーター」**

検索された通信事業社名の一覧が表示されます。

2 **接続するネットワークをタップ**

■ 自動的に適切な通信事業者に接続する場合

①「自動選択」

■ 滞在地域で利用可能なすべてのネットワークを検索する場合

①「ネットワークを検索」→接続するネットワークをタップ

海外で電話をかける

滞在国から日本や滞在国以外に電話をかける

- 市外局番が「0」で始まる場合、「0」を除いてダイヤルしてください（一部の国・地域を除く）。

1 **ホーム画面で**

2 **「+」（0+をロングタッチ）-「国番号」-「相手先電話番号」を入力**

- 例えば、日本（国番号81）の携帯電話（080-＊＊＊＊-＊＊＊＊）に電話をかける場合は、+81-80-＊＊＊＊-＊＊＊＊を入力します。

3

発信されます。相手が応答すると通話中画面が表示されます（P.3-6）。

4 **通話が終わったら「終了」**

滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかけるときと同じ操作で電話をかけることができます（P.3-2）。

オプションサービス

本機では、以下のオプションサービスが利用できます。

サービス名称	内容
転送電話	電波の届かない場所にいるときや、通話中のため電話に出られないときなどに、かかってきた電話を指定した電話番号に転送します。
留守番電話	電波の届かない場所にいるときや、通話中のため電話に出られないときなどに、留守番電話センターで伝言をお預かりします。
割込通話※	今まで話していた相手との通話を保留にし、かかってきた電話を受けることができます。
発信者番号通知	自分の電話番号を相手に通知する／通知しないように設定することができます。
電話番号リクエスト	発信者番号を通知に設定している相手からかかってきた電話のみ受けることができます。

※：別途お申し込みが必要な有料サービスです。

お知らせ

- 電波の届かない場所では、本機からは操作できません。
- オプションサービスの詳細については、イー・モバイルのホームページにてご確認ください。

転送電話

電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときなどに、かかってきた電話を指定した電話番号に転送します。

転送電話を設定／開始する

転送条件ごとに転送先の電話番号を設定できます。
転送条件は次のメニューから選択します。

項目	説明
常に転送	かかってきた電話を本機に着信させずに転送します。
通話中の着信時に転送※	通話中にかかってきた電話を転送します。
不在着信時に転送※	転送開始時間内に電話に出なかったときに、かかってきた電話を転送します。 • 転送開始までの時間は、設定できません。
着信不能時に転送※	電波の届かない場所にいるときに、かかってきた電話を転送します。

※：お買い上げ時は、転送先の電話番号は留守番電話センターに設定されています。

1 **ホーム画面で ⋮⋮⋮ →「設定」→「通話設定」→「着信転送」**

2 **「常に転送」／「通話中の着信時に転送」／「不在着信時に転送」／「着信不能時に転送」**

3 転送先の電話番号を入力→「有効にする」／「更新」

- をタップすると、電話帳から電話番号を選択できます。

転送電話を停止する

1 ホーム画面で→「設定」→「通話設定」→「着信転送」

2 「常に転送」／「通話中の着信時に転送」／「不在着信時に転送」／「着信不能時に転送」

3 「無効にする」

■お知らせ

- 転送電話の開始中でも、着信音が鳴っている間はを右にドラッグして通話できます。ただし、「常に転送」に設定している場合は、着信しないため、通話はできません。
- 1つの転送条件に、転送電話と留守番電話を同時に設定できません。

留守番電話

電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときなどに、相手のメッセージを留守番電話センターでお預かりします。

留守番電話を設定／開始する

転送条件ごとに留守番電話センターへの転送を設定できます。
転送条件は、転送電話と同じメニューから選択できます
(P.3-10)。

1 ホーム画面で→「設定」→「通話設定」→「着信転送」

2 「常に転送」／「通話中の着信時に転送」／「不在着信時に転送」／「着信不能時に転送」

3 「08070017000」（留守番電話センターの電話番号）を入力→「有効にする」／「更新」

留守番電話を停止する

1 **ホーム画面で → 「設定」 → 「通話設定」 → 「着信転送」**

2 **「常に転送」／「通話中の着信時に転送」／「不在着信時に転送」／「着信不能時に転送」**

3 **「無効にする」**

■お知らせ

- 留守番電話の開始中でも、着信音が鳴っている間は を右にドラッグして通話できます。ただし、「常に転送」に設定している場合は、着信しないため、通話はできません。
- 1つの転送条件に、転送電話と留守番電話を同時に設定できません。

伝言メッセージを聞く

留守番電話センターに録音されている伝言メッセージを聞くことができます。

1 **ホーム画面で → **

- 「1」をロングタッチ、または「1416」→ をタップしても、留守番電話センターに接続できます。

■お知らせ

- 伝言メッセージが録音されると、ステータスバーに が表示されます。通知パネルを開いて「New voicemail」をタップしても、メッセージを確認できます。

割込通話

割込通話を利用すると、通話中にかかってきた電話を受けることができます。

- ご利用いただくには、別途お申し込みが必要です。
- 割込通話と合わせて転送電話または留守番電話を開始しているときに、通話中にかかってきた電話に応答しなかった場合は、かかってきた電話は設定に応じて転送先または留守番電話センターに接続されます。
- 転送電話または留守番電話の「常に転送」に設定している場合は、着信しないため、割込通話をご利用できません。

割込通話を設定する

1 **ホーム画面で → 「設定」 → 「通話設定」 → 「その他の設定」**

2 **「通話中着信」にチェックを付ける**

割込通話を停止する

1 **ホーム画面で → 「設定」 → 「通話設定」 → 「その他の設定」**

2 **「通話中着信」のチェックを外す**

通話中にかかってきた電話を受ける

最初に話していた相手を保留にして、かかってきた相手の着信に応答します。

1 **通話中に割込通話を着信したら、 を右にドラッグ**

- 割込通話を着信すると、着信を知らせる「プー、プー」という音が受話口から鳴ります。

■お知らせ

- 通話中、画面には2人の電話番号または名前と通話時間が表示されます。通話中の相手は中央に、保留中の相手はその後ろ側に表示されます。
- 割込通話の着信を拒否する場合は、 を左にドラッグします（P.3-5）。
- 割込通話中に「グループ通話」のアイコンが表示されますが、2011年6月現在、イー·モバイルではご利用できません。

通話の相手を切り替える

通話の相手を切り替えて、保留中の相手と通話します。

1 **割込通話中に → 「相手切替」**

発信者番号通知

発信の際に、自分の電話番号を通知するか、非通知にするかを設定します。

3

1 ホーム画面で → 「設定」 → 「通話設定」 → 「その他の設定」 → 「発信者番号」

2 項目をタップ

項目	説明
ネットワーク既定	電話番号の通知/非通知は、使用しているネットワークにより決定されます。
番号を非通知	自分の電話番号を非通知にします。
番号を通知	相手に自分の電話番号を通知します。

■ お知らせ

- 本設定の内容にかかわらず、電話番号の前に以下の数字を付けてダイヤルすることで、発信者番号を通知する/しないを設定できます。
  - 相手にお客さまの番号を通知する場合:相手の電話番号の前に「186」を付ける
  - 相手にお客さまの番号を通知しない場合:相手の電話番号の前に「184」を付ける

電話番号リクエスト

電話をかけてきた相手が電話番号を通知している場合のみ着信するように設定します。

- 発信者番号を非通知に設定している発信元には、発信者番号通知を案内するガイダンスが流れた後、自動的に電話を終了します。

1 ホーム画面で

2 「*254#」 →

■ 停止する場合

①「#254#」 →

■ お知らせ

- 留守番電話、転送電話、割込通話が設定されている場合にも、本サービスが優先されます。
- 公衆電話や海外からの電話など発信者側の意思にかかわらず電話番号の通知ができないときは、正常に動作しない場合があります。

電話帳の管理

4

電話帳について

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録しておくと、簡単な操作で電話をかけたり、メールを作成したりできます。
また、Googleアカウントなどのオンラインアカウントの連絡先と同期して、利用することもできます。

4

■ お知らせ

- EM chipやmicroSDカードの連絡先をインポートすることもできます（➡P.4-8）。
- 本機に登録できる電話帳の件数は、本機内のメモリの空き容量によって異なります。

電話帳に登録する

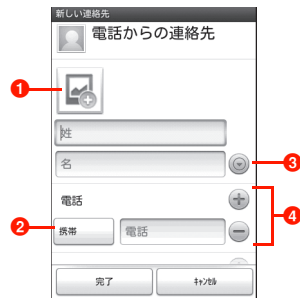
1 **ホーム画面で▦→「電話帳」**

電話帳一覧画面が表示されます。

2 **「電話帳作成」→登録先を選択**

- 「電話」をタップすると本機内のメモリに、「SIM」をタップするとEM chipに登録されます。
- 本機にオンラインアカウントを設定している場合は、登録先として表示されます。

電話帳登録画面

❶ 画像

画像を登録できます。

❷ ラベル

入力内容のラベル（種類）を選択できます。

❸ 詳細情報入力
敬称や読み仮名など詳細情報を登録できます。
❹ 入力欄の追加／削除
入力欄を追加／削除できます。

3 必要な項目を入力

4 「完了」

■ お知らせ

- 電話帳登録画面で「着信音」をタップすると、電話帳ごとの着信音を設定できます。

電話帳を確認／編集する

電話帳の登録内容を確認する

電話帳一覧画面または電話帳詳細画面から、簡単な操作で電話をかけたり、メールを作成したりできます。

1 ホーム画面で ■ →「電話帳」
電話帳一覧画面が表示されます（P.4-3）。

2 確認する電話帳をタップ
電話帳詳細画面が表示されます（P.4-4）。

電話帳一覧画面の見かた

電話帳一覧画面

❶ 画像
登録している画像などが表示されます。
タップすると、クイックコンタクトアイコンが表示されます。
❷ クイックコンタクトアイコン
アイコンをタップすると、電話の発信やメール作成などができます。表示されるアイコンは電話帳の登録内容によって異なります。
❸ 電話帳
タップすると、電話帳詳細画面が表示されます。ロングタッチすると、電話の発信や電話帳の編集などができます。

4

電話帳詳細画面の見かた

電話帳詳細画面

❶ 画像
タップすると、クイックコンタクトアイコンが表示されます（P.4-3）。

❷ 電話発信
タップすると、電話を発信できます。基本電話番号の後ろにはチェックマークが表示されます（P.4-5）。

❸ メール作成
タップすると、メールを作成できます。基本メールアドレスの後ろにはチェックマークが表示されます（P.4-6）。

❹ スター
（グレー）／（黄色）をタップすると、お気に入りに追加／削除ができます（P.4-6）。

❺ SMS
タップすると、SMSを作成できます。

電話帳一覧画面のメニュー

電話帳一覧画面で をタップすると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
検索	電話帳を検索します（P.4-5）。
連絡先を作成	電話帳を新規登録します（P.4-2）。
表示オプション	電話番号が登録されている連絡先のみを表示するなど、表示する連絡先を選択できます。
アカウント	アカウントと同期の設定をします（P.5-3）。
複数選択	チェックを付けた電話帳をまとめて削除したり、メール送信したりできます。
インポート／エクスポート	連絡先をインポート／エクスポートします（P.4-8）。

電話帳詳細画面のメニュー

電話帳詳細画面で☰をタップすると、次のメニューが表示されます。
- 電話帳の登録状況などによって、表示される項目は異なります。

項目	説明
連絡先を編集	電話帳を編集します（➡P.4-5）。
電話帳を削除	電話帳を削除します。
連絡先を送信	電話帳をBluetooth®やメールなどで送信します。
連絡先のコピー※	電話帳をEM chipやアカウントなどにコピーします。
グループに追加	電話帳をグループに追加します（➡P.4-9）。

※：オンラインアカウントを未設定の場合は､「SIM／電話へコピー」と表示されます。

電話帳を検索する

電話帳に登録されている名前などの一部を入力して､目的の電話帳を検索できます。

1 **電話帳一覧画面で🔍**

2 **検索ボックスに名前などの一部を入力**

検索結果が表示されます。確認する電話帳をタップすると、電話帳詳細画面が表示されます。

- 「すべての連絡先を検索」をタップすると、「表示オプション」（➡P.4-4）の設定で電話帳一覧画面に表示していない電話帳も検索対象に加えて再検索します。

電話帳を編集する

1 **電話帳一覧画面で編集する電話帳をロングタッチ**

2 **「連絡先を編集」**

電話帳編集画面が表示されます。

3 **入力内容を編集**

4 **「完了」**

基本電話番号を設定する

基本電話番号は、クイックコンタクトアイコンをタップしたり、電話帳一覧画面で電話帳をロングタッチして電話をかけたりする場合などに優先的に使用されます。

1 **電話帳詳細画面で、基本電話番号として使う電話番号をロングタッチ**

2 **「デフォルト番号作成」**

電話番号の後ろにチェックマークが表示されます。

基本メールアドレスを設定する

基本メールアドレスは、クイックコンタクトアイコンをタップしてメールを作成する場合などに優先的に使用されます。

1 **電話帳詳細画面で、基本メールアドレスとして使うメールアドレスをロングタッチ**

2 **「既定のメールに設定」**

メールアドレスの後ろにチェックマークが表示されます。

複数の連絡先を統合する

複数の連絡先を統合して1つの連絡先にまとめることができます。複数に分かれた同一人物の連絡先をまとめる場合などに便利です。

1 **電話帳詳細画面で「連結連絡先」**

2 **「連絡先を追加」**

登録内容などに関連性のある電話帳がある場合は、統合候補として表示されます。

- すべての電話帳を統合候補として表示させる場合は、「すべての連絡先を表示」をタップします。

3 **統合する連絡先をタップ**

- 統合されている電話帳を元の複数の電話帳に分割するには、連結連絡先で統合を解除する電話帳をタップします。

電話帳をお気に入りに追加する

よく使う電話帳をお気に入りとして登録しておくと、簡単に呼び出すことができます。

1 **電話帳一覧画面でお気に入りに追加する電話帳をロングタッチ**

2 **「お気に入りに追加」**

電話帳がお気に入りに追加されます。

電話帳詳細画面の名前の横にある☆(グレー)が☆(黄色)になります。

■お知らせ

- お気に入りから削除するには、電話帳一覧画面でお気に入りに登録している電話帳をロングタッチ→「お気に入りから削除」をタップします。
- お気に入りに登録していない電話帳の相手と電話の発着信などがあると、自動的にお気に入り一覧画面の「よく使う連絡先」欄に表示されます。

お気に入りの電話帳を確認する

1 **ホーム画面で[icon]→「電話帳」→「お気に入り」タブ**

お気に入り一覧画面が表示されます。

電話帳を利用／管理する

電話帳から電話をかける

1 **電話帳一覧画面で電話をかける電話帳をタップ**

2 **電話番号をタップ**

タップした電話番号に電話がかかります。

電話帳からメールを作成する

1 **電話帳一覧画面でメールを送信する電話帳をタップ**

2 **メールアドレスをタップ**

3 **メール作成に使用するアプリケーションをタップ**

以降の操作については、「EMnetメールを作成／送信する」（➡P.7-3）／「Gmail」（➡P.7-14）／「Eメールを作成／送信する」（➡P.7-16）をご参照ください。

電話帳からSMSを作成する

1 **電話帳一覧画面でSMSを送信する電話帳をタップ**

2 **携帯電話番号の[icon]をタップ**

以降の操作については、「SMSを作成／送信する」（➡P.7-11）をご参照ください。

連絡先をインポート／エクスポートする

EM chipやmicroSDカードからインポートする

EM chipやmicroSDカードに保存された連絡先を、本機の電話帳に追加できます。

1 電話帳一覧画面で☰→「インポート／エクスポート」

2 「SIMカードからインポート」／「SDカードからインポート」

以降の操作については、画面の指示に従ってください。

■お知らせ

- EM chipからインポートできる連絡先は、名前と電話番号（1件）のみです。
- インポートできる連絡先は、vCard形式（拡張子：vcf）のみです。

microSDカードにエクスポートする

本機で管理している電話帳を、microSDカードにバックアップできます。

1 電話帳一覧画面で☰→「インポート／エクスポート」

2 「SDカードにエクスポート」

3 「OK」

■お知らせ

- 電話帳は、vCard形式（拡張子：vcf）でエクスポートされます。

電話帳をコピーする

本機で管理している電話帳をコピーします。

1 電話帳一覧画面で☰→「インポート／エクスポート」

2 「電話帳のコピー」

3 電話帳のコピー元をタップ

4 コピーする電話帳にチェックを付ける

- 名前などの一部を入力して検索できます。

5 「コピー先」→電話帳のコピー先をタップ

グループを利用する

電話帳を「友人」、「会社」などにグループ分けして管理できます。

- お買い上げ時に登録されているグループは、削除したりグループ名を変更したりできません。

グループを追加する

1 **ホーム画面で▦→「電話帳」→「グループ」タブ**

グループ一覧画面が表示されます。

- タブを左／右にスワイプすると、隠れているタブを表示できます。

2 **「グループ作成」**

3 **グループ名を入力**

4 **「メンバーを追加」→グループに追加する電話帳にチェックを付ける→「OK」**

- 名前などの一部を入力して検索できます。
- 電話帳のグループ登録を解除するには、解除する電話帳の⊖をタップします。

5 **「完了」**

■お知らせ

- グループ作成画面で「グループ別着信音」をタップすると、グループごとの着信音を設定できます。
- 電話帳を個別にグループに登録する場合は、電話帳詳細画面で ☰ →「グループに追加」→登録するグループにチェックを付ける→「OK」をタップします。
- グループ一覧画面でグループをタップ→「メッセージ」／「メール」をタップすると、グループメンバーにSMSやメールを作成できます。

グループを削除する

1 **グループ一覧画面で☰→「グループの削除」**

2 **削除するグループにチェックを付ける→「削除」→「削除」**

グループの登録内容を編集する

1 **グループ一覧画面で編集するグループをタップ→「編集」**

2 **入力内容を編集→「完了」**

オンラインアカウントの管理

5

本機にアカウントを設定する

GoogleやMicrosoft Exchange ActiveSync、および、Facebook、Twitterなどオンラインサービスのアカウントを本機に設定し、情報の同期やアップデートができます。

Googleアカウントを設定する

5

「初期設定」（➡P.1-13）でGoogleアカウントの設定をスキップした場合は、GmailやAndroidマーケットなどGoogleサービスの初回利用時に、Googleアカウントの設定画面が表示されます。
Googleアカウントを設定すると、GmailやAndroidマーケットなどGoogleが提供するオンラインサービスを利用できます。

1 Googleアカウントの設定画面で「次へ」

2 アカウントを設定

■ Googleアカウントをお持ちでない場合

「作成」をタップしてアカウントを作成できます。

■ Googleアカウントをすでにお持ちの場合

「ログイン」をタップして、お持ちのアカウントを入力し、「ログイン」をタップします。

- Gmail を使用していない場合は、Gmail の設定画面が表示されます。

■ モバイルネットワークの設定を行う場合

☰→「ワイヤレス設定」をタップして、モバイルネットワークの設定が行えます（➡P.16-3）。

■ ブラウザからログインする場合

☰→「ブラウザログイン」→「次へ」をタップして、ブラウザからGoogleアカウントを入力してログインできます。

3 データのバックアップ※を行うかどうかを設定→「次へ」

※：Googleが提供する各種サービス、またサードパーティのアプリケーションの設定やデータなどを、クラウドにバックアップすることができます。ただし、バックアップ機能については、各アプリケーションの開発元にお問い合わせください。

4 「セットアップを完了」

アカウントを追加する

オンラインサービスのアカウントを本機に追加します。

1 ホーム画面で ⠿ →「設定」

2 「アカウントと同期」→「アカウントを追加」

3 追加するアカウントのサービスをタップ

以降の操作については、画面の指示に従ってください。

- Google、Microsoft Exchange ActiveSync、Facebook、Twitterから選択できます。
- Microsoft Exchange ActiveSyncアカウントを設定する場合は、「コーポレート」を選択します。設定情報などについては、ネットワーク管理者やサービス提供者にお問い合わせください。

アカウントと同期の設定をする

オンラインサービスのアカウントと同期の設定をします。

- データの同期など、一部自動的に通信を行う仕様となっており、通信料がかかる場合があります。

1 ホーム画面で → 「設定」

2 「アカウントと同期」

3 項目にチェックを付ける

項目	説明
バックグラウンドデータ	アプリケーションがデータをいつでも同期、送信、受信するように設定します。
自動同期	アプリケーションが自動的にデータを同期するように設定します。

Googleアカウントの同期を設定する

Googleアカウントにログインすると、本機とウェブの間でGmail（連絡先やメール）、Googleカレンダーなどを同期させることができます。

1 ホーム画面で → 「設定」

2 「アカウントと同期」→Googleアカウントをタップ

3 同期する項目にチェックを付ける

■ お知らせ

- Google以外のサービスのアカウントも、同様の操作で同期を設定できます。

アカウントを手動で同期する

1 ホーム画面で → 「設定」

2 「アカウントと同期」→同期するアカウントをタップ

3 → 「今すぐ同期」

アカウントを削除する

本機からオンラインサービスのアカウントや、メッセージ、連絡先、設定情報などを削除します。

- 本機からアカウントを削除しても、ウェブ上から情報は削除されません。

5

1 ホーム画面で →「設定」

2 「アカウントと同期」→削除するアカウントをタップ

3 「サインアウト」→「サインアウト」

お知らせ

- アカウントを他のアプリケーションで使用していて削除できない場合は、「データの初期化」（P.17-7）を行うとアカウントを削除できます。ただし、「データの初期化」を行うと、はじめて電源を入れる前の初期状態にリセットされるため、ダウンロードしたアプリケーションや登録情報など本機内のすべてのデータが消去されますので、ご注意ください。

ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）

6

ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）について

ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）とは、インターネットを利用して、テキストメッセージや画像などのデータをやり取りして、他のユーザーとコミュニケーションできるサービスです。
お買い上げ時は、Facebook、Twitter、Googleトークを利用するためのアプリケーションが本機にインストールされています。これらのアプリケーションを利用して、SNSをお楽しみいただけます。

- 各サービスのご利用には、アカウント登録が必要です。登録を行ってからご利用ください。
- 各サービスの詳細については、各オンラインヘルプをご確認ください。
- 各サービスによって、提供する内容が異なりますのでご注意ください。

6

Facebookを利用する

Facebookとは、会員制の情報共有サイトで、プロフィールを公開することで友達とコミュニケーションできるサービスです。詳細については、Facebookのオンラインヘルプなどをご確認ください。

1 **ホーム画面で ⠿ →「Facebook」**

初回利用時は、画面の指示に従ってログインしてください。

■ お知らせ

- Facebookのトップ画面で ☰ →「設定」をタップすると、更新間隔やお知らせの設定などができます。

Twitterを利用する

Twitterとは、つぶやき（ツイート）と呼ばれる最大140文字までのメッセージを投稿したり、他のユーザーのつぶやきを閲覧したりできるサービスです。

1 **ホーム画面で[アプリ]→「Twitter」**

初回利用時は、画面の指示に従ってログインしてください。

■お知らせ

- Twitterのトップ画面で[メニュー]→「設定」をタップすると、同期の設定や更新間隔の設定などができます。

Googleトークを利用する

Googleトーク（Android向け）とは、会員どうしでテキストチャットができるサービスです。携帯電話やウェブサイトで、Googleトークを利用している他のユーザーとチャットができます。

- Google トークを利用するには、Google アカウントの設定が必要です。Googleアカウントの設定画面が表示された場合は、「Googleアカウントを設定する」（➡P.5-2）を行ってください。

Googleトークにログインする

1 **ホーム画面で[アプリ]→「トーク」**

■お知らせ

- Googleトークの画面で[メニュー]→「設定」をタップすると、ログインの設定や通知の設定などができます。
- Google トークの詳細については、Google トークの画面で [メニュー] →「設定」→「利用規約とプライバシー」→「Help Center」をタップしてTalk Help（英文のみ）をご確認ください。

6

6-4　ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）

メール

7

メールについて

本機で使用できるメールには次の種類があります。

■ EMnetメール

EMnetメールは、EMnetメールのアドレス（@emnet.ne.jp）を使用して、イー・モバイル携帯電話だけでなく他社の携帯電話やパソコンなどとメールの送受信ができます。

■ SMS

SMS（テキストメッセージ）は、SMSに対応した携帯電話との間で、携帯電話番号を宛先としたメッセージの送受信ができます。SMSは全角70文字、半角160文字まで送信できます。

■ Gmail

Gmailは、Googleのウェブメールサービスです。同期設定によって、本機のGmailとウェブ上のGmailを自動で同期できます（➡P.5-3）。

- Gmailを利用するにはGoogleアカウントの設定が必要です。

■ Eメール（POP3／IMAP4）

パソコンで使用されているEメール（POP3／IMAP4）に対応しており、会社や自宅のパソコンと同じEメールを送受信できます。また、添付ファイルにも対応しています※。

※：すべての添付ファイルについて動作を保証するものではありません。

- Eメールを使用するには、事前にEメールアカウントを設定する必要があります（➡P.7-14）。
- 本機でEメールを送受信すると、本機とメールサーバーとで同期が行われ、「受信トレイ」などをメールサーバーと同じ状態に保つように動作します。

■ お知らせ

- 一定の間隔でメールサーバーに接続するように設定することで、擬似的にメールを自動受信できますが、サーバーに接続するたびに料金がかかる場合があります。
- Eメールは、送信するときもメールサーバーとの同期が必要です。
- 他の携帯電話やパソコンなどとメールを送受信した場合、メールの内容が正しく表示されない場合があります。

EMnetメール

EMnetメールのアドレス（@emnet.ne.jp）を使用して、メッセージや画像などの送受信ができ、絵文字も利用できます。
「EMnetメール」アプリケーションを利用すると、EMnetメール／SMSを送受信でき、統合されたメールボックスで管理できます。

- EMnetメールを利用するには別途EMnetへの加入が必要です。ただし、SMSのみを利用の場合はその限りではありません。

■ お知らせ

- 別途パケット通信料がかかります。
- EMnet メールの仕様／機能／デザインについては、ソフトウェア更新などにより変更されることがあります。ご了承ください。

APNを設定する

EMnetメールは、3Gパケット通信を利用してメールを送受信するアプリケーションです。メール機能を利用する前にAPNを設定します。

1 **ホーム画面で→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」**

2 **「アクセスポイント名」→「EMnet」のをタップ**

■お知らせ

- APNを「EMnet」に設定しない場合、WEB設定や新着通知が利用できません。

EMnetメールを作成／送信する

「EMnetメール」アプリケーションを使って、EMnetメール（MMS）やSMSを送受信します。

- EMnetメールの送受信可能文字数は全半角5000文字まで、1通あたりの最大容量は1MBです。
- 添付ファイルは、送信時は10件まで添付でき、受信時は1MBまでの間で件数に制限はありません。なお、静止画（ファイル形式：JPEG、GIF、BMP）／動画（ファイル形式：MP4、3GP）／音声（ファイル形式：MP3、amr）に対応しています。

1 **ホーム画面で→「MMS作成」**

MMS作成画面が表示されます。

2 **「To」欄をタップ→メールアドレスを入力**

- 名前やメールアドレスなどの一部を入力すると、一致する連絡先が表示されます。表示された連絡先をタップすると、宛先に追加できます。
- 複数の相手に送信する場合は、メールアドレスをカンマ（,）で区切ります。

■ 電話帳／送信履歴／受信履歴から宛先を選択する場合

① →「連絡先から選択」／「送信履歴から選択」／「受信履歴から選択」→送信する連絡先をタップ

■ Cc／Bccを追加する場合

① →「Ccを追加」／「Bccを追加」

②「Cc」／「Bcc」欄をタップ→メールアドレスを入力

3 **「件名」欄をタップ→件名を入力**

4 **本文入力欄をタップ→本文を入力**

■ ファイルを添付する場合

① →「添付」

② アプリケーションを選択→ファイルを選択

- 「画像」／「動画」／「音声録音」を選択した場合は、「ギャラリー」「ファイルマネージャー」「Huaweiミュージック」からファイルを選択します。
- 「写真撮影」／「ムービー撮影」を選択し、静止画／動画を撮影→「OK」で撮影した写真や動画を添付できます。
- 「音声録音」→「音声レコーダー」を選択し、→「この録音を使用」をタップすると、録音したデータを添付できます。

- 添付ファイルが画像や動画のときはサムネイル表示され、音楽や音声データのときはアイコンとファイル名が表示されます。

■ **絵文字を挿入する場合**

① ☰→「絵文字を挿入」→挿入する絵文字を選択

- 絵文字は件名にも挿入できます。

■ **下書き保存する場合**

①「保存」

■ **作成を中止する場合**

①「破棄」→「OK」

7

5 「送信」

- 送信確認のメッセージが表示された場合は、「OK」をタップします。「今後は表示しない」にチェックを付けると、次回以降は表示されません。

送受信したEMnetメールを確認／利用する

EMnetメールを確認する

1 ホーム画面で

メールボックス画面が表示されます（➡P.7-8）。

- お買い上げ時は、「受信トレイ」／「送信トレイ」／「下書き」／「送信済み」／「ごみ箱」フォルダが設定されています。

2 目的のフォルダをタップ

メール／SMS一覧表示画面が表示されます。

3 確認するメールをタップ

メール／SMSの詳細画面が表示されます。

- 添付ファイルがある場合は、メール内のデータをタップしたりmicroSDカードに保存したりして確認できます。

■ **お知らせ**

- EMnet　メールを受信すると、ステータスバーにが表示されます。
- 他の携帯電話やパソコンなどとメールを送受信した場合、メールの内容が正しく表示されない場合があります。

一覧表示画面の見かた

お買い上げ時、フォルダ内のメール／SMSは一覧表示されます。

一覧表示画面

❶ SMS（件名なし）
既読のときは背景がグレーで、未読のときは白で表示されます。
❷ EMnetメール（件名あり）
既読のときは背景がグレーで、未読のときは白で表示されます。
❸ チェックボックス
タップするとチェックが付き、メールオプションが表示されます。
❹ 返信済みメール／SMS
❺ 添付ファイルありメール
❻ 転送済みメール
❼ 保護設定されたメール／SMS
❽ メールオプション
チェックを付けたメール／SMSをまとめて、未読／既読設定や保護／保護解除、削除、移動の操作を行います。

スレッド一覧画面の見かた

EMnetメールの設定で「スレッド表示」にチェックを付けると、メール／SMSは送受信した相手ごとにスレッド表示されます。

スレッド一覧画面

❶ EMnetメールを新規作成します。
❷ スレッド
スレッドをタップすると、メール／SMSのスレッド詳細画面が表示されます。
❸ SMSを新規作成します。

7

EMnetメールに返信する

1 メール詳細画面で☰→「返信」／「全員に返信」

2 原文の引用を選択→「OK」

- 「今後は表示しない」にチェックを付けると、次回以降は表示されません。
- 「EMnetメールを作成／送信する」（➡P.7-3）の操作4に進みます。

EMnetメールを転送する

1 メール詳細画面で☰→「転送」

- 「EMnetメールを作成／送信する」（➡P.7-3）の操作2に進みます。

EMnetメールを削除する

1 メール詳細画面で☰→「メッセージを削除」

2 「削除」

- 「ただちに削除」にチェックを付けると、ごみ箱フォルダに移動されずに削除されます。

EMnetメール一覧表示画面のメニュー

メール／SMS一覧表示画面で☰をタップすると、次のメニューが表示されます。

- 内容によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
MMS作成	EMnetメールを作成します。
SMS作成	SMSを作成します。
新着確認	メールサーバに新着メールの問い合わせをします。新着メールがあるときは、通知が送信されます。
絞込み	絞込み条件を設定してメールを検索します。
全て選択	一覧画面のメールをすべて選択します。 • 未読にする／メッセージを保護／削除／移動を選択できます。
全て削除	一覧のメールをすべて削除します。
全て移動	一覧のメールをすべて移動します。
検索	メールを検索します。
フォルダを表示	フォルダ一覧が表示され、選択したフォルダに移動できます。

メール／SMS一覧表示画面でメールをロングタッチすると、次のメニューが表示されます。

- 内容によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
返信	選択したメールの送信者を宛先にして返信します。
全員に返信	選択したメールの送受信者全員を宛先にして返信します。
転送	選択したメールを転送します。

項目	説明
メッセージを削除	選択したメールを削除します。
メッセージを移動	選択したメールを別のフォルダに移動します。
未読／既読にする	選択したメールの未読／既読を設定します。
メッセージを保護／メッセージの保護を解除	選択したメールを保護／保護解除します。
メッセージの詳細を表示	選択したメールのヘッダ情報を表示します。
編集	選択したメールを編集します。
連絡先に追加	受信メールの送信者を連絡先に追加します。
添付ファイルをSDカードにコピー	選択したEMnetメールの添付ファイルをmicroSDカードに保存します。

EMnetメール詳細画面のメニュー

メール／SMS詳細画面で☰をタップすると、次のメニューが表示されます。

- 内容によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
メッセージを保護／メッセージの保護を解除	メールを保護／保護解除します。
返信	選択したメールの送信者を宛先にして返信します。
全員に返信	選択したメールの送受信者全員を宛先にして返信します。
転送	選択したメールを転送します。
メッセージを削除	選択したメールを削除します。
メッセージの詳細を表示	選択したメールのヘッダ情報を表示します。
添付ファイルをSDカードにコピー	選択したメールの添付ファイルをmicroSDカードに保存します。
フォルダを表示	フォルダ一覧が表示され、選択したフォルダに移動できます。
XXXXXXXXXXXさんにメール	メールを作成して送信します。
XXXXXXXXXXXに発信※	SMSの相手に電話をかけます。
連絡先にXXXXXXXXXXXさんを登録	連絡先に登録します。

※：SMSの詳細画面で表示されます。

7

送受信したEMnetメールを管理する

フォルダを作成したり、振り分け設定をしたりして、送受信したメールを管理します。

1 ホーム画面で[icon]

メールボックス画面

メールボックス画面のメニュー

メールボックス画面で[≡]をタップすると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
MMS作成	EMnetメールを作成します。
SMS作成	SMSを作成します。
フォルダ作成	フォルダを作成します。
新着確認	新着メールを確認します。
設定	EMnetメール設定を行います。
その他 振り分け設定	メール振り分けを設定します。
その他 ヘルプ	「EMnetメール」アプリケーションのオンラインヘルプを表示します。
その他 検索	文章を入力してメールを検索します。

フォルダを作成する

1 メールボックス画面で[≡]→「フォルダ作成」→フォルダ名を入力→「OK」

メールボックス画面に追加したフォルダが表示されます。

■ フォルダ名を変更する場合

① メールボックス画面で変更するフォルダをロングタッチ→「フォルダ名変更」→フォルダ名を入力→「OK」

■ フォルダの位置を変更する場合

① メールボックス画面で変更するフォルダをロングタッチ→「1つ上へ」／「1つ下へ」

■ フォルダを削除する場合

① メールボックス画面で削除するフォルダをロングタッチ→「フォルダ削除」→「削除」

- メールが保存されているフォルダを選択するとメールも削除されます。
- 振り分け設定されているフォルダを削除しても、振り分け設定は削除されません。

■お知らせ

- お買い上げ時に作成されているフォルダは、フォルダ名変更や削除はできません。

メール振り分けを設定する

メール振り分けを設定すると、送受信メールを設定した条件でフォルダに振り分けされます。

1 **メールボックス画面で☰→「その他」→「振り分け設定」**

メール振り分け設定画面が表示されます。

2 **「新規振り分けを追加する」→振り分け名を入力→目的の振り分け条件を設定→「OK」**

■ 振り分け名／条件を変更する場合

① 振り分け名／条件を変更する条件をタップ→振り分け名／条件を変更→「OK」

■ 振り分け条件を削除する場合

① 振り分けを削除する条件をロングタッチ→「振り分け削除」→「削除」

EMnetメールの各種設定を行う

1 **ホーム画面で✉**

2 **☰→「設定」**

3 **項目を設定**

項目		説明
ソフトウェアのバージョン		EMnetメールのバージョンを表示します。
表示の設定※1	スレッド表示	メール／SMSの表示をスレッド表示にするかどうかを設定します。
	メッセージ作成を表示	メールボックス画面に「MMS作成」「SMS作成」のボタンを表示させるかどうかを設定します。
	送信・保存・破棄を表示	メール／SMS作成画面に「送信」「保存」「破棄」のボタンを表示させるかどうかを設定します。
	送信確認	送信時に送信確認を表示させるかどうかを設定します。
	文字サイズ	文字サイズを設定します。
フォルダ設定	メール振り分け	メール振り分け条件を設定します。
	ごみ箱自動削除	破棄したメールをごみ箱から削除する日数を設定します。
MMS設定	原文の引用	返信するときに、メールの文章を引用するかどうかを設定します。
	自動で取得	EMnetメールを自動取得するかどうかを設定します。
	ローミング時に自動取得※2	海外でEMnetメールを自動取得するかどうかを設定します。
	Wi-Fiテザリング時に取得	Pocket Wi-Fi設定中にEMnetメールを自動取得するかどうかを設定します。

7

項目		説明
通知設定※1	通知	メール／SMS受信時、ステータスバーに通知アイコンを表示するなどして通知するかどうかを設定します。
	着信音を選択	メール／SMS受信時の通知音を設定します。
	バイブレーション	メール／SMS受信時のバイブレーション動作を設定します。 • バイブレーションを「使用しない」以外に設定する場合は、「バイブ」（➡P.1-24）も合わせて設定する必要があります。
その他の設定	メッセージをインポート	microSDカードからメールをインポートします。
	メッセージをエクスポート	microSDカードにメールをエクスポートします。
	WEB設定	メールサーバに接続して、WEB設定を行います（➡P.7-10）。

※1：SMS設定にも反映されます。

※2：メールの自動取得による海外でのパケット通信のご利用は、ローミング通信料が高額となる場合がありますので、ご注意ください。

WEB設定を行う

メールサーバに接続して、EMnetメールのメールアドレスを変更したり、メール設定の情報を確認したりできます。

1 **ホーム画面で → →「設定」**

2 **「WEB設定」→ネットワーク暗証番号を入力→「ログイン」**

3 **目的の設定を行う**

- 項目選択後の操作については、画面の指示に従ってください。

項目	説明
メールアドレス変更	EMnetメールの初期設定を行うと自動でメールアドレスが決定されますが、メールアドレスの@より前の部分は文字列を組み合わせて変更できます。
メールフィルタ	指定したメールアドレスについて、受信拒否／許可を設定します。
メールヘッダ閲覧	受信メールのヘッダ情報（宛先、差出人、日付、件名など）を確認します。
EMnetメール設定確認	EMnetメールの設定情報を確認します。
新着メール通知	圏外や電源OFFなどの理由で新着通知を受け取れなかった場合に再送するかどうかを設定します。

SMS

SMSの送受信も「EMnetメール」アプリケーションを利用します。

- 通話履歴や電話帳から、SMSを作成／送信することもできます（➡P.3-7、P.4-7）。

SMSの表示を切り替える

SMSの設定で「スレッド表示」にチェックを付ける（➡P.7-13）と、メール／SMSは送受信した相手ごとにスレッド表示されます。スレッド表示に設定するとSMSがより見やすくなります。

- お買い上げ時の状態では、一覧表示画面が表示されたり、一覧表示画面のメニューが表示されたりします。詳細については、「送受信したEMnetメールを確認／利用する」（➡P.7-4）をご参照ください。

1 ホーム画面で

2 ☰→「設定」→「スレッド表示」にチェックを付ける

スレッド一覧画面が表示されます。

- スレッド一覧画面ではEMnetメール／SMSがすべてスレッド表示されます。

SMSを作成／送信する

1 スレッド一覧画面で「SMS作成」

SMS作成画面が表示されます。

2 「To」欄をタップ→携帯電話番号を入力

■ 電話帳／送信履歴／受信履歴から宛先を選択する場合

① →「連絡先から選択」／「送信履歴から選択」／「受信履歴から選択」→送信する連絡先をタップ

3 メッセージ欄に本文を入力

■ 絵文字を挿入する場合

① ☰→「絵文字を挿入」→絵文字を選択

■ 作成を中止する場合

① ☰→「破棄」

4 「送信」

受信したSMSを確認する

1 スレッド一覧画面で確認するスレッドをタップ

選択した相手ごとのスレッド詳細画面が表示されます。

■ スレッド一覧に戻る場合

① スレッド詳細画面で☰→「スレッド一覧」

■お知らせ

- SMS を受信すると、SMS を受信した旨のメッセージが表示され、ステータスバーに が表示されます。

7

スレッド一覧画面のメニュー

SMSのスレッド一覧画面で☰をタップすると、次のメニューが表示されます。

- 内容によって、表示される項目は異なります。

項目		説明
MMS作成		EMnetメールを作成します。 • 件名を追加するときは、☰→「件名を追加」をタップします。
SMS作成		SMSを作成します。
新着確認		新着メールを確認します。
設定		EMnetメール設定を行います。
ヘルプ		「EMnetメール」アプリケーションのオンラインヘルプを表示します。
その他	**スレッドを削除**	すべてのスレッドを削除します。
	検索	メッセージを検索します。

スレッド詳細画面のメニュー

SMSのスレッド詳細画面で☰をタップすると、次のメニューが表示されます。

- 内容によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
発信	SMSの相手に電話をかけます。
連絡先を表示	SMSの相手の連絡先詳細画面を表示します。
絵文字を挿入	SMSに絵文字を挿入します。
スレッドを削除	スレッド全体を削除します。
スレッド一覧	スレッド一覧画面を表示します。

SMSのスレッド詳細画面でSMSをロングタッチすると、次のメニューが表示されます。

- SMSの内容によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
メッセージを保護／メッセージの保護を解除	SMSを保護／保護解除します。
XXXXXXXXXXX※に発信	SMSの相手に電話をかけます。
連絡先にXXXXXXXXXXX※さんを追加	SMSの相手を連絡先に追加します。
転送	SMSを転送します。
メッセージテキストをコピー	SMSのテキストをコピーします。
メッセージの詳細を表示	SMSのヘッダ情報を表示します。
メッセージを削除	選択したSMSを削除します。

※：XXXXXXXXXXXには、電話番号が表示されます。

SMSを設定する

1 ホーム画面で[アイコン]

2 [メニュー]→「設定」

3 項目を設定

項目		説明
表示の設定※	スレッド表示	メール／SMSの表示をスレッド表示にするかどうかを設定します。
	メッセージ作成を表示	メールボックス画面に「MMS作成」「SMS作成」のボタンを表示させるかどうかを設定します。
	送信・保存・破棄を表示	メール／SMS作成画面に「送信」「保存」「破棄」のボタンを表示させるかどうかを設定します。
	送信確認	送信時に送信確認を表示させるかどうかを設定します。
	文字サイズ	文字サイズを設定します。
SMS設定	原文の引用	返信するときに、SMSの文章を引用するかどうかを設定します。
	受取確認通知	相手がSMSを開封したときに通知されるように設定します。
	SIMカードのメッセージ	EM chipに保存されているSMSを管理します。
通知設定※	通知	メール／SMS受信時、ステータスバーに通知アイコンを表示するなどして通知するかどうかを設定します。
	着信音を選択	メール／SMS受信時の通知音を設定します。
	バイブレーション	メール／SMS受信時のバイブレーション動作を設定します。 • バイブレーションを「使用しない」以外に設定する場合は、「バイブ」（➡P.1-24）も合わせて設定する必要があります。

※：EMnetメール設定にも反映されます。

7

Gmail

Gmailを利用して、Eメールの送受信ができます。

- Gmailを利用するには、Googleアカウントの設定が必要です。Googleアカウントの設定画面が表示された場合は、「Googleアカウントを設定する」（P.5-2）を行ってください。

1 **ホーム画面で → 「Gmail」**

Gmail画面が表示されます。

お知らせ

- Gmailの詳細については、Gmail画面で → 「その他」→「ヘルプ」をタップして、モバイルヘルプをご確認ください。

Eメール

Eメールアカウントを設定する

メールアドレスとパスワードを入力すると、Eメールアカウントの設定を自動的に取得し、簡単に設定できます。

- 自動で設定できない場合や、手動で設定する場合は、受信設定や送信設定を入力する必要があります。あらかじめ必要なEメールアカウントの設定情報をご確認ください。

1 **ホーム画面で → 「メール」**

2 **メールアドレスとパスワードを入力→「次へ」**

メールアカウントの設定が自動的に取得されます。

- 自動的に設定を取得できなかったためにアカウントタイプの選択画面が表示された場合は、画面の指示に従って設定してください。

■ 手動で設定する場合

① メールアドレスとパスワードを入力→「手動セットアップ」
② 画面の指示に従って設定

3 **アカウント名など設定情報を入力→「完了」**

Eメールアカウントを追加する

1 **ホーム画面で▦→「メール」**

Eメール一覧画面が表示されます。

- メールアカウント一覧画面が表示された場合は、操作3に進みます。

2 **☰→「アカウント」**

メールアカウント一覧画面が表示されます。

3 **☰→「アカウントを追加」**

「Eメールアカウントを設定する」(➡P.7-14)の操作2に進みます。

Eメールアカウントを管理する

1 **ホーム画面で▦→「メール」**

Eメール一覧画面が表示されます。

- メールアカウント一覧画面が表示された場合は、設定するメールアカウントをタップします。

2 **☰→「アカウントの設定」**

3 **項目を設定**

- メールアカウントによって、表示される項目は異なります。

項目	説明
アカウント名	アカウント名を設定します。
名前	ユーザー名を設定します。
署名	署名を登録します。登録すると、Eメール作成時に自動的に追加されます。
同期する期間	同期する期間を設定します。
受信トレイの確認頻度	新着メールを自動受信する時間の間隔を設定します。
優先アカウントにする	送信時、通常のアカウントとして使用するかどうかを設定します。 • チェックを付けると、メールアカウント一覧画面の設定したアカウントにチェックマークが表示されます。
メール着信通知	Eメールを受信したとき、ステータスバーに通知アイコンを表示するなどして通知するかどうかを設定します。
着信音を選択	Eメールを受信したときの通知音を設定します。
バイブレーション	Eメールを受信したときのバイブレーション動作を設定します。 • バイブレーションを「使用しない」以外に設定する場合は、「バイブ」(➡P.1-24)も合わせて設定する必要があります。
受信設定	受信サーバーの設定を変更します。
連絡先を同期	連絡先の同期を設定します。
カレンダーを同期	カレンダーの同期を設定します。

7

Eメールアカウントを削除する

1 **ホーム画面で▦→「メール」**

Eメール一覧画面が表示されます。

- メールアカウント一覧画面が表示された場合は、操作3に進みます。

2 **▤→「アカウント」**

メールアカウント一覧画面が表示されます。

3 **削除するメールアカウントをロングタッチ→「アカウントを削除」→「OK」**

7

Eメールを作成／送信する

1 **ホーム画面で▦→「メール」**

Eメール一覧画面が表示されます。

- メールアカウント一覧画面が表示された場合は、使用するメールアカウントをタップします。

2 **▤→「作成」**

Eメール作成画面が表示されます。

3 **「宛先」欄をタップ→メールアドレスを入力**

- 名前やメールアドレスなどの一部を入力すると、一致する連絡先が表示されます。表示された連絡先をタップすると、宛先に追加できます。
- 複数の相手に送信する場合は、メールアドレスをカンマ（,）で区切ります。

■ **電話帳から宛先を選択する場合**

① ＋→送信する連絡先にチェックを付ける→「OK」
  - 名前やメールアドレスなどの一部を入力して検索できます。

■ **Cc／Bccを追加する場合**

① ▤→「Cc／Bccを追加」
② 「Cc」／「Bcc」欄をタップ→メールアドレスを入力

4 **「件名」欄をタップ→件名を入力**

5 **本文入力欄をタップ→本文を入力**

■ **ファイルを添付する場合**

① ▤→「添付ファイルを追加」
② アプリケーションを選択→ファイルを選択
  - 「ギャラリー」で📷をタップするとカメラが起動し、静止画を撮影できます。
  - 「音声レコーダー」を選択し、●→「この録音を使用」をタップすると、録音したデータを添付できます。

■ **下書き保存する場合**

① 「下書き保存」

■ **作成を中止する場合**

① 「破棄」

6 「送信」

受信したEメールを確認する

1 **ホーム画面で ⊞ →「メール」**

Eメール一覧画面が表示されます。

- メールアカウント一覧画面が表示された場合は、使用するメールアカウントをタップします。

Eメール一覧画面

❶ **未読メール**
背景が緑色で表示されます。

❷ **既読メール**
背景が白色で表示されます。

❸ **チェックボックス**
タップするとチェックが付き、メールオプションが表示されます。

❹ **アカウント名**
複数のメールアカウントが登録されている場合、タップするとメールアカウント一覧画面が表示されます。

❺ **スター**
☆（グレー）／★（黄色）をタップすると、スターを付ける／外すことができます。メールアカウント一覧画面で「スター付き」をタップすると、スターを付けたインターネットメールを確認できます。

❻ **メールオプション**
チェックを付けたEメールをまとめて未読／既読にしたり、スターを付けたり、削除したりします。

2 **Eメールをタップ**

Eメール詳細画面が表示されます。

■お知らせ

- Eメールを受信すると、ステータスバーに ✉ が表示されます。
- メールアカウント一覧画面で「統合受信トレイ」をタップすると、すべてのメールアカウントの受信メールを一覧で確認できます。
- Eメール詳細画面で ☰ →「未読にする」をタップすると、Eメールを未読の状態にできます。
- ファイルが添付されているEメールには、Eメール一覧画面で 📎 が表示されます。Eメール詳細画面を表示し、ファイル名の下に表示されている「開く」をタップすると、ファイルを開いて確認できます。「保存」をタップすると本体に保存できます。
- Eメール詳細画面で画面上部の ＜ ／ ＞ をタップすると、前／後のEメールを表示します。

- Eメール詳細画面で送信者名をタップすると、クイックコンタクトアイコンが表示されます（P.4-3）。送信者のメールアドレスが電話帳に登録されていない場合は、電話帳に追加できます。

Eメールを削除する

1 **Eメール詳細画面で「削除」**

Eメールに返信する

7

1 **Eメール詳細画面で「返信」／「全員に返信」**

Eメール作成画面が表示されます。

2 **本文入力欄をタップ→本文を入力**

3 **「送信」**

Eメールを転送する

1 **Eメール詳細画面で→「転送」**

Eメール作成画面が表示されます。

2 **「宛先」欄をタップ→メールアドレスを入力**

3 **本文入力欄をタップ→本文を入力**

4 **「送信」**

Eメール一覧画面のメニュー

Eメール一覧画面でをタップすると、次のメニューが表示されます。

- Eメールの内容によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
更新	手動で新着メールを受信し、本機のEメールとメールサーバーを同期します。
作成	Eメールを作成します。
選択をすべて解除	チェックボックスのチェックをすべて外します。
フォルダ	Eメールを「送信済み」、「下書き」などのフォルダ別に表示します。 • メールアカウントによって表示されるフォルダ名やフォルダ数は異なります。
アカウント	メールアカウント一覧画面を表示します。
アカウントの設定	メールアカウントを設定します（P.7-14）。

インターネット

8

インターネットへ接続する

本機では、インターネット接続やテザリング機能が利用できます。

■ 本機からインターネットへ接続する

- 3Gパケット通信接続（➡P.8-2）
- Wi-Fiネットワーク接続（➡P.8-4）

■ 他の通信機器から本機を経由してインターネットへ接続する

- Pocket WiFi（Wi-Fiテザリング）（➡P.8-7）
- USBテザリング（➡P.8-8）

■ 本機からローカルネットワークにアクセスする

- VPN（Virtual Private Network）接続（➡P.8-9）

8

3Gパケット通信を使って接続する

3Gパケット通信を利用してインターネットへ接続できます。

- お買い上げ時は、次の 5 つのアクセスポイントが設定されています。

EMnet	EMnet契約時に利用できる接続先です。
My EMOBILE	オンラインサポートサイト「My EMOBILE」専用の接続先です。接続にかかる通信料は無料です。
プロトコル制限あり（B）	ファイル交換（P2P）やオンラインゲーム、動画の一部など、一部利用できない通信（プロトコル）があります。
プロトコル制限なし	通信（プロトコル）制限のない接続先です。
プロトコル制限なし（N）	通信（プロトコル）制限のない、スマートフォン用の接続先です。

- 「EMnetメール」は、EMnetメールアプリ専用の接続先のため、お客さまは選択できません。

新しいアクセスポイントを作成する

本機に新しいアクセスポイントを追加します。

- アクセスポイントの設定内容は、ご契約されている通信事業者にご確認ください。

1 **ホーム画面で⠿→「設定」→「無線とネットワーク」**

2 「モバイルネットワーク」→「アクセスポイント名」

APN画面が表示されます。

3 ☰→「新しいAPN」

4 アクセスポイントの設定を編集→☰→「保存」

- 編集を中止する場合は、☰→「破棄」をタップします。

利用するアクセスポイントを切り替える

1 APN画面で利用するアクセスポイントの◉をタップ

アクセスポイントを編集／削除する

すでに登録されているアクセスポイントの設定を編集／削除します。

1 APN画面で編集／削除するアクセスポイント名をタップ

2 アクセスポイントの設定を編集／削除

■ 編集する場合

① アクセスポイントの設定を編集→☰→「保存」

- 編集を中止する場合は、☰→「破棄」をタップします。

■ 削除する場合

① ☰→「APNを削除」

■ お知らせ

- アクセスポイントの設定の際に、MCC／MNCを440／00以外に変更すると、APN画面にアクセスポイントの設定が表示されなくなりますので、変更しないでください。APN画面に表示されなくなった場合には、APN画面で☰→「初期設定にリセット」をタップするか、APN画面で☰→「新しいAPN」をタップして、再度アクセスポイントの設定を行ってください。

アクセスポイントの設定をリセットする

アクセスポイントの設定をお買い上げ時の設定内容に戻します。

1 APN画面で☰→「初期設定にリセット」

■ お知らせ

- リセットすると、お客さまが追加したアクセスポイントの設定は削除されます。

国際ローミング中にデータ通信を使用できるようにする

1 ホーム画面で▦→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」

2 「データローミング」にチェックを付ける→注意内容を確認→「OK」

■ データローミングを許可しない場合

①「データローミング」のチェックを外す

■お知らせ

- 海外でのパケット通信のご利用は、高額となる場合がありますので、ご注意ください。

8

Wi-Fiを使って接続する

Wi-Fiを利用してインターネットへ接続できます。

- 対応周波数帯は2.4GHzです（→P.23）。
- 本機で対応している無線LAN規格は次のとおりです。
  IEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11n
- 本機で対応している暗号化方式は次のとおりです。
  WEP、WPA/WPA2 PSK（TKIP/AES)、IEEE802.1X EAP

■お知らせ

- Wi-Fiネットワークが切断された場合は、自動的に3Gネットワーク接続に切り替わります。

アクセスポイントに自動で接続する

1 ホーム画面で →「設定」→「無線とネットワーク」

2 「Wi-Fi」にチェックを付ける

利用可能なアクセスポイントを自動的にスキャンします。

3 「Wi-Fi設定」

Wi-Fi設定画面

❶ 検出されたアクセスポイントが表示されます。
❷ セキュリティで保護されていることを示します。
❸ 電波強度を示します。

4 接続するアクセスポイントをタップ

5 アクセスポイントに接続

■ オープンなアクセスポイントに接続する場合

① 「接続」

■ セキュリティで保護されているアクセスポイントに接続する場合

① パスワードを入力→「接続」

- 「パスワードを表示」にチェックを付けると、入力したパスワードをそのまま表示します。

アクセスポイントに手動設定で接続する

非公開に設定されているアクセスポイントに接続する場合は、設定を手動入力する必要があります。

- 設定に必要な情報は、お使いのWi-Fiアクセスポイントの取扱説明書をご参照ください。社内LANに接続する場合や公衆無線LANサービスをご利用の場合は、接続に必要な情報をあらかじめネットワーク管理者またはサービス提供者から入手してください。

1 Wi-Fi設定画面で「Wi-Fiネットワークを追加」

2 ネットワークSSIDを入力→セキュリティを選択→パスワードを入力

3 「保存」

Wi-Fi接続を切断する

1 Wi-Fi設定画面で切断するアクセスポイントをタップ→「切断」

■お知らせ

- 利用可能なアクセスポイントを手動でスキャンする場合は、Wi-Fi設定画面で☰→「スキャン」をタップします。
- Wi-Fiのスリープ設定をする場合は、Wi-Fi設定画面で☰→「詳細設定」→「Wi-Fiのスリープ設定」→スリープの条件をタップして設定できます。

Wi-Fi接続の状況を確認する

以下で現在のWi-Fi接続の状況を確認できます。

- ステータスバー
  本機がWi-Fiで接続している場合、ステータスバーにが表示され、電波強度が示されます。
- アクセスポイント
  Wi-Fi設定画面で、現在接続しているアクセスポイントをタップすると、接続状況、セキュリティ、電波強度などの情報が表示されます。

Wi-Fiの詳細設定をする

Wi-Fiのアクセスポイントを通知する

利用可能なアクセスポイントが検出されたことを通知するように設定できます。

- Wi-FiがONの状態でWi-Fiのアクセスポイントに接続していない場合に通知します。

1 Wi-Fi設定画面で「ネットワークの通知」にチェックを付ける

- 利用可能なアクセスポイントが検出されると、ステータスバーにを表示して通知します。

静的IPアドレスを使用する

静的IPアドレスを使用してWi-Fiのアクセスポイントに接続するように本機を設定できます。

1 Wi-Fi設定画面で→「詳細設定」

2 「静的IPを使用する」にチェックを付ける

「IP設定」欄が有効になります。

3 「IP設定」欄の項目をタップして入力

Pocket WiFi（Wi-Fiテザリング）を利用する

Pocket WiFi（Wi-Fiテザリング）を利用すると、他の通信機器から本機の3Gパケット通信を経由して、インターネットへ接続できるようになります。

- 対応周波数帯は2.4GHzです（→P.23）。
- Pocket WiFiで対応している無線LAN規格は次のとおりです。
  IEEE802.11b、IEEE802.11g
- 他の通信機器から本機に同時に接続できるのは、最大5台までです。

1 **ホーム画面で（Pocket WiFiウィジェット）**

Pocket WiFiが有効になると、アイコンがになり、ステータスバーにはが表示されます。

■お知らせ

- Wi-Fiネットワーク接続中にPocket WiFiを有効にすると、3Gパケット通信に切り替わります。
- ホーム画面で→「設定」→「無線とネットワーク」→「テザリングとPocket WiFi」→「Pocket WiFi」にチェックを付けても、Pocket WiFiを有効にできます。

ネットワークSSIDおよびセキュリティ（パスワード）を確認する

お買い上げ時は、ネットワークSSIDは「PocketWiFi」、セキュリティ（パスワード）は「WPA2 PSK」（8桁の数字）が設定されています。

- Pocket WiFiで設定できる暗号化方式はWPA2 PSK（AES）です。
- あらかじめPocket WiFiを有効にしておいてください。

1 **ホーム画面で**

2 **「セキュリティ方式の設定」**

3 **ネットワークSSIDおよびセキュリティ（パスワード）を確認する**

- 「パスワードを表示」にチェックを付けると、入力したパスワードをそのまま表示します。

■ ネットワークSSIDおよびセキュリティ（パスワード）を変更する場合

① ネットワークSSIDおよびセキュリティ（パスワード）を変更→「保存」

■お知らせ

- 「データの初期化」（P.16-7）を行うと、パスワードは自動的に変更されます。

USBテザリングを利用する

USBケーブルを使用して、本機と他の通信機器を接続します。設定を行うと、他の通信機器から本機の3Gパケット通信を経由して、インターネットへ接続できるようになります。

- 本機と接続可能なパソコンの動作環境は、「パソコンと接続する」（➡P.1-25）をご参照ください。
- Windows Vista、Windows 7をお使いになるときは、そのまま接続して利用できます。Windows XPをお使いになるときは、あらかじめウェブ上から最新のMicrosoft ActiveSyncをダウンロードし、お使いのパソコンにインストールしてください。
- USBテザリングの詳細については、ホーム画面で▦→「設定」→「無線とネットワーク」→「テザリングとPocket WiFi」→「ヘルプ」をご確認ください。

8

1 本機と通信機器をUSBケーブルで接続

- 「パソコンと接続する」（➡P.1-25）をご参照ください。
- パソコンと接続すると「USBマスストレージ」と画面に表示されることがありますが、「戻る」キーをタップして、この画面を閉じてください。

2 ホーム画面で▦→「設定」

3 「無線とネットワーク」→「テザリングとPocket WiFi」

- 「USBテザリング」の下にUSB接続済みであることが表示されていることを確認してください。

4 「USBテザリング」にチェックを付ける

ステータスバーに▦が表示されます。

■ USBテザリングの設定を解除する場合

① 「USBテザリング」のチェックを外す
② パソコン側のタスクトレイで本機の安全な取り外しを行う
③ USBケーブルを取り外す

■ お知らせ

- USBテザリング設定中は、本機のmicroSDカードをUSBストレージとして利用できません。

VPNに接続する

VPN（Virtual Private Network）は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。本機からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手する必要があります。

- 本機で対応している VPN プロトコルは次のとおりです。ただし、すべての環境で動作を保証するものではありません。
  PPTP、L2TP、L2TP/IPSec PSK、L2TP/IPSec CRT

VPNを追加する

1 ホーム画面で⁝⁝⁝→「設定」

2 「無線とネットワーク」→「VPN設定」

VPN設定画面が表示されます。

3 「VPNの追加」→追加するVPNの種類をタップ

4 ネットワーク管理者の指示に従って項目を設定

- ☰→「キャンセル」をタップすると、設定を中止します。

5 ☰→「保存」

VPNに接続する

1 VPN設定画面で接続するVPNをタップ

2 必要な認証情報を入力→「接続」

VPNに接続するとステータスバーにが表示されます。

VPNを切断する

1 VPN設定画面で切断するVPNをタップ

VPNが切断されます。

VPN設定画面のメニュー

VPN設定画面でVPNをロングタッチすると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
ネットワークに接続	VPNに接続します。
ネットワークから切断	VPNを切断します。
ネットワークの編集	VPN設定の各項目を編集します。
ネットワークを削除	VPNを削除します。

ブラウザを利用する

ブラウザを利用して、ウェブページを閲覧できます。

- ウェブページによっては、表示できない場合や正しく表示されない場合があります。

ブラウザを起動する

1 **ホーム画面で**

- ホーム画面で →「ブラウザ」をタップしても、ブラウザ画面を表示できます。

ブラウザ画面

❶ アドレスバー

タップすると、キーボードが表示されます。表示するウェブページのURLを入力します。キーワードを入力すると、直接検索できます。

❷ ブックマーク／閲覧履歴アイコン

ブックマーク一覧画面（P.8-12）を表示します。

- 画面上部の「よく使用」タブ／「履歴」タブをタップすると、よく使用する履歴画面／閲覧履歴画面を表示できます。

■お知らせ

- アドレスバー、ブックマーク／閲覧履歴アイコンは、画面上部にあります。画面を下にスライドしてスクロールすると表示できます。
- アドレスバーをタップした後や、アドレスバーに文字列を入力している途中で、アドレスバーの下に入力履歴や入力候補が表示されることがあります。タップすると、履歴またはブックマークのウェブページやキーワード検索したウェブページを表示します。

ブラウザ画面表示中の操作

ブラウザ画面では、次の操作ができます。

- 表示中のウェブページによっては、操作できない場合があります。

目的	操作
ページをスクロールする	画面を上／下／左／右にスライドします。
前の画面に戻る	をタップします。

目的	操作
ページを縮小表示／拡大表示する	画面をスライドすると、[縮小][拡大]が表示されます。[縮小]をタップすると縮小表示、[拡大]をタップすると拡大表示します。 • 画面をピンチイン／ピンチアウトしても縮小表示／拡大表示できます。
ページを全体表示する	画面をダブルタップします。 • 全体表示している状態でダブルタップすると、拡大表示します。

ブラウザ画面のメニュー

ブラウザ画面で[メニュー]をタップすると、次のメニューが表示されます。

項目		説明
新しいウィンドウ		新しいウィンドウでウェブページを開きます。最大8つまで開くことができます。
ブックマーク		ブックマーク一覧画面を表示します。
ウィンドウ		複数のウィンドウを開いている場合、ウィンドウを切り替えてウェブページを表示できます。 • ウィンドウを閉じるには、閉じるウィンドウの[×]をタップします。 • 新しいウィンドウを開くには「新しいウィンドウ」をタップします。
再読み込み／停止		ウェブページの情報を更新／更新停止します。
進む		[戻る]をタップしてウェブページを表示中の場合に、直前のウェブページに戻ります。
その他	ブックマークを追加	ウェブページをブックマークに追加します（P.8-12）。
	ページ内を検索	ウェブページ内のテキストを検索します。検索する文字列を入力すると、一致する文字列が緑色でハイライト表示されます。一致する文字列が複数ある場合は、[◀]／[▶]をタップすると、前／後の一致項目に進みます。
	テキストを選択してコピー	ウェブページ内のテキストをコピーします。コピーするテキストの開始位置から終了位置までをドラッグすると、テキストがハイライト表示されます。ディスプレイから指を離すとテキストがコピーされます。 • 1回の操作でコピーできる件数は1件です。
	ページ情報	ウェブページのURLなどを表示します。
	ページを共有	ウェブページのURLなどを、Bluetooth®やFacebook、Twitterやメールなどを使って共有します。
	ダウンロード履歴	ダウンロード済みやダウンロード中のデータの情報を確認します。
	設定	ブラウザの設定を行います（P.8-14）。
	ブラウザ情報	バージョン情報などの詳細を表示します。
	終了	ブラウザを終了します。

8

ウェブページのリンクを利用する

1 ブラウザ画面でリンクをロングタッチ

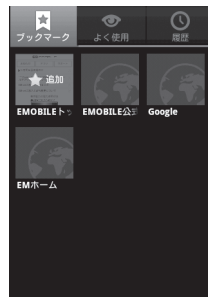
2 項目をタップ

- リンクによって、表示される項目は異なります。

項目	説明
開く	表示中のウィンドウでウェブページを開きます。
新しいウィンドウで開く	新しいウィンドウでウェブページを開きます。
リンクをブックマーク	ブックマークに追加します。
リンクを保存	ウェブページを保存します。 • 保存したウェブページは、ブラウザ画面で☰→「その他」→「ダウンロード履歴」をタップして確認できます。 • microSDカードを取り付けているときは、microSDカードに保存されます。
リンクを共有	ウェブページのURLなどを、Bluetooth®やFacebook、Twitterやメールなどを使って共有します。
URLをコピー	ウェブページのURLをコピーします。
画像を保存	画像を保存します。 • 保存した画像は「ギャラリー」（➡P.12-2）で確認できます。 • microSDカードを取り付けているときは、microSDカードに保存されます。
画像を表示	画像を表示します。
壁紙として設定	画像をホーム画面の壁紙に設定します。
メールを送信	メールを作成して送信できます。
コピー	メールアドレスをコピーします。

ブックマークと閲覧履歴を管理する

ブックマークに追加する

1 ブラウザ画面でブックマークに追加するウェブページを表示→☰→「ブックマーク」

ブックマーク一覧画面

2 ★追加 をタップ

3 「名前」を入力→「OK」

ブックマークが保存されます。

ブックマークからウェブページを開く

1 ブックマーク一覧画面で表示するウェブページをタップ

よく閲覧するウェブページから開く

1 ブックマーク一覧画面で「よく使用」タブをタップ

よく使用する履歴画面が表示されます。

2 表示するウェブページをタップ

- ★（グレー）／★（黄色）をタップすると、ブックマークに追加／ブックマークから削除できます。

閲覧履歴からウェブページを開く

1 ブックマーク一覧画面で「履歴」タブをタップ

閲覧履歴画面が表示されます。

2 表示するウェブページをタップ

- ★（グレー）／★（黄色）をタップすると、ブックマークに追加／ブックマークから削除できます。

ブックマーク一覧画面／よく使用する履歴画面／閲覧履歴画面のメニュー

ブックマーク一覧画面／閲覧履歴画面で ☰ をタップすると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
最後に表示したページをブックマークする※1	最後に表示したウェブページをブックマークに追加します。
リスト表示／サムネイル表示※1	一覧の表示方法をリスト表示／サムネイル表示に切り替えます。
履歴消去※2	閲覧履歴をすべて削除します。

※1：ブックマーク一覧画面で表示されます。

※2：閲覧履歴画面で表示されます。

8

ブックマーク一覧画面／よく使用する履歴画面／閲覧履歴画面でウェブページをロングタッチすると、次のメニューが表示されます。

- ウェブページによって、表示される項目は異なります。

項目	説明
開く※1、2、3	表示中のウィンドウでウェブページを開きます。
新しいウィンドウで開く※1、2、3	新しいウィンドウでウェブページを開きます。
編集※1	ブックマークの名前／URLを編集します。
ショートカットを作成※1	ブックマークへのショートカットをホーム画面に作成します。
ブックマークを追加※2	ブックマークに追加します。
リンクを共有※1、2、3	ウェブページのURLなどを、Bluetooth®やFacebook、Twitterやメールなどを使って共有します。
URLをコピー※1、2、3	ウェブページのURLをコピーします。
履歴から消去※2、3	ウェブページを閲覧履歴から消去します。
削除※1	ブックマークから削除します。
ホームページとして設定※1、2、3	ウェブページをホームページとして設定します。

※1：ブックマーク一覧画面で表示されます。
※2：よく使用する履歴画面で表示されます。
※3：閲覧履歴画面で表示されます。

ブラウザを設定する

1 ブラウザ画面で☰→「その他」→「設定」

2 項目を設定

項目	説明
テキストサイズ	文字のサイズを設定します。
ズーム設定	ウェブページの表示倍率を設定します。
ページを全体表示で開く	新しく開くウェブページを、全体表示するかどうかを設定します。
テキストエンコード	テキストエンコードを設定します。
ポップアップウィンドウをブロック	ポップアップウィンドウをブロックするかどうかを設定します。
画像の読み込み	ウェブページの画像を表示するかどうかを設定します。
ページの自動調整	画面に合わせて、ウェブページを調整するかどうかを設定します。
常に横向きに表示	ウェブページの表示方向を常に横向きに表示するかどうかを設定します。
JavaScriptを有効にする	JavaScriptを有効にするかどうかを設定します。
プラグインを有効にする	プラグインを有効にするかどうかを設定します。

項目	説明
バックグラウンドで開く	リンクをロングタッチして「新しいウィンドウで開く」（➡P.8-12）をタップしたとき、表示中のウィンドウの後ろに新しいウィンドウを開くかどうかを設定します。
ホームページ設定	ホームページを設定します。
キャッシュを消去	キャッシュデータを消去します。
履歴消去	ウェブページの閲覧履歴を消去します。
Cookieを受け入れる	Cookieの保存・読み取りを許可するかどうかを設定します。
Cookieをすべて消去	保存されているCookieをすべて消去します。
フォームデータを保存	フォームに入力したデータを保存して、後で呼び出せるようにするかどうかを設定します。
フォームデータを消去	保存されているフォームデータをすべて消去します。
位置情報を有効にする	ウェブサイトに、現在位置情報へのアクセスを許可するかどうかを設定します。
位置情報アクセスをクリア	位置情報サービスにアクセスした際に収集したデータを消去します。
パスワードを保存	ウェブページに入力したユーザー名・パスワードを記憶するかどうかを設定します。

項目	説明
パスワードを消去	記憶されているユーザー名・パスワードを消去します。
セキュリティ警告	ウェブページの安全性に問題がある場合に、警告を表示するかどうかを設定します。
検索エンジンの設定	アドレスバーで検索する際の検索エンジン（Google、Yahoo! JAPAN、Bing、goo）を選択します。
ウェブサイト設定	位置情報にアクセスしたウェブページなどの詳細設定を行います。
初期設定にリセット	ブラウザの設定を初期設定に戻します。

地図機能

9

位置情報を有効にする

Googleマップなどで位置情報を取得する場合は、あらかじめ本機で位置情報を有効にしておく必要があります。

1 ホーム画面で →「設定」

2 「位置情報とセキュリティ」

3 項目にチェックを付ける

項目	説明
無線ネットワークを使用	Wi-Fi／モバイルネットワークで位置情報を検出します。 • 位置情報についての同意画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。
GPS機能を使用	GPS機能（高精度測位）を使用します。
クイックGPS使用	GPSの精度を上げるためにサーバを利用するかどうかを設定します。

■ **お知らせ**

- 「GPS機能を使用」にチェックを付けると、電池の消費が早くなります。電池の消費を節約する場合は、チェックを外してください。
- GPS 機能は人工衛星からの電波を利用します。電波の受信状況が悪い場所では測位できなかったり、測位情報の精度が落ちたりする場合があります。
- 「クイックGPS使用」にチェックを付けると自動的にWi-Fi／モバイルネットワークに接続するため、ご契約の料金プランによっては通信料がかかる場合があります。
- Wi-Fi／モバイルネットワークに接続できない環境では、クイックGPS機能は利用できません。

Googleマップの利用

Googleマップを利用して、現在地の位置情報を確認したり、場所を検索したりできます。また、Googleマップを利用して、次のアプリケーションを使用できます。

- Google Latitude（P.9-6）
- Googleマップナビ（P.9-7）
- Googleプレイス（P.9-8）

■ **お知らせ**

- Googleマップを利用するには、3G／GPRSやWi-Fi接続などでの通信が必要です。
- 地域によっては、一部の機能が利用できない可能性があります。

Googleマップを表示する

1 **ホーム画面で「マップ」**

マップ画面が表示されます。画面にアイコンが表示され、次の操作ができます。

アイコン	説明
地図を検索	文字列を入力して地図上を検索します。
	Googleプレイスを利用します（P.9-8）。
	レイヤ機能を利用します（P.9-3）。
／　／	現在地／自分の向いている方角を上／北方向を上にした地図表示に切り替えます。
	地図を縮小表示します。
	地図を拡大表示します。

■お知らせ

- マップ画面で、タッチパネルを使って次の操作ができます。
  - スライド：地図をスクロールして他のエリアを表示
  - ロングタッチ：その場所の情報を表示
  - ピンチイン／ピンチアウト：地図を縮小表示／拡大表示
  - ダブルタップ：地図を拡大表示
  - 2本指で同時にタップ：地図を縮小表示
  - 縦方向に2本指で同時にドラッグ：地図を傾けて3D表示
  - 横方向に2本指で同時にドラッグ：地図を回転表示

マップ画面のメニュー

マップ画面で をタップすると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
検索	場所を検索します（P.9-4）。
経路	経路を調べます（P.9-5）。
スター付きの場所	「スター付きの場所」として登録している場所を一覧表示します。
地図をクリア	地図を初期表示に戻します。
Latitudeに参加／Latitude	Google Latitudeを利用します（P.9-6）。
その他	設定を変更／確認します（P.9-5）。

■お知らせ

- 場所やお店などの情報画面に表示される （グレー）をタップすると、「スター付きの場所」として登録できます。

レイヤ機能を利用する

地図表示に道路の渋滞情報などを追加したり、地図表示を航空写真表示に切り替えたりできます。

1 **マップ画面で**

2 項目をタップ

- 利用状況によって、表示される項目は異なります。

項目		説明
渋滞状況		リアルタイムの渋滞状況を確認できます。 • 渋滞状況が提供されていないエリアがあります。
航空写真		航空写真表示に切り替えます。
地形		地形表示に切り替えます。
バズ		地図上にバズ（ふきだし）を表示します。 • 地図上のバズをタップすると、情報を確認できます。 • 地図上のをタップすると、情報を投稿できます。
Latitude		Google Latitudeに参加します。
地図をクリア		地図を初期表示に戻します。
その他のレイヤ	**マイマップ**	マイマップ（自分で作成した地図）を表示します。
	ウィキペディア	地図上にWikipediaの情報を表示します。 • 地図上のをタップ→ふきだしをタップすると情報が表示されます。
	路線図	地図上に路線図を表示します。

■ **お知らせ**

- 航空写真表示は、リアルタイムの画像ではありません。

場所を検索する

1 マップ画面で→「検索」

2 検索する場所を入力→または検索候補をタップ

地図が表示されます。

- 地図上のふきだしをタップすると、場所の情報画面が表示されます。
- 情報画面のアイコンや項目をタップして、電話をかけたり、Bluetooth®やFacebook、Twitterやメールなどを使って場所の情報を共有したりできます。
- 情報画面の（グレー）／（黄色）をタップすると、「スター付きの場所」として登録／登録解除します。

9

経路を調べる

出発地と到着地を設定して、その経路を調べます。

1 マップ画面で☰→「経路」

Googleマップ経路設定画面

❶ 出発地／到着地を入力します。
❷ タップすると、交通手段を選択できます。
❸ タップすると、出発地／到着地を「現在地」「連絡先」「地図上の場所」「スター付きの場所」から設定できます。
❹ タップすると、経路の検索を実行します。

2 出発地と到着地を設定

- ☰→「出発地と到着地を入れ替える」をタップすると、出発地と到着地を入れ替えます。

3 交通手段（🚗／🚌／🚶）をタップ→「実行」

出発地から目的地までの経路が表示されます。
画面に表示されている項目やアイコンをタップしたり、☰→項目をタップしたりして操作ができます。

設定を変更／確認する

1 マップ画面で☰→「その他」

2 項目をタップ

項目	説明
Labs	新機能の試験運用バージョンを有効／無効に設定します。
ログイン	Googleアカウントにログインします。 • Googleアカウントにログインしていない場合に表示されます。
アカウントの切り替え	Googleアカウントを切り替えます。 • 本機に複数のGoogleアカウントを設定している場合に表示されます。
キャッシュ設定	キャッシュの設定を行います。
ヘルプ	モバイルヘルプに接続します。 • ブラウザが起動します。
法的事項	利用規約、プライバシーポリシーなどを表示します。
Googleマップについて	バージョン情報などを表示します。

Google Latitudeの利用

友人がいる場所を地図上で確認したり、Bluetooth®やFacebook、Twitterやメールなどを使って位置情報を共有できます。また、友人がいる場所への経路検索などもできます。

- Google Latitudeを利用するには、Googleアカウントの設定が必要です。Googleアカウントの設定画面が表示された場合は、「Googleアカウントを設定する」（➡P.5-2）を行ってください。
- 位置情報を共有するには、Latitude に参加して位置情報を共有する友人を招待するか、友人からの招待を受ける必要があります。
- Latitudeの詳細については、マップ画面で☰→「その他」→「ヘルプ」をタップして、モバイルヘルプの「Latitude」をご確認ください。

9

1 ホーム画面で▦→「Latitude」

Latitude画面が表示されます。

- マップ画面表示中は☰→「Latitudeに参加」／「Latitude」をタップします。

■お知らせ

- Latitude画面に「Wi-Fiが無効になっています」と表示されているときは、表示をタップ→「Wi-Fi設定」をタップして、Wi-Fi設定画面からWi-FiをONに設定できます。

Latitude画面のメニュー

Latitude画面で☰をタップすると、次のメニューが表示されます。

- 利用状況によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
友だちを更新	友人の情報を更新します。
チェックイン	場所を選択してチェックインします。
地図を表示	Googleマップを開いて、友人の位置情報を確認できます。
友だちを追加	電話帳、メールアドレスから友人を追加します。
現在地が古い友だちも表示／最新の現在地のみ表示	表示する位置情報の状態を設定します。

項目		説明
設定	現在地を検出	現在地が自動的に更新されます。
	現在地を設定	地図上の任意の場所を現在地として設定します。
	現在地を検出しない	現在地を共有しないように設定します。
	ロケーション履歴を有効にする	過去の位置情報を保存します。
	自動チェックインを有効にする	指定した場所にチェックインします。
	チェックイン通知を有効にする	チェックインをおすすめする場所の通知を有効にします。
	場所の管理	自動チェックインや非通知の設定を確認／変更します。
	Latitudeからログアウト	Latitudeからログアウトします。

Googleマップナビの利用

ナビゲーション機能を利用して、目的地までの経路を確認できます。

- あらかじめ本機で位置情報を有効にしておく必要があります（➡P.9-2）。
- 自動車の運転中は使用しないでください。

1 **ホーム画面で ⠿ →「ナビ」**

- 初回利用時は、メッセージが表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

Googleマップナビ画面

❶ 目的地を音声で入力します。
❷ 目的地を文字で入力します。
❸ 電話帳に登録されている住所から目的地を選択します。
❹「スター付きの場所」から目的地を選択します。

9

❺ 最近設定した目的地が表示されます。タップすると、目的地に設定します。
❻ 経路オプションを設定します。
❼ ナビゲーション画面を表示します。

■お知らせ

- Googleマップナビの詳細については、ナビゲーション画面で☰→「その他」→「ヘルプ」をタップして、モバイルヘルプをご確認ください。

Googleプレイスの利用

レストランやホテルなど現在地の周辺情報を調べることができます。

9

1 ホーム画面で▦→「プレイス」

カテゴリ一覧画面が表示されます。

- マップ画面表示中は、◆をタップします。

2 カテゴリをタップ

情報リスト画面が表示されます。

3 確認する情報をタップ

お店などの情報画面が表示されます。

- 情報画面のアイコンや項目をタップして、電話をかけたり、Bluetooth®やFacebook、Twitterやメールなどを使って場所の情報を共有したりできます。
- 情報画面の☆（グレー）／☆（黄色）をタップすると、「スター付きの場所」として登録／登録解除します。

■お知らせ

- カテゴリ一覧画面で、検索ボックスをタップして、キーワードで検索することもできます。
- 情報リスト画面で☰→「地図を表示」をタップすると、地図上に情報を表示します。▤をタップすると情報リスト画面に戻ります。
- 情報画面で左／右にスワイプすると、前／後の情報に表示を切り替えます。

検索するカテゴリを追加する

1 カテゴリ一覧画面で「追加」

2 カテゴリ名を入力→「追加」

■お知らせ

- カテゴリ名には、検索するキーワードを設定します（例：役所、薬局、スーパーマーケット、公園など）。
- カテゴリを削除する場合は、カテゴリ一覧画面でカテゴリをロングタッチ→「削除」をタップします。

Bluetooth®

10

Bluetooth®機能の利用

Bluetooth®対応機器と無線接続して、データの送受信ができます。

- Bluetooth®機能を利用する前に、「Bluetoothおよび無線LAN使用に関するご注意」（➡P.22）をよくお読みください。
- 接続する機器の操作については、機器の取扱説明書などをご参照ください。
- 本機と相手側の機器との通信できる距離は、約100m以内です。ただし、壁などの障害物や電波状況などにより変化する可能性があります。
- 市販されているすべてのBluetooth®対応機器との接続・動作を保証するものではありません。

主な仕様と機能

項目	説明
対応バージョン	Bluetooth®標準規格Ver.2.1+EDR準拠
出力	Bluetooth®標準規格Power Class1
通信距離※	約100m以内
使用周波数帯	2400MHz～2483.5MHz
対応プロファイル	HFP：Hands-Free Profile HSP：Headset Profile GAVDP：Generic AV Distribution Profile GOEP：Generic Object Exchange Profile PBAP：Phone Book Access Profile SDAP：Service Discovery Application Profile OPP：Object Push Profile A2DP：Advanced Audio Distribution Profile AVRCP：Audio/Video Remote Control Profile

※：壁などの障害物や電波状況などにより変化する可能性があります。

■お知らせ

- 本機のBluetooth®機能はDUN／PANプロファイルに非対応です。DUN接続やPAN接続によるテザリング機能は利用できません。

Bluetooth®機能をONにする

1 ホーム画面で ![] →「設定」→「無線とネットワーク」

2 「Bluetooth」にチェックを付ける

ステータスバーに が表示されます。

本機を検出可能にする

1 ホーム画面で ![] →「設定」→「無線とネットワーク」

2 「Bluetooth設定」

Bluetooth設定画面が表示されます。

3 「検出可能」にチェックを付ける

「検出可能」の下に「120秒間検出可能」と表示され、秒数のカウントダウンが開始されます。120秒を経過すると、検出されなくなります。

端末の名前を変更する

他のBluetooth®対応機器で、本機を検出したときに表示される名前を変更します。

1 Bluetooth設定画面で「端末名」

2 端末名を入力→「OK」

ペアリング／接続

本機と他のBluetooth®対応機器でデータのやり取りが行えるように、他の機器とペアリング／接続を行います。

他のBluetooth®対応機器とペアリング／接続する

1 Bluetooth設定画面で「デバイスのスキャン」

「Bluetooth端末」欄に、検出されたBluetooth®対応機器が一覧表示されます。

2 ペアリング／接続を行う機器をタップ

3 画面の指示に従ってペアリング／接続

「Bluetooth端末」欄のBluetooth®機器名称の下に、ペアリングと接続の状態が表示されます。

- 必要に応じてBluetooth®パスキー（認証用コード）を入力します。データのやり取りを行う機器どうしが、同じBluetooth®パスキーを入力する必要があります。Bluetooth®パスキーは、機器の取扱説明書などをご確認ください。

ペアリング／接続を解除する

1 **Bluetooth設定画面の「Bluetooth端末」欄に表示されているペアリング／接続を解除する機器をロングタッチ**

2 **解除操作を行う**

■ Bluetooth®対応機器とペアリングのみしている場合

①「ペアを解除」

■ Bluetooth®対応機器とペアリング／接続をしている場合

①「接続を解除」／「切断してペアを解除」

- 「接続を解除」は、接続のみ解除してペアリングは保持します。「切断してペアを解除」は、接続とペアリングの両方を解除します。

■ お知らせ

- 相手側の機器によっては、操作2でペアリング／接続の設定以外の項目が表示される場合があります。項目を選択して設定操作を行ってください。

データの送受信

- あらかじめ本機のBluetooth®機能をONにし、データを送信する相手側の機器とペアリングしておいてください。
- microSDカードを本機に取り付けている場合、本機で受信したデータはすべてmicroSDカードに保存されます。microSDカードの取り付けかたは、「microSDカードの取り付けかた／取り外しかた」（➡P.1-8）をご参照ください。

データを受信する

1 **相手側の機器からデータを送信**

2 **ステータスバーにが表示されたら通知パネルを開く**

3 **受信するファイルをタップ→「承諾」**

データの受信が開始されます。

受信が完了するとステータスバーにが表示されます。

■ 連絡先を受信した場合

① ホーム画面で→「電話帳」→→「インポート／エクスポート」→「SDカードからインポート」

- 連絡先がインポートされ、本機の電話帳に追加されます。

■お知らせ

- 受信した静止画／動画は、ホーム画面で ⠿ →「ギャラリー」→「bluetooth」フォルダをタップすると確認できます。

データを送信する

電話帳、静止画、動画などのデータを、他のBluetooth®対応機器に送信できます。

1 各アプリケーションのメニューから「Bluetooth」

2 データを送信する相手側の機器をタップ

データの送信が開始されます。

10

カメラ

11

カメラについて

本機に内蔵されているカメラを使って、静止画や動画を撮影できます。本機の前面にあるインカメラと、背面にあるアウトカメラの2種類があります。

- 本機にmicroSDカードを取り付けている場合、撮影した静止画／動画はすべてmicroSDカードに保存されます。microSDカードの取り付けかたは、「microSDカードの取り付けかた／取り外しかた」（➡P.1-8）をご参照ください。
- カメラのレンズ部に指紋や油脂などが付いていると、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布できれいに拭いてください。
- 撮影時に本機を動かすと、画像が乱れます。本機を動かさないようにしてください。
- 本機を日の当たる所や高温の所に放置すると、画質が劣化することがあります。
- インカメラ／アウトカメラの仕様の詳細については、「主な仕様」の「■インカメラ」および「■アウトカメラ」（➡P.17-14）をご参照ください。

カメラを起動する

1 **ホーム画面で⠿→「カメラ」**

撮影画面が表示されます。

カメラを終了する

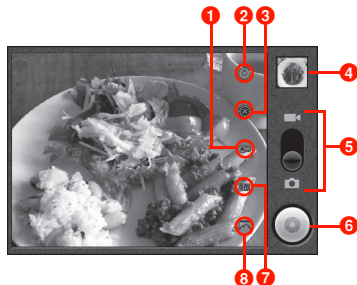
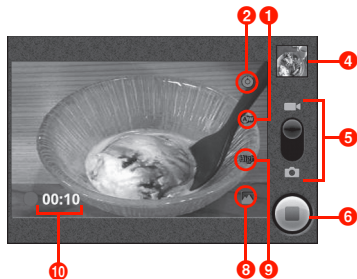
1 **撮影画面で▭／⮌**

使用するカメラを切り替える

インカメラ／アウトカメラを切り替えます。

1 **撮影画面で☰→「カメラを切り替え」**

撮影画面の見かた

撮影画面に表示されているアイコンをタップして次の設定や操作が行えます（画面はアウトカメラを使用し、本機を横向きにした場合です）。

静止画撮影画面

動画撮影画面

❶ **ホワイトバランス**
ホワイトバランスを設定します。

❷ **カメラ設定**
「フォーカスモード」「露出」「シーンモード」「表示サイズ」「写真の画質」「色効果」を設定します。設定を初期設定に戻す場合は、「初期設定に戻す」をタップします。

❸ **位置情報の記録**
撮影した静止画に位置情報を記録するかどうかを設定します。

❹ **サムネイル**
ギャラリーを開き、撮影した静止画／動画を確認できます。
をタップすると撮影画面に戻ります。

❺ **撮影モード**
スライダーを上／下にドラッグして撮影モード（動画撮影／静止画撮影）を切り替えます。

❻ **シャッター**
静止画撮影の場合は撮影、動画撮影の場合は撮影を開始／停止します。

❼ **ズーム**
スライダーをドラッグしてズーム倍率を設定します。
- デジタルズームのため、拡大すると画像が不鮮明になる場合があります。

❽ **カメラを選択**
背面（アウトカメラ）／前面（インカメラ）を切り替えます。

❾ **動画の画質**
画質を設定します。

❿ **動画の撮影時間**
撮影時間を表示します。

11

■ お知らせ

- 撮影画面に表示されているアイコンは本機の向きに合わせて回転します。
- 静止画撮影画面では、画面をダブルタップするたびに、ズームイン／ズームアウトします。
- 撮影モードによって、設定できる項目は異なります。
- インカメラを使用した場合は、「表示サイズ」「写真の画質」「初期設定に戻す」「位置情報の記録」「ズーム」「動画の画質」「カメラを選択」のみ設定できます。

静止画を撮影する

1 **静止画撮影画面で被写体を画面に表示**

2 **シャッターをタップ**

シャッター音が鳴り、静止画がギャラリーに保存されます。

- アウトカメラの場合は、シャッターをロングタッチするとオートフォーカスが起動します。ピントが合うと音が鳴り、フォーカス枠が緑色で表示されます。

■ お知らせ

- オートフォーカスでピントを合わせた後で、撮影を中止する場合は、シャッターをロングタッチした状態で画面に指を触れたまま、シャッター以外の場所に指を移動し、画面から指を離してください。

11

動画を撮影する

1 **動画撮影画面で被写体を画面に表示**

2 **シャッターをタップ**

撮影開始音が鳴り、動画の撮影が開始されます。

3 **撮影が終わったら、シャッターをタップ**

撮影終了音が鳴り、動画がギャラリーに保存されます。

■ お知らせ

- 動画の撮影可能時間は、microSDカードや本機内のメモリの空き容量によって異なります。

撮影画面のメニュー

撮影画面で☰をタップすると、次のメニューが表示されます。

- 撮影モードによって、表示される項目は異なります。

項目	説明
ムービーに切替／写真に切替	動画撮影モード／静止画撮影モードに切り替えます。
ギャラリー	ギャラリーを開き、撮影した静止画／動画を確認できます。
カメラを切り替え	使用するカメラをインカメラ／アウトカメラに切り替えます。

12 ギャラリー

ギャラリーについて

ギャラリーでは、本機で撮影した静止画／動画、ダウンロードしたデータなどを再生できます。また、静止画の編集や、静止画／動画の共有ができます。

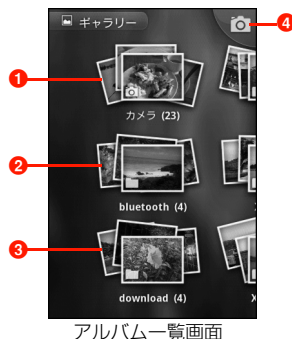
- ギャラリーでは、microSDカードや本機内に保存しているデータを再生します。
  microSDカードの取り付けかたは、「microSDカードの取り付けかた／取り外しかた」（➡P.1-8）をご参照ください。
- 本機で対応しているファイル（拡張子）は次のとおりです。ただし、ファイルによっては利用できない場合があります。

種類	ファイル（拡張子）
静止画	jpg、png、bmp、wbmp、gif※
動画	3gp、mp4

※：GIFアニメーションには未対応です。

ギャラリーを開く

1 **ホーム画面で ⠿ →「ギャラリー」**

アルバム一覧画面が表示されます。

アルバム一覧画面

1 「カメラ」フォルダには、本機で撮影した静止画／動画が保存されています。
2 「bluetooth」フォルダには、Bluetooth®で受信したデータが保存されています。
3 「download」フォルダには、本機でダウンロードしたデータが保存されています。
4 カメラを起動します。

■お知らせ

- 保存されているデータの種類によって、アルバム一覧画面で表示されるフォルダやフォルダ名は異なります。

アルバム一覧画面のメニュー

アルバム一覧画面で☰→☰をタップするか、フォルダをロングタッチすると、次のメニューが表示されます。

- データの種類によって、表示される項目は異なります。

項目		説明
すべて選択		すべてのフォルダにチェックを付けます。
選択をすべて解除		すべてのフォルダのチェックを外します。
共有		チェックを付けたフォルダ内のデータをFacebook、Bluetooth®やメール、Twitterなどを使って共有します。
削除		チェックを付けたフォルダを削除します。
その他	**詳細情報**	チェックを付けたフォルダの詳細情報を表示します。

■お知らせ

- 1つずつフォルダにチェックを付ける／外す場合は、フォルダをタップしてください。
- フォルダ内に複数のファイルが保存されている場合、「共有」メニューに一部のアプリケーションが表示されないことがあります。

静止画／動画を再生する

1 **アルバム一覧画面で再生するフォルダをタップ**

サムネイル画面

❶ 現在のフォルダの階層を表示します。上の階層をタップすると、その階層を表示できます。
❷ スライダーを左／右にドラッグして、サムネイルの表示方法を切り替えます。
❸ 静止画／動画がサムネイルで表示されます。サムネイルをタップすると再生できます。左／右にスライドすると、画面をスクロールできます。
❹ 左／右にドラッグすると、データの保存年月日を表示しながら、画面をスクロールできます。

2 静止画／動画をタップ

画面にアイコンや項目が表示され、次の操作ができます。

■ 静止画再生の場合

アイコン／項目	説明
（縮小）／（拡大）	静止画を縮小表示／拡大表示します。
スライドショー	フォルダ内の画像をスライドショーで表示します。画面をタップすると、スライドショーが停止します。
メニュー	静止画の共有、削除、編集などができます。

■ 動画再生の場合

アイコン	説明
II／▶	一時停止／再生します。
◀◀	巻き戻しします。
▶▶	早送りします。
（スライダー）	スライダーを左／右にドラッグして巻き戻し／早送りします。

■ お知らせ

- 画面のアイコンが非表示になった場合は、画面をタップすると再表示できます。
- 静止画再生の場合は、タッチパネルを使って次の操作ができます。
  - 左／右にスワイプ：前／後の静止画／動画を表示
  - ダブルタップ：拡大表示／縮小表示
  - ピンチイン／ピンチアウト：縮小表示／拡大表示

サムネイル画面のメニュー

サムネイル画面で☰→☰をタップするか、サムネイルをロングタッチすると、次のメニューが表示されます。

- データの種類によって、表示される項目は異なります。

項目		説明
すべて選択		すべてのサムネイルにチェックを付けます。
選択をすべて解除		すべてのサムネイルのチェックを外します。
共有		チェックを付けたサムネイルのデータをFacebook、Bluetooth®やメール、Twitterなどを使って共有します。
削除		チェックを付けたサムネイルのデータを削除します。
その他	詳細情報	チェックを付けたサムネイルの詳細情報を表示します。
	地図に表示	位置情報が記録された静止画の場合に、Googleマップで位置を表示します（➡P.9-2）。
	設定	静止画を壁紙や電話帳のアイコン（画像）に設定します。
	トリミング	静止画をトリミングします（➡P.12-5）。
	左に回転	静止画を左に90度回転します。
	右に回転	静止画を右に90度回転します。

■ お知らせ

- 1つずつサムネイルにチェックを付ける／外す場合は、サムネイルをタップしてください。

静止画を編集する

静止画を回転、トリミングして保存できます。

静止画を回転する

1 サムネイル画面で静止画をタップ

2 「メニュー」→「その他」

■ 左に90度回転する場合

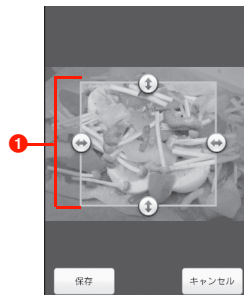
①「左に回転」

■ 右に90度回転する場合

①「右に回転」

静止画をトリミングする

1 サムネイル画面で静止画をタップ

2 「メニュー」→「その他」→「トリミング」

トリミング調整画面

❶ 枠をドラッグすると拡大／縮小できます。
枠の内側をドラッグするとトリミング位置を移動できます。

3 トリミングサイズ／位置を調整

4 「保存」

12

音楽

13

音楽について

「Huaweiミュージック」を利用して、microSDカードに保存している音楽を再生できます。

- あらかじめパソコンからmicroSDカードに、再生するファイルをコピーしてください。
- ファイルを再生する前に、microSD カードを本機に取り付けてください（➡P.1-8）。
- 本機で対応している音楽ファイルの形式は次のとおりです。ただし、ファイルによっては利用できない場合があります。
  MP3、AAC、AAC+、Enhanced AAC+、AMR-NB、WAV、OGG Vorbis、MIDI
  なお上記のうち、圧縮形式のファイルで利用できる最大ビットレートは以下のとおりです。
  MP3：320kbps、AMR-NB：すべて、
  AAC、AAC+、Enhanced AAC+、OGG Vorbis：128kbps

本機のmicroSDカードにファイルをコピーする

本機のmicroSDカードに、パソコンからファイルをコピーします。

13

1 **microSDカードをUSBストレージとして設定**

- 「microSDカードをUSBストレージとして使用する」（➡P.1-26）をご参照ください。

2 **パソコンでUSBストレージを開く**

3 **USBストレージにファイルをコピー**

- Huaweiミュージックの「フォルダ」タブで分類表示したい場合は、表示させるフォルダ名でフォルダを作成して、そのフォルダ内にファイルをコピーしてください。

4 **コピーが終わったら、本機をパソコンから安全に取り外す**

- パソコン側で本機の安全な取り外しを行ってから、本機の画面に表示されている「USBストレージをOFFにする」をタップし、USBストレージの設定を解除してください。

音楽を再生する

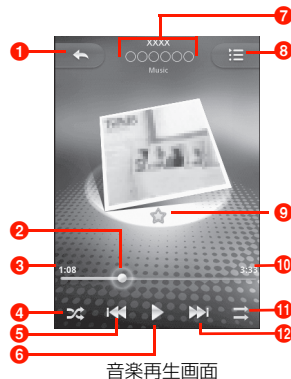
1 **ホーム画面で ⊞ →「Huaweiミュージック」**

ライブラリ画面が表示されます。

- 「アルバム」／「曲」／「プレイリスト」／「フォルダ」のカテゴリで音楽が整理されています。「その他」をタップすると、他のカテゴリを表示できます。
- 本機を横向きにすると、アルバムのジャケット画像がカバーフロー表示されます。

2 **再生する音楽をタップ**

音楽再生画面が表示されます。

音楽再生画面の見かた

音楽再生画面

❶ ライブラリ画面に戻ります。
❷ 左／右にドラッグすると、巻き戻し／早送りします。
❸ 再生中の音楽の経過時間を表示します。
❹ シャッフル再生のON／OFFを切り替えます。
❺ 音楽の先頭にジャンプします。ロングタッチすると巻き戻しします。音楽の先頭でタップすると、前の音楽を再生します。
❻ 再生／一時停止します。
❼ 音楽の情報が表示されます。
❽ 現在のプレイリストを表示します。
❾ 再生中の音楽をお気に入りに登録します。
❿ 再生中の音楽の総再生時間を表示します。

⑪ リピートモードを切り替えます。
⑫ 次の音楽を再生します。ロングタッチすると早送りします。

■お知らせ

- 音楽再生中に別の画面を表示しても、音楽の再生は続きます。停止するには、音楽再生画面で⏸をタップしてください。
- 音楽再生中はステータスバーに♫が表示されます。別の画面から音楽再生画面を表示する場合は、通知パネルを開いて再生中の項目をタップしてください。

ライブラリ画面のメニュー

ライブラリ画面で☰をタップすると、次のメニューが表示されます。
- カテゴリ（画面下部のアイコン）によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
複数選択	ライブラリ内にある音楽を複数選択します。
検索	ライブラリ内にある音楽を検索します。

音楽再生画面のメニュー

音楽再生画面で☰をタップすると、設定メニューが表示されます。

項目		説明
着信音として設定		着信音に設定します。
設定	**スキン**	画面のスキンを切り替えられます。 • お買い上げ時はデフォルトのスキンのみ搭載されています。

プレイリストを利用する

プレイリストに音楽を追加する

1 ライブラリ画面でプレイリストに追加するアルバム／曲／フォルダなどをロングタッチ

2 「プレイリストに追加」

■ 新しくプレイリストを作成して追加する場合
①「新規プレイリスト」
② プレイリスト名を入力→「保存」

■ すでに保存されているプレイリストに追加する場合
① 追加するプレイリストをタップ

プレイリストを管理する

1 ライブラリ画面で「プレイリスト」タブをタップ

2 目的の操作を行う

■ プレイリストを再生する場合
① 再生するプレイリストをロングタッチ→「再生」

■ プレイリストを削除する場合

① 削除するプレイリストをロングタッチ→「削除」→「OK」

■ プレイリスト名を変更する場合

① 変更するプレイリストをロングタッチ→「名前の変更」
② プレイリスト名を変更→「保存」

■ プレイリストから音楽を削除する場合

① 削除する音楽があるプレイリストを選択→削除する音楽をロングタッチ→「削除」

■ 最近追加したアイテムを編集する場合

①「最近追加された曲」をロングタッチ→「編集」
② 保存期間を設定→「完了」

■お知らせ

- プレイリスト内を表示中に「曲の追加」→追加する音楽にチェックを付ける→ をタップすると、現在のプレイリストに音楽を追加できます。
- 「最近追加された曲」/「再生回数が多い曲」/「お気に入り」をロングタッチ→「プレイリストに追加」をタップすると、各カテゴリ内の曲をすべてプレイリストとして保存できます。

音楽を着信音に設定する

1 ライブラリ画面で着信音に設定する音楽をロングタッチ

2 「着信音として設定」

音楽が着信音に設定されます。

音楽を削除する

microSDカード内から音楽を削除します。

1 曲ごとのライブラリ画面で削除する音楽をロングタッチ

2 「削除」→「OK」

■お知らせ

- プレイリスト内の音楽をロングタッチ→「削除」をタップしても、microSDカード内から音楽は削除されません。

13

音楽を共有／確認する

音楽をBluetooth®やメールなどで送信して他人と共有したり、詳細情報を確認したりできます。

1 曲ごとのライブラリ画面で共有／確認する音楽をロングタッチ

■ 共有する場合

①「共有」

② 共有方法をタップし、操作を行う

■ 情報を確認する場合

①「情報」

13

その他のアプリケーション

14

YouTube

YouTubeは、オンライン動画ストリーミングサービスです。動画を再生したり投稿したりできます。

動画を再生する

1 ホーム画面で[アプリ]→「YouTube」

YouTubeのホーム画面が表示されます。
- 初回利用時は、利用規約が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

2 再生する動画をタップ

動画再生画面が表示されます。
- 動画再生画面をタップすると停止／再生します。

■お知らせ

- 本機を横向きにすると、動画が全画面で横向きに表示されます。
- 本機で利用できる機能はパソコン版の YouTube と異なる場合があります。

14

YouTubeのホーム画面／動画再生画面のメニュー

YouTubeのホーム画面／動画再生画面で[メニュー]をタップすると、次のメニューが表示されます。

項目		説明
ホーム		YouTubeのホーム画面を表示します。
ブラウズ		再生する動画のカテゴリを選択します。
検索		動画を検索します。
マイチャンネル		YouTubeのマイチャンネルを表示します。 • GoogleアカウントまたはYouTubeアカウントでYouTubeにログインする必要があります。
アップロード		動画を投稿します（➡P.14-3）。
設定	携帯端末で高画質動画を表示	常に高画質の動画を表示するかどうかを設定します。
	キャプションのフォントサイズ	字幕の文字サイズを設定します。
	検索履歴を消去	検索ボックスでの検索履歴を消去します。
	セーフサーチフィルタ	制限付きコンテンツを含む動画が検索結果に表示されないように設定します。
	ヘルプ	YouTubeのオンラインヘルプに接続します。
	ご意見ご感想	YouTubeの利用について、意見や感想を記入します（任意）。
	Googleモバイル利用規約	Googleモバイル利用規約を表示します。
	YouTube利用規約	YouTube利用規約を表示します。
	モバイルプライバシーポリシー	Googleモバイルプライバシーポリシーを表示します。
	YouTubeプライバシーポリシー	YouTubeのプライバシーポリシーを表示します。

項目		説明
設定	アプリケーションのバージョン	アプリケーションのバージョンを表示します。

動画を投稿する

本機からYouTubeに動画を投稿します。

- YouTubeに動画を投稿するには、GoogleアカウントまたはYouTubeアカウントでYouTubeにログインする必要があります。

1 **YouTubeのホーム画面／動画再生画面で☰→「アップロード」**

ギャラリーが開き、動画の一覧画面が表示されます。

2 **投稿する動画をタップ**

- ログイン画面が表示されたときは、画面の指示に従ってログインしてください。

3 **必要な項目を入力／設定→「アップロード」**

アップロードを開始します。

- 通知パネルを開いて、アップロードの状況を確認できます。

Documents To Go

Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft PowerPointなどのドキュメントを表示したり、Adobe PDFを表示したりできます。

- お買い上げ時は、利用できる機能に制限があります。すべての機能を利用するには、Documents To Go完全版を購入する必要があります。

1 **ホーム画面で▦→「Documents To Go」**

Documents To Go画面が表示されます。

- 初回利用時は、使用許諾契約書などの画面が表示されます。内容をご確認のうえ、操作してください。

2 **アイコン／項目をタップ**

アイコン／項目	説明
最近使ったファイル	最近表示したファイルを表示します。
スター付きのファイル	スター付きのファイルを表示します。
ローカルファイル	microSDカード内のフォルダを表示します。フォルダを選択し、ファイルをタップして表示します。
Google ドキュメント	Documents To Go完全版を購入するウェブページに接続します。 • Documents To Go完全版で使用できます。

14

アイコン／項目	説明
デスクトップファイル	Documents To Go完全版を購入するウェブページに接続します。 • Documents To Go完全版で使用できます。
アップグレードストア	Documents To Go完全版などについて表示されます。「購入」をタップすると、Documents To Go完全版を購入するウェブページに接続します。
＋	Documents To Go完全版を購入するウェブページに接続します。 • Documents To Go完全版で使用できます。
⚙	アプリケーションのバージョン情報の確認などが行えます。

■お知らせ

- ドキュメントの種類やバージョンによっては、正しく表示されないことがあります。
- ドキュメントによっては、パソコンなどで表示した内容と表示が異なる場合があります。

ファイルマネージャー

microSDカードや本機のメモリ内のファイルやフォルダを管理します。

ファイルを確認する

1 ホーム画面で ⠿ →「ファイルマネージャー」

ファイルマネージャー画面が表示されます。

2 画面上部のタブをタップする

タブを左／右にスワイプすると、隠れているタブを表示できます。

3 ファイルがフォルダ内にある場合はフォルダをタップ

4 ファイルをタップ

- ファイルを再生するアプリケーションが起動し、ファイルを確認できます。ファイルによっては、本機で再生できない場合があります。

■お知らせ

- 「電話」／「SD カード」タブ画面でファイルやフォルダをロングタッチ→「詳細」をタップすると、ファイルやフォルダの詳細情報を確認できます。
- 「電話」／「SDカード」タブ画面で☰→「検索」→文字列を入力→🔍をタップすると、microSDカード／本機内のファイルを検索できます。
- 「電話」／「SDカード」タブ画面で☰→「その他」→「メモリの使用状況」をタップすると、microSDカード／本機内のメモリの空き容量などを確認できます。

ファイルを管理する

ファイルやフォルダを移動／コピーする

1 「電話」／「SDカード」タブ画面で☰→「切り取り」／「コピー」

2 移動／コピーするファイルやフォルダにチェックを付ける

- ☰→「全て選択」／「全ての選択を解除」をタップすると、すべてのファイルやフォルダのチェックを付ける／外すことができます。

3 ☰→「完了」

ファイルやフォルダが切り取り／コピーされます。

4 貼り付け先で☰→「貼り付け」

■お知らせ

- 「電話」／「SD カード」タブ画面でファイルやフォルダをロングタッチ→「切り取り」／「コピー」をタップしても切り取り／コピーできます。

ファイルやフォルダの名前を変更する

1 「電話」／「SDカード」タブ画面でファイルやフォルダをロングタッチ

2 「名前の変更」→名前を入力→「OK」

新規フォルダを作成する

1 「電話」／「SDカード」タブ画面で☰→「その他」→「新規フォルダ」

2 名前を入力→「保存」

ファイルやフォルダを削除する

1 「電話」／「SDカード」タブ画面で☰→「削除」

14

2 削除するファイルやフォルダにチェックを付ける

- ☰→「全て選択」／「全ての選択を解除」をタップすると、すべてのファイルやフォルダのチェックを付ける／外すことができます。

3 ☰→「完了」→「OK」

■お知らせ

- 「電話」／「SD カード」タブ画面でファイルやフォルダをロングタッチ→「削除」→「OK」をタップしても削除できます。
- 「電話」／「SDカード」タブ画面でファイルをロングタッチ→「共有」をタップするとBluetooth®やメールなどを使って共有できます。

ファイルやフォルダを圧縮する

1 「電話」／「SDカード」タブ画面で☰→「圧縮」

2 圧縮するファイルやフォルダにチェックを付ける

- ☰→「全て選択」／「全ての選択を解除」をタップすると、すべてのファイルやフォルダのチェックを付ける／外すことができます。

3 ☰→「完了」

圧縮するファイルやフォルダの保存先と、圧縮ファイルの名前が表示されます。

4 「OK」

■お知らせ

- 「電話」／「SD カード」タブ画面でファイルやフォルダをロングタッチ→「圧縮」をタップしても圧縮できます。
- 「電話」／「SD カード」タブ画面で圧縮ファイルをロングタッチ→「解凍」をタップすると、圧縮ファイルを解凍できます。

ファイルやフォルダをブックマークに追加する

1 「電話」／「SDカード」タブ画面でブックマークに追加するファイルやフォルダをロングタッチ

2 「ブックマークを追加」

ファイルやフォルダが「ブックマーク」タブ画面に表示されます。

■お知らせ

- 「ブックマーク」タブ画面でファイルをタップすると再生されます。
- 「ブックマーク」タブ画面でファイルやフォルダをロングタッチ→「OK」をタップすると、ブックマークを削除できます。

アプリケーションをコピー／共有／削除する

1 「アプリ」タブをタップ

2 アプリケーションをタップ

3 「コピー」／「共有」／「アンインストール」

■お知らせ

- お買い上げ時にインストールされているアプリケーションは、「アプリ」タブ画面には表示されません。

最近利用したファイルを確認する

1 「最近」タブをタップ

最近利用したファイルが一覧表示されます。ファイルをタップすると再生できます。

Notepad

テキストを入力してノート（メモ帳）として保存できます。

ノートを作成する

1 ホーム画面で →「Notepad」

Notepad画面が表示されます。

2 →「ノートの追加」→テキストを入力

- テキストを入力中に →「破棄」をタップするとノートの作成を中止します。

3 →「保存」

ノートの内容がタイトルとして保存されます。

14

ノートを編集／削除する

1 Notepad画面で編集／削除するノートをロングタッチ

2 項目をタップ

項目	説明
ノートの削除	ノートを削除します。
タイトルの編集	ノートのタイトルを編集します。
ノートの編集	ノートを編集します。

■お知らせ

- Notepad画面で☰→「ノートの削除」→削除するノートにチェックを付ける→「OK」→「OK」をタップしても、ノートを削除できます。

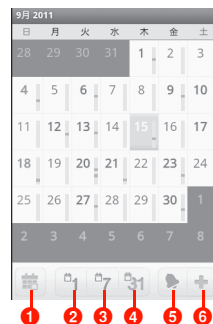
カレンダー

カレンダーを利用してスケジュール管理ができます。また、本機のカレンダーをウェブ上のGoogleカレンダーなどと同期させることができます（➡P.5-3）。

カレンダーを利用する

- ここでは、「カレンダー」アプリケーションからカレンダーを利用するときの操作を説明します。

カレンダーを表示する

1 ホーム画面で⠿→「カレンダー」

カレンダー画面（月表示）

❶ 今日を含む表示に切り替えます。
❷ カレンダーを日表示に切り替えます。
❸ カレンダーを週表示に切り替えます。
❹ カレンダーを月表示に切り替えます。
❺ 予定リストを表示します。
❻ 予定を作成します（➡P.14-9）。

カレンダー画面のメニュー

カレンダー画面で☰をタップすると、次のメニューが表示されます。
• 利用状況によって、表示される項目は異なります。

項目		説明
予定リスト		予定リストを表示します。
日		カレンダーを日表示に切り替えます。
週		カレンダーを週表示に切り替えます。
月		カレンダーを月表示に切り替えます。
予定を作成		予定を作成します（➡P.14-9）。
今日		今日を含む表示に切り替えます。
その他	**イベントのエクスポート**	予定のデータをカレンダーからエクスポートします。
	イベントのインポート	予定のデータをカレンダーにインポートします。
	アカウント	本機に設定されているアカウントとの同期を設定します。
	カレンダー	予定の同期／表示を設定します（➡P.14-10）。
	設定	カレンダーの設定を変更します（➡P.14-11）。

カレンダーの予定を作成する

1 **カレンダー画面で＋**

予定作成画面が表示されます。
• アカウントが複数ある場合は、アカウントの選択画面が表示されます。予定を作成するアカウントをタップします。

2 **必要な項目を設定**

• アカウントによって、表示される項目は異なります。

項目	説明
タイトル	予定のタイトルを入力します。
開始	予定の開始日時を設定します。
終了	予定の終了日時を設定します。
タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。
終日	終日の予定にするかどうかを設定します。
場所	予定の場所を入力します。
内容	予定の内容を入力します。
ゲスト	ゲストを予定に招待します。入力したメールアドレスに招待メールを送ります。
頻度	予定を定期的に繰り返すかどうかを設定します。
通知	予定の通知を設定します。通知時間になると、「通知方法」（➡P.14-11）で設定した内容でお知らせします。

3 **「完了」**

14

■ お知らせ

- 予定作成画面で ☰ →「通知を追加」をタップすると、予定の通知を追加できます。
- 予定作成画面で☰→「詳細項目を表示」をタップすると、「ステータス表示」「公開設定」の項目が追加され、設定できます。設定しない場合は☰→「詳細項目を表示しない」をタップしてください。
- カレンダー画面によっては、設定する日や時間帯をタップ、またはロングタッチして、予定を作成できます。

予定の通知を確認／スヌーズ／消去する

予定の通知を設定した場合、その通知時間になると、ステータスバーに[1]が表示されます。

1 通知パネルを開く

2 確認／スヌーズ／消去する通知をタップ

3 通知を確認／スヌーズ／消去

■ 通知を確認する場合

① 確認する通知をタップ

■ 通知をスヌーズする場合

①「すべてスヌーズ」

すべての通知がスヌーズされ、5分後に再度通知します。

■ 通知を消去する場合

①「通知を消去」

■ お知らせ

- 「通知方法」（➡P.14-11）を「アラート」に設定している場合は、画面にアラートが表示され、通知を確認／スヌーズ／消去できます。

予定の同期／表示を設定する

本機のカレンダーの予定とウェブ上のGoogleカレンダーなどの予定を同期／表示します。

1 カレンダー画面で☰→「その他」→「カレンダー」

2 予定の同期／表示を設定

- アイコンをタップするたびに、次のように設定が切り替わります。

アイコン	説明
[同期・表示]	予定を同期、表示するように設定します。
[同期]	予定を同期するように設定します（予定の表示はしません）。
[表示]	予定を表示するように設定します（予定の同期はしません）。
[なし]	予定を同期、表示しないように設定します。

3 「OK」

14

カレンダーの設定を変更する

1 カレンダー画面で☰→「その他」→「設定」

2 項目を設定

項目	説明
辞退した予定を非表示	招待を辞退した予定をカレンダーに表示するかどうかを設定します。
自宅のタイムゾーン	タイムゾーンの異なる地域へ移動している間も、設定したタイムゾーンのままで表示します。
週の開始日	週の開始日として表示する曜日を設定します。
通知方法	予定の通知方法を設定します。
着信音を選択	予定通知時の通知音を設定します。
バイブレーション	予定通知時のバイブレーション動作を設定します。 • バイブレーションを「使用しない」以外に設定する場合は、「バイブ」（➡P.1-24）も合わせて設定する必要があります。
デフォルトの通知時間	予定の通知時間の初期値を設定します。
ビルドバージョン	アプリケーションのバージョンを表示します。

ニュースと天気

現在地の天気情報やニュースを確認できます。

- 現在地の天気情報は、初期設定でGoogle位置情報サービスの利用を許可するか、ホーム画面で⊞→「設定」→「位置情報とセキュリティ」→「無線ネットワークを使用」にチェックを付ける→「同意する」をタップすると取得できます。

ニュース／天気を確認する

1 ホーム画面で⊞→「ニュースと天気」

ニュース／天気画面が表示されます。

- 左／右にスワイプすると、天気画面とニュース画面が切り替わります。
- 天気画面をタップすると、降水量などの詳細情報を確認できます。
- ニュース画面で確認するニュース項目をタップすると、ウェブサイトに接続され、詳細情報を確認できます。

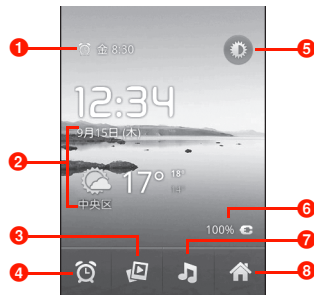
14

■お知らせ

- ニュース／天気画面で ☰ →「設定」をタップすると、天気を表示する位置の情報や、情報の更新間隔などを設定できます。
- ニュース／天気画面で ☰ →「設定」→「天気予報の設定」→「位置情報の設定」で都市を設定する場合、都市名（アルファベット）または郵便番号で入力してください。なお、日本国内の郵便番号には対応しておりません。
- ニュース／天気の情報を手動で更新するには、ニュース／天気画面で☰→「更新」をタップします。
- ニュース／天気画面で☰→「設定」→「ニュースの設定」→「ニューストピックの選択」をタップして、表示するニュースのトピックを設定できます。「カスタムトピック」をタップしてキーワードを入力すると、任意のトピックを設定できます。
- ニュース／天気画面で ☰ →「設定」→「ニュースの設定」→「記事のプリフェッチ」／「画像のプリフェッチ」にチェックを付けると、記事や画像をすばやく表示できるように事前に読み込みを行います。

時計

画面の輝度を落として時刻を確認したり、アラームの設定、ギャラリーや音楽などの機能を呼び出したりすることができます。

1 ホーム画面で ⠿ →「時計」

時計画面

❶ アラームを設定している場合、アラームの時刻が表示されます。
❷ 位置情報を設定している場合、設定した地域の天気が表示されます。
❸ ギャラリー（P.12-2）を開き、画像をスライドショーで表示します。
❹ アラーム設定画面を表示します。
❺ 画面の輝度を落とします。ロングタッチすると、画面をスクリーンセーバーモードに切り替えます。
❻ 充電中の場合、充電の状態を表示します。
❼ 音楽のライブラリ画面を表示します（P.13-3）。

❽ ホーム画面に戻ります。

アラームを設定する

1 **時計画面で**

アラーム設定画面が表示されます。

2 **「アラームの設定」→時刻を設定→「設定」**

3 **必要な項目を設定**

項目	説明
アラームをオンにする	アラームのON／OFFを設定します。
時刻	時刻を設定します。
繰り返し	繰り返しの設定をします。
アラーム音	アラーム音を設定します。
バイブレーション	バイブレーションのON／OFFを設定します。
ラベル	アラーム動作時に表示するメッセージを入力します。

4 **「完了」**

アラーム設定画面に、設定したアラームが追加されます。

■お知らせ

- 時計画面で →「アラームの設定」をタップしてもアラームを設定できます。
- アラーム設定画面で各アラーム設定の左側にある をタップしても、アラームのON／OFFを設定できます。
- アラーム設定画面で をタップ、または →「卓上時計」をタップすると、時計画面に戻ります。
- アラームを設定している場合、本機の電源が切れた状態でもアラーム時刻になると自動的に電源が入り、アラームが動作します。

アラームが鳴ったときは

画面に「スヌーズ」「停止」の選択画面が表示されます。「スヌーズ」をタップすると、アラームを停止し、後で再度アラームが鳴るように設定します。「停止」をタップすると、アラームの設定を解除します。

■お知らせ

- アラームが鳴ったときに、／を押してもスヌーズまたはアラームの解除ができるように設定できます（P.14-14）。

アラームの設定を変更／削除する

1 アラーム設定画面で変更／削除するアラームをタップ

2 アラームの設定を変更／削除

■ 設定を変更する場合

① 設定を変更→「完了」

■ 設定を削除する場合

①「削除」→「OK」

アラームの基本設定をする

1 アラーム設定画面で☰→「設定」

2 必要な項目を設定

項目	説明
マナーモード中のアラーム	マナーモード設定中もアラームを鳴らすかどうかを設定します。
アラームの音量	アラームの音量を設定します。
スヌーズ間隔	スヌーズの間隔を設定します。
音量ボタン動作	アラームが鳴っているときに▯／▯を押した場合の動作を設定します。

電卓

四則演算（＋、－、×、÷）や関数計算などができます。電卓画面でキー部分を左／右にスワイプすると、関数機能／標準機能を切り替えられます。

1 ホーム画面で▦→「電卓」

電卓画面が表示されます。

2 キーをタップして計算

■ お知らせ

- 電卓画面で☰→「関数機能」／「標準機能」をタップしても、電卓画面を切り替えられます。
- 本機を横向きにすると、電卓画面が横画面で表示されます。縦画面と横画面とで利用できるキーは異なります。
- 電卓画面で計算結果の数字をロングタッチして、数字の切り取り／コピーなどができます。他のアプリケーションに貼り付けて利用できます。

14

Androidマーケットの利用

Androidマーケットで公開されているアプリケーションを本機にインストールして利用できます。

- Androidマーケットを利用するには、Googleアカウントの設定が必要です。Googleアカウントの設定画面が表示された場合は、「Googleアカウントを設定する」（P.5-2）を行ってください。
- Androidマーケットでは、本機で動作しない仕様のアプリケーションについてはダウンロードできない場合があります。
- アプリケーションの自動アップデートにより、操作方法が変更されることがあります。
- アプリケーションのインストールは安全であることをご確認のうえ、自己責任で行ってください。
- 万が一、お客さまがインストールを行ったアプリケーションにより自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。
- アプリケーションによっては、本機で正常に動作しない場合があります。
- アプリケーションを購入する場合、支払いにはGoogle Checkoutを利用します。事前にGoogle Checkoutの契約が必要です。なお、アプリケーションの購入は自己責任で行ってください。アプリケーションの購入に際して自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。

アプリケーションをインストールする

1 ホーム画面で「マーケット」

- 初回利用時は、利用規約が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

2 インストールするアプリケーションをタップ

詳細画面が表示されます。

3 詳細画面の内容を確認

- このアプリケーションに許可するアクセス権限を確認する場合は、→「セキュリティ」をタップします。

4 「無料」／金額表示欄をタップ→「OK」

インストールが完了すると、ステータスバーにが表示されます。

- 多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションには特にご注意ください。この画面で「OK」をタップすると、本機でこのアプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。
- インストールしたアプリケーションは、アプリケーション画面に追加されます。

お知らせ

- Androidマーケットの詳細については、ホーム画面で→「マーケット」→→「ヘルプ」をタップして、マーケットヘルプをご確認ください。

アプリケーションを更新／削除する

1 ホーム画面で→「マーケット」

2 →「マイアプリ」

3 更新／削除するアプリケーションをタップ

4 アプリケーションを更新／削除

■ 更新する場合

①「アップデート」

■ 削除する場合

①「アンインストール」

5 「OK」

■お知らせ

- お買い上げ時にインストールされているアプリケーションは、アンインストールできません。

Weather Clock

現在地を含めて5つの都市の天気情報と時刻を表示できます。

- 現在地の天気情報は、初期設定でGoogle位置情報サービスの利用を許可するか、ホーム画面で→「設定」→「位置情報とセキュリティ」→「無線ネットワークを使用」にチェックを付ける→「同意する」をタップすると取得できます。

1 ホーム画面で→「Weather Clock」

天気／時刻画面が表示されます。

- 左／右にスワイプすると、他の都市に切り替わります。
- →「更新」をタップすると最新の天気情報に更新されます。

■お知らせ

- 天気／時刻画面でをタップすると、都市の追加・変更や天気情報の更新間隔などを設定できます。
- 都市の追加や変更を行う場合、都市名はアルファベットで入力してください。
- 天気情報は米国 AccuWeather 社提供のデータを基に表示しています。

14

その他のアプリケーション

Mobage

ゲームやコミュニティなどを楽しめるソーシャルネットワーキングサービス「mobage」（モバゲー）を本機で利用するためのアプリケーションをインストールします。

GREE

ゲームやコミュニティなどを楽しめるソーシャルネットワーキングサービス「GREE」を本機で利用するためのアプリケーションをインストールします。

ハンゲーム

ゲームサイト「ハンゲーム」のアプリ紹介サイトにアクセスします。

芸能ニュース

芸能ニュースサイト「オリコン芸能ニュース」にアクセスします。

BookLive! Reader for EM

総合電子書籍ストア「BookLive!」を本機で利用するためのアプリケーションをインストールします。

ビデオマーケット

モバイル動画サービス「VideoMarket」を本機で利用するためのアプリケーションをインストールします。

Refills試用版

スマートフォン用カレンダーアプリケーション「Refill」を利用できます。

- 本機に搭載されているアプリケーションは試用版です。試用期間終了後もお使いいただく場合は製品版をご利用ください。

アプリ

Androidマーケットの中から人気・話題のアプリケーションを紹介します。

■お知らせ

- アプリケーションやサービスによっては、個人情報の登録や料金の支払いが必要になる場合があります。ご利用になる場合は、各アプリケーションの注意事項をよくご確認ください。

14

アプリケーションの管理

提供元不明のアプリケーションのインストールを許可する

サードパーティのアプリケーションなど、提供元が不明なアプリケーションのインストールを許可します。

- 提供元が不明なアプリケーションをインストールする際は、セキュリティについて十分にご注意ください。

1 ホーム画面で ⠿ →「設定」

2 「アプリケーション」

3 「提供元不明のアプリ」にチェックを付ける

4 注意内容を確認→「OK」

アプリケーションを確認／操作する

本機にインストール済みのアプリケーションの情報を確認したり、アプリケーションを強制停止、データ消去、アンインストールしたりできます。

1 ホーム画面で ⠿ →「設定」

2 「アプリケーション」→「アプリケーションの管理」

3 確認するタブをタップ

- ☰ をタップすると表示順を変更できます。

4 アプリケーションをタップ

- アプリケーション情報を確認したり、画面に表示されている項目をタップして操作を実行したりできます。

■お知らせ

- お買い上げ時にインストールされているアプリケーションは、アンインストールできません。

セキュリティ

15

EM chipロックを設定する

EM chipが不正に使用されることを防ぐため、電源を入れたときなどにPINを入力して認証するかどうかを設定できます。設定すると、電源を入れたときなどにPINの入力画面が表示されます。

- PINの入力を続けて3回間違えた場合は、暗証番号がロックされ使用できなくなります（PINロック状態）ので、設定したPINは必ず別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
- PINコードについては、「PINコード」（➡P.17-4）をご参照ください。
- お買い上げ時、PINコードは「9999」に設定されています。

1 ホーム画面で ⠿ →「設定」

2 「位置情報とセキュリティ」→「SIMカードロック設定」

3 「SIMカードをロック」→PINコードを入力→「OK」

■ 設定を解除する場合

①「SIMカードをロック」
② PINコードを入力→「OK」

PINコードを変更する

- PINコードの変更は、PINコードを有効にしている場合のみ行えます。

1 ホーム画面で ⠿ →「設定」

2 「位置情報とセキュリティ」→「SIMカードロック設定」

3 「SIM PINの変更」→現在のPINコードを入力→「OK」

4 新しいPINコードを入力→「OK」→新しいPINコードを再入力→「OK」

画面ロック

画面ロックを設定すると､ディスプレイを消灯して本機を操作できないようにします。また、画面ロックの解除セキュリティを設定できます。

画面ロックを設定する

1 **本機起動中に⏻**

画面ロックがかかり、ディスプレイが消灯します。

■ 画面ロックを解除する場合

⏻または▭を押してディスプレイを点灯させ、🔒を右にドラッグします。

- 画面ロックの解除セキュリティを設定している場合は、設定中の解除方法を入力してください。

■お知らせ

- 一定時間何も操作しなかった場合は､自動的に画面ロックがかかります。
- 画面ロック中に電話がかかってきた場合は､📞を右にドラッグして電話を受けることができます。
- 画面ロック中でも、電源を切ったり（➡P.1-12）、マナーモードや機内モードの設定（➡P.1-22）はできます。

画面ロックの解除セキュリティを設定する

画面ロックを解除するときに、パターン／暗証番号／パスワードの入力による認証を行わないと、本機を使用できないように設定します。

1 **ホーム画面で▦→「設定」**

2 **「位置情報とセキュリティ」→「画面ロックの設定」**

- 画面ロックの解除セキュリティが「なし」以外に設定されている場合は、「位置情報とセキュリティ」→「画面ロックの変更」→設定中の解除方法を入力してください。

3 **項目を設定**

項目	説明
なし	画面ロックの解除セキュリティを無効に設定します。
パターン	パターンの入力で画面ロックを解除するように設定できます。 • 画面の指示に従って、パターンを設定してください。
暗証番号	暗証番号の入力で画面ロックを解除するように設定できます。 • 画面の指示に従って、暗証番号を設定してください。
パスワード	パスワードの入力で画面ロックを解除するように設定できます。 • 画面の指示に従って、パスワードを設定してください。

■ お知らせ

- パターン／暗証番号／パスワードを設定した場合は、お忘れにならないようご注意ください。
- 「パターン」に設定した場合、画面ロックを解除するときに指でなぞった軌跡を表示するかどうかを設定できます。ホーム画面で→「設定」→「位置情報とセキュリティ」→「指の軌跡を線で表示」にチェックを付けます。
- 「暗証番号」は4～16桁の数字、「パスワード」は4～16桁の英文字または数字（英字が最低１文字必要）で設定できます。
- 「なし」以外に設定した場合、画面ロック解除の入力時にバイブレーション動作をするかどうかを設定できます。ホーム画面で→「設定」→「位置情報とセキュリティ」→「入力時バイブレーション」にチェックを付けます。
- 「なし」以外に設定した場合、「データの初期化」（P.17-7）を行うときに、設定中の解除方法の入力が必要になります。

15

設定と管理 16

本機の設定を変更／確認する

ホーム画面で → 「設定」をタップすると設定画面が表示され、本機の設定の変更や設定内容の確認ができます。

- 本機の設定の状態によっては、項目が表示／選択できない場合があります。

無線とネットワークの設定

ネットワーク接続やWi-Fi、Bluetooth®などの無線接続についての設定をします。

1 **ホーム画面で → 「設定」 → 「無線とネットワーク」**

次のメニューが表示されます。

項目	説明
機内モード	「機内モードを設定する」（P.1-23）
Wi-Fi	「Wi-Fiを使って接続する」（P.8-4）
Wi-Fi設定	「Wi-Fiの詳細設定をする」（P.8-6）
Bluetooth	「Bluetooth®機能をONにする」（P.10-3）

項目		説明
Bluetooth設定	**Bluetooth**	「Bluetooth®機能をONにする」（P.10-3）
	端末名	「端末の名前を変更する」（P.10-3）
	検出可能	「本機を検出可能にする」（P.10-3）
	デバイスのスキャン	「他のBluetooth®対応機器とペアリング／接続する」（P.10-3）
テザリングとPocket WiFi	**USBテザリング**	「USBテザリングを利用する」（P.8-8）
	Pocket WiFi	「Pocket WiFi（Wi-Fiテザリング）を利用する」（P.8-7）
	Pocket WiFi設定	「Pocket WiFi（Wi-Fiテザリング）を利用する」（P.8-7）
	ヘルプ	ヘルプを表示します。
VPN設定		「VPNに接続する」（P.8-9）

項目		説明
モバイルネットワーク	データ通信を有効にする	モバイルネットワーク経由のデータアクセスを有効／無効にします。
	データローミング	「国際ローミング中にデータ通信を使用できるようにする」（P.8-3）
	常時接続を有効にする	オンの場合は、モバイルネットワーク経由のデータアクセスを常に有効にします。 オフの場合は、バックライト消灯後30分でデータ通信が無効になります。
	アクセスポイント名	「3Gパケット通信を使って接続する」（P.8-2）
	ネットワークモード	「ネットワークの種類を設定する」（P.3-8）
	ネットワークオペレーター	「接続する通信事業者を設定する」（P.3-9）

通話設定

通話やネットワークサービスについての設定をします。

1 **ホーム画面で → 「設定」 → 「通話設定」**

次のメニューが表示されます。

項目		説明
発信番号制限		本機能はご利用いただけません。
ボイスメールサービス		ボイスメールサービスを設定します。
ボイスメールの設定		留守番電話の番号を設定します。
近接センサー		近接センサー（P.1-3）のON／OFFを設定します。
着信転送		「転送電話」（P.3-10）、「留守番電話」（P.3-11）
その他の設定	発信者番号	「発信者番号通知」（P.3-14）
	通話中着信	「割込通話」（P.3-13）

音の設定

着信音、バイブレーションやマナーモードなどの設定をします。

1 **ホーム画面で →「設定」→「音」**

次のメニューが表示されます。

項目	説明
マナーモード	「マナーモードを設定する」（➡P.1-22）
バイブ	「バイブレーションを設定する」（➡P.1-24）
音量	「音量を調節する」（➡P.1-24）
着信音	「着信音／通知音を設定する」（➡P.1-23）
通知音	「着信音／通知音を設定する」（➡P.1-23）
タッチ操作音	電話番号を入力するときの音をON／OFFします。
選択時の操作音	アプリケーションやメニューを選択したときの操作音をON／OFFします。
画面ロックの音	画面ロック／ロック解除時の通知音をON／OFFします。
入力時バイブレーション	／／／などをタップしたり、特定の操作をしたりした場合のバイブレーション動作をON／OFFします。

表示の設定

ディスプレイの明るさや自動回転、バックライトの消灯時間などについて設定します。

1 **ホーム画面で →「設定」→「表示」**

次のメニューが表示されます。

項目	説明
画面の明るさ	「画面の明るさの調整」（➡P.1-25）
画面の自動回転	本機の縦／横の向きを感知して、自動的にディスプレイの表示方向を切り替えるかどうかを設定します。 • 一部のアプリケーションでは、本設定にかかわらず自動的にディスプレイの表示方向が切り替わります。
アニメーション表示	画面切り替え時のアニメーション効果を設定します。
バックライト消灯	「バックライト消灯時間を設定する」（➡P.1-25）
通知設定	通知パネルにショートカットを表示するかを設定します。

位置情報とセキュリティの設定

位置情報やセキュリティについての設定をします。

1 **ホーム画面で[アイコン]→「設定」→「位置情報とセキュリティ」**

次のメニューが表示されます。

項目	説明
無線ネットワークを使用	「位置情報を有効にする」（P.9-2）
GPS機能を使用	「位置情報を有効にする」（P.9-2）
クイックGPS使用	「位置情報を有効にする」（P.9-2）
画面ロックの設定／画面ロックの変更	「画面ロックの解除セキュリティを設定する」（P.15-3）
SIMカードロック設定	「EM chipロックを設定する」（P.15-2）
パスワードを表示	パスワード入力時に、文字を表示するかどうかを設定します。
デバイス管理者を選択	デバイス管理者を追加または削除します。
安全な認証情報の使用	証明書やその他の認証情報へのアクセスをアプリケーションに許可します。
SDカードからインストール	暗号化された証明書をmicroSDカードからインストールします。
パスワードの設定	認証情報ストレージ（VPN接続に使用する認証情報データ）のパスワードを設定します。
ストレージの消去	認証情報ストレージ（VPN接続時に使用する認証情報データ）のすべての証明書（コンテンツ）を消去して、パスワードをリセットします。

アプリケーション設定

アプリケーションのインストールや使用状況の表示／管理、およびアプリケーション開発についての設定をします。

1 **ホーム画面で■→「設定」→「アプリケーション」**

次のメニューが表示されます。

項目	説明
提供元不明のアプリ	「提供元不明のアプリケーションのインストールを許可する」（➡P.14-18）
アプリケーションの管理	「アプリケーションを確認／操作する」（➡P.14-18）
実行中のサービス	現在実行中のアプリケーション（サービス）の種類やメモリ使用量を表示したり、アプリケーションを終了させたりできます。
高速ブート	クイック電源オンを設定します。
ストレージ使用状況	アプリケーションのストレージ使用状況を表示します。
電池使用量	アプリケーションごとの電池使用の割合を表示します。各項目を選択すると詳細情報が表示され、項目によっては電池消費を節約するための設定変更ができます。
開発	アプリケーション開発時に利用できるオプションを設定します。

アカウントと同期の設定

オンラインサービスとの同期について設定をします。また、登録されているアカウントも表示され、アカウントの追加／削除、同期の設定などもできます。

1 **ホーム画面で■→「設定」→「アカウントと同期」**

次のメニューが表示されます。

項目	説明
バックグラウンドデータ	「アカウントと同期の設定をする」（➡P.5-3）
自動同期	「アカウントと同期の設定をする」（➡P.5-3）

16

プライバシーの設定

データなどのバックアップについての設定や本機のリセットを行います。

1 ホーム画面で → 「設定」 → 「プライバシー」

次のメニューが表示されます。

項目	説明
データのバックアップ	Googleが提供する各種サービス、またサードパーティのアプリケーションの設定やデータなどを、クラウドにバックアップすることができます。バックアップ機能の詳細については、各アプリケーションの開発元にお問い合わせください。
自動復元	アプリケーションの再インストール時に、バックアップ済みの設定やデータを復元します。
データの初期化	「本機をリセットする」（P.17-7） • 本機能を実行する前に、重要なデータはバックアップしてください。

ストレージの設定

本機に取り付けられているmicroSDカードや本機内のメモリ容量の確認やmicroSDカードのフォーマットなどを行います。

1 ホーム画面で → 「設定」 → 「ストレージ」

次のメニューが表示されます。

項目	説明
合計容量	microSDカードの合計データ容量を表示します。
空き容量	microSDカードのメモリの空き容量を表示します。
SDカードのマウント解除／SDカードをマウント	「microSDカードのマウントを解除する」（P.1-26）
SDカード内データを消去	「microSDカードをフォーマットする」（P.1-27）
合計容量	内部SDカードの合計データ容量を表示します。 • 内部SDカードは本機内のメモリに確保されている擬似的なSDカード領域です。この領域により、microSDカードを必須とする一部のアプリケーションを、microSDカードを取り付けることなく使用できます。

項目	説明
空き容量	内部SDカードのメモリの空き容量を表示します。
空き容量	本機内のメモリの空き容量を表示します。
ソフトウェアアップグレード	本機のアプリケーションのアップグレードを行います。

■お知らせ

- 本機内のメモリの空き容量が10%以下になると、本機の動作が不安定になることがあります。空き容量が少なくなった場合は、不要なデータやアプリケーションを削除してください。

言語とキーボードの設定

本機で使用する言語と入力時のキーボードについての設定をします。

1 **ホーム画面で ▦ →「設定」→「言語とキーボード」**

次のメニューが表示されます。

項目	説明
言語を選択	本機の表示言語を設定します。
入力方法を選択	入力方法を設定します。
単語リスト	Androidキーボードで使用する単語を登録します。
FSKAREN	「キーボードの設定を変更する」(➡P.2-12)
Androidキーボード	「キーボードの設定を変更する」(➡P.2-12)

音声入出力の設定

Google音声検索やテキスト読み上げについての設定をします。

1 **ホーム画面で ▦ →「設定」→「音声入出力」**

次のメニューが表示されます。

項目		説明
音声認識装置の設定	**言語**	Google音声検索時に入力する言語を設定します。
	セーフサーチ	Google音声検索時に、画像やテキストのアダルトフィルタを設定します。
	不適切な語句をブロック	Google音声検索時に、不適切な語句の検索結果を非表示にします。

項目		説明
テキスト読み上げの設定※	サンプルを再生	音声合成のサンプルを再生します。
	常に自分の設定を使用	常に「音声の速度」「言語」で設定した内容で、アプリケーションが動作するように設定します。
	既定のエンジン	テキスト読み上げに使用する音声合成エンジンを設定します。お買い上げ時は、Pico TTSが設定されています。
	音声データをインストール	音声データがインストールされていない場合、Androidマーケットに接続し、音声データを検索します。
	音声の速度	テキストを読み上げる速度を設定します。
	言語	テキストを読み上げる言語を設定します。
	Pico TTS	インストールされている音声合成エンジンについて設定します。

※：2011年6月現在、日本語には未対応です。

■お知らせ

- お買い上げ時は、音声データはインストールされていません。

ユーザー補助の設定

ユーザーの操作を補助するアプリケーションや機能についての設定をします。

1 ホーム画面で⊞→「設定」→「ユーザー補助」

次のメニューが表示されます。

項目	説明
ユーザー補助	ユーザー補助機能を有効／無効に設定します。 • ユーザー補助アプリケーションがインストールされていない場合は、有効に設定できません。
電源ボタンで通話を終了する	通話の終了を、⏻を押して行えるようにするかどうかを設定します。

■お知らせ

- お買い上げ時は、ユーザー補助アプリケーションがインストールされていません。インストールされていない場合は、操作1の後にその旨のメッセージが表示され、「OK」をタップするとAndroidマーケットに接続し、ユーザー補助アプリケーションを表示します。

日付と時刻の設定

日付と時刻についての設定をします。

1 **ホーム画面で▦→「設定」→「日付と時刻」**

次のメニューが表示されます。

項目	説明
自動	ネットワーク上の日付・時刻情報を基にして、自動的に補正するかどうかを設定します。 • 3Gネットワークに接続していない場合、本機能を利用できないことがあります。
日付設定	年月日を設定します。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを設定します。
時刻設定	時刻を設定します。
24時間表示	時刻を24時間表示にするかどうかを設定します。
日付形式	年月日の表示形式を切り替えます。

端末情報

本機の電話番号や電池残量、その他、本機についての情報を確認できます。

1 **ホーム画面で▦→「設定」→「端末情報」**

次のメニューが表示されます。

項目		説明
ソフトウェア更新		「ソフトウェアの更新」(➡P.17-5)
端末の状態		電池の状態や電池残量、電話番号などを表示します。
電池使用量		アプリケーションごとの電池使用の割合を表示します。各項目を選択すると詳細情報が表示され、項目によっては電池消費を節約するための設定変更ができます。
法的情報	**オープンソースライセンス**	オープンソースの使用許諾条件(英語)を確認します。
	Google利用規約	Googleの利用規約を確認します。
モデル番号、Androidバージョン、ベースバンドバージョン、カーネルバージョン、ビルド番号		本機のハードウェアやソフトウェア、およびAndroid OSについての情報などが表示されます。

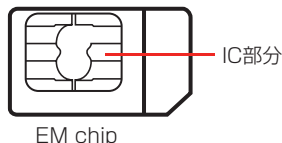
項目	説明
認証情報	電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合していることを示す技適マークを表示します。

16

付録 17

EM chipのお取り扱い

EM chipは、お客さまの電話番号や情報などが記録されたICカードです。EM chip対応のイー・モバイル携帯電話または機器に取り付けて使用します。
EM chipが取り付けられていないときは、日本国内における電話の発着信など3Gネットワークによる通信機能が利用できません。

- 他社製品のICカードリーダーなどにEM chipを挿入して故障したときは、お客さまご自身の責任となり、当社では責任を負いかねますのであらかじめご注意ください。
- IC部分は、いつもきれいな状態でご使用ください。
- IC部分を破損したり、ショートさせたりしないでください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- EM chipにラベルやシールなどを貼り付けないでください。故障の原因となります。

EM chipをご利用になる前に

- EM chipの詳しい取り扱いにつきましては、EM chipの台紙に記載されている注意事項、および取扱説明をご覧ください。

その他の注意

- EM chipは、当社が指定するネットワーク以外では使用できません。
- EM chipの所有権は当社に帰属します。
- 紛失、盗難時などEM chipの再発行は有償となります。また解約時は当社にご返却ください。
- EM chipの仕様、性能は予告無しに変更となる場合があります。
- お客さま自身でEM chipに登録された情報内容などは、メモなどに控えておいてください。万が一、登録された内容が消失した場合、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- EM chipやEM chip装着済み本機を紛失・盗難された場合には、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。緊急利用停止の手続きについては、お問い合わせ先（➡P.17-23）までご連絡ください。

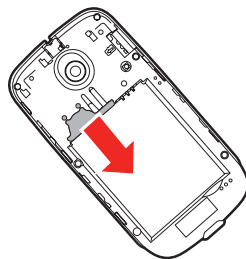
EM chipの取り付けかた／取り外しかた

- EM chipの取り付け／取り外しは、必ず電源を切り、電池カバーと電池パックを取り外してから行ってください。
  電源の切りかた（➡P.1-12）／電池カバー、電池パックの取り外しかた（➡P.1-9）

EM chipを取り付ける

1 IC部分を下にして図の矢印の方向にEM chipをゆっくりと奥まで差し込む

EM chipを取り外す

1 EM chipを図の矢印の方向にゆっくりと引きだす

PINコード

EM chipには、PIN／PIN2と呼ばれる2種類の暗証番号があります。大切な暗証番号ですので、他人に知られないように十分ご注意ください。

また、PIN／PIN2の入力を続けて3回間違えた場合は、間違えた方の暗証番号がロックされ、使用できなくなります（PINロック状態）。ロックを解除するには、PINロック解除コード（PUK）の入力が必要になります。

PINコード

PINとは、第三者による本機、またはEM chipの無断使用を防ぐための4～8桁の暗証番号です。

- お買い上げ時は、「9999」に設定されています。
- PINコードは変更できます（➡P.15-2）。
- EM chipを本機に取り付けて電源を入れたときに、PINコードを入力しないと本機を使用できないようにすることができます（➡P.15-2）。

PIN2コード

PIN2とは、EM chipに記録されている情報を変更する場合などに入力する4～8桁の暗証番号です。

- お買い上げ時は、「9999」に設定されています。
- 2011年6月現在、PIN2コードに関するサービス／機能は利用できません。

PINロック解除コード（PUKコード）

PINコードの入力を3回続けて間違えると、PINロックが設定されます。PINロック解除コード（PUKコード）を入力すると、PINロックは解除されます。

- PINロック解除コードについては、お問い合わせ先（➡P.17-23）までご連絡ください。

■お知らせ

- PINロック解除コードの入力を10回続けて間違えた場合は、EM chipがロックされ、使用できなくなります（EM chipロック）。EM chipがロックされた場合は、ロックを解除する方法はありませんので、新たなEM chipと交換する必要があります。また、手続きにともない所定の手数料が請求される場合があります。手続きの詳細については、お問い合わせ先（➡P.17-23）までご連絡ください。
- 買い増しなどにより、別のイー・モバイル携帯電話やEM chip対応機器にご利用中のEM chipを取り付けてご使用になる場合は、ご利用中のEM chipに設定されているPIN／PIN2が有効となります。

ソフトウェアの更新

本機のソフトウェアの更新が必要かどうかをチェックして、必要な場合はモバイルネットワーク接続またはWi-Fi接続を利用してサーバーからソフトウェアをダウンロードして更新できます。

- ソフトウェア更新には通信料がかかります。通信料はご契約内容によって異なります。
- 本機は、ソフトウェアのアップデートや、サーバーとの接続を維持する通信など一部自動的に通信を行う仕様となっております。
- ソフトウェア更新には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新は、電池パックが十分に充電されているか、本機をACアダプタに接続した状態で実行してください。電池残量が不十分な場合は、更新に失敗したり、更新が開始できなかったりすることがあります。
- ソフトウェア更新は、必要なメモリの空き容量があるmicroSDカードを取り付けた状態で実行してください。microSDカードを取り付けていなかったり、microSDカードのメモリの空き容量がない場合は更新ができません。
- ソフトウェア更新中は、電源を切ったり、microSD カードや電池パック、EM chip を取り外したりしないでください。更新に失敗する場合があります。
- ソフトウェア更新は、電波状態の良い環境で、移動せずに実行してください。
- ソフトウェア更新中は、他の機能を操作できません。
- ソフトウェア更新の内容によっては、「データの初期化」（➡P.17-7）が必要になる場合があります。本操作により、はじめて電源を入れる前の初期状態にリセットされるため、ダウンロードしたアプリケーションを含む本機内のすべてのデータが消去されます。
- ソフトウェア更新の前には、すべてのデータのバックアップを確実に行ってください。ソフトウェア更新前に本機に登録されたデータはそのまま残りますが、本機の状況（故障、破損、水濡れなど）によってはデータが失われる可能性があります。データ消失に関しては、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- Googleが提供する各種サービス、またサードパーティのアプリケーションの設定やデータなどを、クラウドにバックアップすることができます。ただし、バックアップ機能については、各アプリケーションの開発元にお問い合わせください。

■お知らせ

- ソフトウェア更新に失敗した場合、本機を使用できなくなることがあります。お問い合わせ先（➡P.17-23）までご連絡ください。また、失敗した状態によっては修理対応が必要となる場合があります。その際には所定の修理費用が発生する場合がありますのでご了承ください。

ソフトウェアを更新する

サーバーに新しいソフトウェアがある場合は、ステータスバーに が表示されます。

1 通知パネルを開く→「ソフトウェア更新」

2 「次へ」→画面に表示される内容を確認→「ダウンロード」

3 ダウンロードが完了したら「今すぐ実行」

■ 後で更新する場合

①「後で実行」

- 更新を再開するには、ホーム画面で →「設定」→「端末情報」→「ソフトウェア更新」→「OK」→「今すぐ実行」をタップします。

手動でソフトウェアを確認／更新する

1 ホーム画面で →「設定」

2 「端末情報」→「ソフトウェア更新」

ソフトウェアバージョンのチェックが開始されます。

■ ソフトウェアが最新の場合

ソフトウェアが最新版である旨のメッセージが表示されます。そのままお使いください。

■ ソフトウェアが最新ではない場合

「ソフトウェアを更新する」（P.17-6）の操作2に進みます。

本機をリセットする

本機に設定したGoogleアカウントや、ダウンロードしたアプリケーションなど、本機内のデータを消去し、お買い上げ時の状態に戻します。

- 本機をリセットする前に、重要なデータはバックアップしてください。

1 **ホーム画面で ⠿ →「設定」→「プライバシー」→「データの初期化」**

データの初期化による本機の動作の説明が表示されます。内容をご確認ください。

- 「SDカード内データを消去」にチェックを付けると、microSDカード内のデータも消去できます。
- microSDカードを取り付けずに「SDカード内データを消去」にチェックを付けると、内部SDカード（➡P.16-7）内のデータを消去できます。

2 **「携帯電話をリセット」**

- 画面ロックの解除セキュリティ（➡P.15-3）を設定している場合は、設定中の解除方法を入力してください。

3 **「すべて消去」**

本機内のデータが消去され、自動的に再起動します。

故障かな？と思ったら

現象	確認すること／対処方法
電源が入らない	• 電池パックは正しく取り付けられていますか？（P.1-9） • 電池切れになっていませんか？（P.1-11） • ⏻を長押ししましたか？
電池パックを充電できない	• 付属のACアダプタをご使用の場合、USBケーブルが本機とACアダプタにしっかりと接続されていることを確認してください（P.1-11）。 • ACアダプタのプラグがしっかりと家庭用コンセントに差し込まれていることを確認してください（P.1-11）。 • 電池パックは正しく取り付けられていますか？（P.1-9） • 本機、電池パックおよびACアダプタの端子が汚れていませんか？ 汚れたときは、乾いたきれいな布、綿棒などでふいてください。 • 使用環境の温度が0℃～45℃の範囲を超えると充電できない可能性があります。 • 電池パックの寿命、または電池パックの異常の可能性があります。新しい電池パックと交換してください。
電源を入れたときに「SIMカードが挿入されていません」というメッセージが表示される	• EM chipが正しく本機に取り付けられていますか？（P.17-2） • 指定された正しいEM chipをお使いですか？ • EM chipのIC部分に指紋などの汚れが付いていませんか？ 汚れたときは、乾いたきれいな布で汚れを落として、正しく取り付けてください。

17

現象	確認すること／対処方法
電源を入れた後、通常の操作ができない	• 画面ロックがかかっていませんか？ を右にドラッグして、ロックを解除してください。画面が消灯している場合は、またはを押してディスプレイを点灯させてからロックを解除してください。 • パターンの入力画面が表示されていませんか？ 画面ロックの解除セキュリティが「パターン」に設定されています（P.15-3）。パターンを入力してロックを解除してください。 • 暗証番号の入力画面が表示されていませんか？ 画面ロックの解除セキュリティが「暗証番号」に設定されています（P.15-3）。暗証番号を入力してロックを解除してください。 • パスワードの入力画面が表示されていませんか？ 画面ロックの解除セキュリティが「パスワード」に設定されています（P.15-3）。パスワードを入力してロックを解除してください。 • ステータスバーにが表示されていませんか？ 電源を切り、EM chipが正しく取り付けられていることを確認してください（P.17-2）。
電話がつながらない、またはメールやインターネットが利用できない	• ステータスバーにが表示されていませんか？サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？ 電波の届く場所に移動してかけ直してください。 • 電源を切り、EM chipが正しく取り付けられていることを確認してください（P.17-2）。 • ネットワークに正しく接続されていることを確認してください（P.8-2）。 • 機内モードが設定されていませんか？ 機内モード設定中にを長押し→「機内モード」をタップして、設定を解除してください。
電話がかけられない	• 市外局番を含んだ電話番号全桁を入力してかけていますか？
電話が着信しない	• 転送電話（P.3-10）や留守番電話（P.3-11）を「常に転送」に設定していませんか？

現象	確認すること／対処方法
メールが受信できない	• ステータスバーにが表示されていませんか？サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？ 電波の届く場所に移動してください。 • 電源を切り、EM chipが正しく取り付けられていることを確認してください（P.17-2）。 • ネットワークに正しく接続されていることを確認してください（P.8-2）。
通話の途中に途切れたり、切れたりする	• ステータスバーにが表示されていませんか？サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？ 電波の届く場所に移動してください。
キーやディスプレイに触れても、何も反応しない	• 画面ロックがかかっていませんか？ を右にドラッグして、ロックを解除してください。画面が消灯している場合は、またはを押してディスプレイを点灯させてからロックを解除してください。
電話を着信したとき、名前が表示されない	• 電話番号は連絡先に登録されていますか？ 連絡先を確認してください（P.4-3）。
電話を着信したときに、画像および名前などの登録されている内容が表示されない	• 電源を入れた直後に発生することがあります。電源を入れてしばらく時間が経過すると、正しく表示されます。
USBテザリングができない	• 本機のmicroSDカードをUSBストレージとして設定していませんか？ USBストレージの設定を解除してください（P.1-26）。

現象	確認すること／対処方法
使用できない機能がある	• microSDカードを本機に取り付けていますか？ 電源を切り、microSDカードが正しく取り付けられていることを確認してください（➡P.1-8）。 本機にmicroSDカードを取り付けていないと、一部使用できない機能があります。 • ステータスバーにが表示されていませんか？ microSDカードのマウントが解除されています。ホーム画面で→「設定」→「ストレージ」→「SDカードをマウント」をタップして、マウント状態にしてください。 • microSDカードのメモリがいっぱいではありませんか？ microSDカードのメモリの空き容量を確認して、いっぱいであれば不要なデータを削除するか、microSDカードを取り替えてください。 • 本機のmicroSDカードをUSBストレージとして設定していませんか？ USBストレージの設定を解除してください（➡P.1-26）。
静止画、動画、音楽などのファイルが表示されない	• microSDカードを本機に取り付けていますか？ 電源を切り、microSDカードが正しく取り付けられていることを確認してください（➡P.1-8）。 • microSDカードにファイルが保存されていますか？ あらかじめパソコンからmicroSDカードにファイルをコピーしてください（➡P.13-2）。 • ステータスバーにが表示されていませんか？ microSDカードのマウントが解除されています。ホーム画面で→「設定」→「ストレージ」→「SDカードをマウント」をタップして、マウント状態にしてください。 • 本機のmicroSDカードをUSBストレージとして設定していませんか？ USBストレージの設定を解除してください（➡P.1-26）。
音楽ファイルを再生中にキーを押しても応答しない	• 画面ロックがかかっていませんか？ を右にドラッグして、ロックを解除してください。画面が消灯している場合は、またはを押してディスプレイを点灯させてからロックを解除してください。
本機のmicroSDカードをUSBストレージとして設定できない	• ステータスバーにが表示されていませんか？ USBテザリング設定中です。USBテザリングの設定を解除してください（➡P.8-8）。

17

現象	確認すること／対処方法
本機／アクセサリーが温かい	• 充電中は本機およびACアダプタが温かくなる可能性がありますが、手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。ただし、長時間触れたまま使用していると低温やけどになるおそれがあります。
本機の待受時間および通話／通信時間が短い	• 気温、充電条件、電波の強さ、設定などにより異なりますので、ご確認ください。

こんなときはご使用になれません

が表示されているとき	サービスエリア外か電波が届きにくい場所です。受信電波の強さを示すバーが1本以上表示される場所に移動してください。
画面ロックが設定されているとき	誤操作防止のため画面ロックが設定されています（➡P.15-3）。画面ロックを解除しないと本機を操作できません。ただし、画面ロック中でもかかってきた電話に出ることはできます。
「機内モード」が設定されているとき	「機内モード」が設定されていると、すべての電波の発信が制限されます（➡P.1-23）。
電池残量がわずかな旨のメッセージ、または電池が空であることを警告するメッセージが表示されたとき	電池残量が不足しているか、なくなっています。電池パックを充電する（➡P.1-11）、または充電済みの電池パックと交換してください（➡P.1-9）。

仕様

主な仕様

■ システム情報

プロセッサ	Qualcomm® MSM7227™ 600MHz
メモリ	ROM：512Mバイト RAM：256Mバイト
プラットフォーム	Android™ 2.3.3

■ 電源

電池パック	リチウムイオン電池、1200mAh サイズ：約53.1×43×4.8mm
充電時間※1	ACアダプタ使用時：約180分 USB充電：約270分
連続待受時間※2（3G/GSM）	約300時間／約260時間
連続通話時間※2（3G/GSM）	約300分／約280分
連続通信時間※2	Pocket WiFiモード：約240分

※1：充電完了までの時間は、周囲の温度や電池パックの使用期間などによって異なります。

※2：使用環境や電波状況などにより変動します。

- 電池パックの利用可能時間は、充電／放電の繰り返しにより徐々に短くなります。正しい手順で電池パックを充電しても利用可能時間が短い場合は、同じ種類の新しい電池パックに交換してください。

■ ディスプレイ

LCD	タッチパネル付3.2インチ（HVGA）TFT
解像度	480×320（262,144色）

■ W-CDMA／GSM／EDGEモジュール

通信方式および帯域	W-CDMA：1700MHz／2100MHz GSM／GPRS／EDGE：900MHz／1800MHz／1900MHz
アンテナ	内蔵

■ 外装

サイズ	約110×56.5×11.2mm
質量	約104g（電池パックを含む）

■ 環境条件

動作温度範囲	-10～45℃
保管温度範囲	-40～60℃

■ インカメラ

タイプ		約30万画素CMOSカメラ
ファイル形式（拡張子）	静止画	jpg
	動画	mp4
解像度	静止画	VGA：640×480 QVGA：320×240
	動画	高（30m）：800×480 低（30m）：176×144 MMS：176×144 YouTube：800×480
デジタルズーム		最大2.8倍
動画のフレームレート		10～20fps（撮影環境の明るさにより変動します）

■ アウトカメラ

タイプ		約320万画素CMOSカメラ
ファイル形式（拡張子）	静止画	jpg
	動画	mp4
解像度	静止画	3メガピクセル：2048×1536 2メガピクセル：1600×1200 1メガピクセル：1024×768 VGA：640×480 QVGA：320×240
	動画	高（30m）：800×480 低（30m）：176×144 MMS：176×144 YouTube：800×480
デジタルズーム		最大2.8倍
動画のフレームレート		10～20fps（撮影環境の明るさにより変動します）

動画撮影時の1回あたりの録画可能時間、および単位時間当たりの動画のファイルサイズ（目安）は以下のとおりです。

解像度	1回あたりの録画可能時間	単位時間（1分間）あたりのファイルサイズ（目安）
高（30m）	30分	約14679KB（/min）
低（30m）	30分	約1556KB（/min）
MMS	60秒	約1578KB（/min）
YouTube	10分	約14662KB（/min）

■ ビデオ／オーディオ／画像

ビデオ	MPEG4、H.263（3GPP）、H.264
オーディオ	MP3、AAC、AAC+、Enhanced AAC+、AMR-NB、WAV、OGG Vorbis、MIDI
画像	JPG、PNG、BMP、WBMP、GIF（静止画のみ）

- 上記のファイル形式でも利用できない場合があります。

■ 拡張スロット

カードスロット	microSD（最大2GBまで）／microSDHC（最大32GBまで）

- すべてのmicroSD／microSDHCカードの動作を保証するものではありません。

■ 外部接続

Bluetooth®		標準規格Ver.2.1+EDR準拠 Power Class1 HFP、HSP、GAVDP、GOEP、PBAP、SDAP、OPP、A2DP、AVRCP
無線LAN	規格	IEEE802.11b/g/n
	通信速度（最大）	IEEE802.11b：11 Mbps IEEE802.11g：54 Mbps IEEE802.11n：65 Mbps

GPL書面によるオファー

本機はGNU Lesser General Public Licenseが適用されたフリーソフトウェア（Linux kernel、dnsmasq、BlueZ、Webkit、iptables）を使用しています。
http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html

■ 著作権情報

Linux kernel: Copyright.The Kernel.Org Organization,Inc.
version:2.6.35.7
(http://www.kernel.org)

dnsmasq: Copyright ©2000-2009 Simon Kelley
version:2.51

BlueZ:Copyright ©2004-2009 Marcel Holtmann
<marcel@holtmann.org>
version:4.69

Webkit:Copyright ©2005 Apple Computer, Inc.

iptables:Copyright 2000-2004 netfilter project
(http://www.netfilter.org).

■ 書面によるオファー

本機に含まれるGPLソースコード入りCDの送付をご希望の場合、20ユーロ（CD、送料含む）でご提供いたします。
Mobile@huawei.comまでお問い合わせください。

索引

英数字

あ

か

さ

た

や

ら

わ

保証とアフターサービス

保証について

本機をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。
- 販売店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。

■ お知らせ

- 本機の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客さま、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

修理について

本書の「故障かな？と思ったら」（➡P.17-8）をお読みになり、もう一度お調べください。それでも正常に戻らない場合には、お問い合わせ先（➡P.17-23）までご連絡ください。
- 保証期間中の修理
  保証書の記載内容に基づいて修理致します。
- 保証期間経過後の修理
  修理によって使用できる場合は、お客さまのご要望により有料にて修理致します。

■ お知らせ

- 故障または修理により、お客さまが登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、連絡先など大切なデータは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータ（電話帳／画像／サウンドなど）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機を分解／改造すると、電波法に触れることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

修理用部品について

本機および周辺機器の補修用性能部品の最低保有期間は、生産終了後6年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

携帯電話・PHS端末のリサイクルについて

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客さまが不要となってお持ちになる電話機端末・電池・充電器を、ブランド・メーカー問わず下記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

● 回収した電話機端末・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
● プライバシー保護のため、電話機端末に記憶されているお客さまの情報（連絡先、通信履歴、メールなど）は事前に消去してください。

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

Li-ion

お問い合わせ先

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。電話番号はお間違いのないようおかけください。

イー・モバイル カスタマーセンター

イー・モバイル携帯電話から：157（無料）

一般電話から：0120-736-157（無料）
※他社の携帯電話、PHSからもご利用いただけます。
海外から：+81368313333（有料）
受付時間9：00～21：00（日本時間／年中無休）
※間違い電話が多くなっております。
番号をよくお確かめの上、おかけください。
※一部の光電話、IP電話等からはご利用いただけない場合があります。
ホームページ　http://emobile.jp/

発売元：イー・アクセス株式会社
（製造元：HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.）
発行年月：2011年6月　第1版